

放送大学大学院
「文化科学研究科」「文化科学専攻」
修士課程

学生募集要項

2026年度

[修士全科生]

出願期間・書類提出期限

[インターネット] 2025年8月15日(金)9時～8月25日(月)17時

※インターネット出願だけでは出願手続き全てを行っていただくことができません。

[郵 送] 2025年8月15日(金) ～8月25日(月) [消印有効]

※郵便局に持ち込み、一般書留または簡易書留でお送りください。

出願全般についての注意事項

重要ですので必ずお読みください。

出願は、「インターネット」または「郵送」いずれかの方法により行ってください。

出願後の修士全生出願票、研究計画書および志望理由書等の記載内容の変更は「インターネット」出願、「郵送」出願ともにできません。

今回の募集において出願できるのは、1プログラムに限ります。

期限は厳守してください。

消印が出願期間（8月15日～8月25日）外の出願書類は一切受付できませんのでご注意ください。

個人情報の取扱いについて

- 本学修士課程に出願される方の氏名、現住所などの情報は、印刷教材等の送付、本学からのお知らせやアンケート調査、学生が在籍している単位互換校や連携協力校への情報提供など、本学園の業務活動に限って使用します。
- 性別、職業、最終出身学校などの情報は、統計資料として分析の上、パンフレット等への掲載に使用しますが、氏名・住所等の情報は掲載しませんので、ご安心ください。
- 出願書類は、入学者選考および入学後の研究指導等学修活動に限って使用します。

文字の取扱いについて

- 本学におけるウェブ画面上の表示や各種証明書（学生証・学位記含む）の氏名等の文字は、コンピュータで処理を行う関係上、JIS水準（JIS2004）1～2程度の文字までの取扱いとなりますので、あらかじめご了承ください。

※特殊な文字については、JIS水準（JIS2004）1～2程度の文字に置き換えられるか、カタカナ等で表記されます。

【例示】

原 → 原

恵 → 恵、恵

眞 眞 → 真、眞

※感染症等への対応について

今後の感染症等の状況によって、入学者選考の実施方法・スケジュール等に変更が生じることがあります。変更の際は、本学ウェブサイト（www.ouj.ac.jp）でお知らせしますので、必ずご確認ください。

インターネット出願ができます

インターネット出願は本学ウェブサイトから

放送大学

検索

推奨OS：

Windows10・11/

macOS 最新版から2バージョン前まで

推奨ブラウザ：以下のブラウザの最新版

Microsoft Edge/

Google Chrome/Firefox/Safari

(本学ウェブサイト・www.ouj.ac.jp)



※ウェブサイトデザインは変更になる場合があります。

ここが便利です！.....

●出願期間中であれば、時間や場所にかかわらず出願できます。もちろん、夜間の出願も可能です。**※メンテナンス期間を除く。**

●画面の指示どおりに進むだけで、簡単に出了願できます。

※書類提出期限までに必要書類の郵送提出が必須となります。

インターネット出願期間

●2025年8月15日(金) 9時～8月25日(月) **17時**

ご注意ください

●インターネット出願される場合、「振込依頼書」の払込取扱票番号が必要なため、入学検定料を先に払い込んでいただき、その「領収証書(原本)」を本要項添付書類「領収証書貼付用紙③」に貼付し、巻末に綴じ込まれている「出願用封筒」を使用し、簡易書留郵便または一般書留郵便にて提出してください。(スマホ決済をご利用の方はp.41をご確認ください。) また、必要に応じて、卒業・成績証明書や出願資格を証明する各種証明書等も同封してください。(p.19参照)

[提出期限：2025年8月25日(月)〔消印有効〕]

●出願書類の「出願票①および②」を郵送された場合は、インターネット出願はできませんのでご注意ください。

1	概要	4
	1. 学生の種類	
	2. 出願対象者	
	3. 入学者選考スケジュール	
	4. プログラム	
	5. 学習センター・サテライトスペース	
	6. 入学から修了まで	
	7. 修了要件	
2	出願にあたって	6
	1. 放送授業の視聴方法およびオンライン授業の受講方法について	
	2. 障がいのある方で特別な支援を希望される方	
	3. 合格後の在籍について	
3	募集内容	8
	1. 募集学生・募集人員	
	2. 入学者受入方針	
	3. 研究指導、実験・演習・実習	
	4. プログラムの選択	
	5. 修士課程を修了後、再度入学を希望する方へ	
	6. 修士課程を退学後、再入学を希望する方へ	
	7. 教育訓練給付制度をご利用の方へ（ご利用の方のみお読みください）	
4	出願資格	12
	1. 出願資格	
	2. 出願資格事前審査	
5	入学者選考方法	15
	1. 第1次選考（筆記試験）	
	2. 第2次選考（面接試問）	
	3. 注意事項等	

6 出願方法 16

1. インターネットによる出願
2. 郵送による出願

7 出願書類 18

1. 出願書類
2. 出願に際しての注意事項
3. 出願書類の記入方法等

8 入学 28

1. 入学手続・科目登録申請
2. 学費（入学料・授業料・研究指導料）の納入
3. 既修得単位の認定
4. 入学時期

9 本部・学習センター等の案内 30

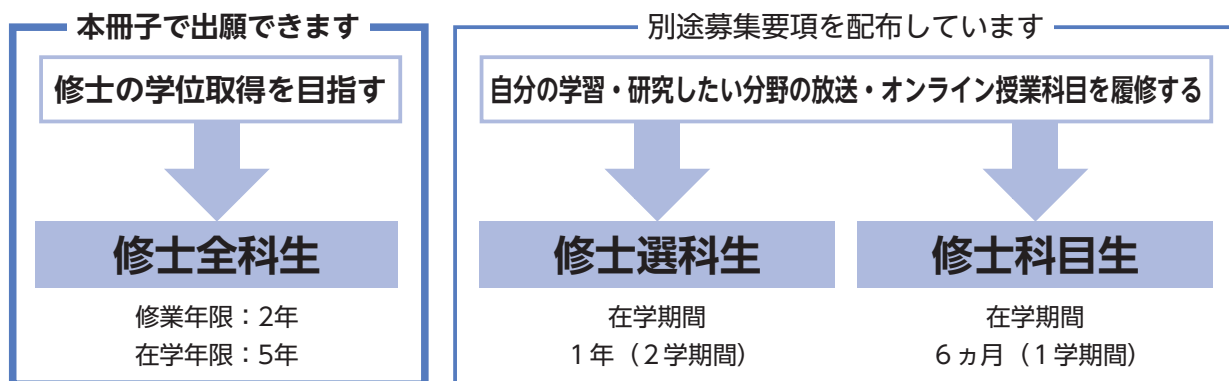
1. 本部
2. 学習センター・サテライトスペース

10 本部・お問い合わせ先一覧 巻末**添付書類**

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ☐ 出願票（①～②） | ☐ 出願資格事前審査申請書 |
| ☐ 領収証書貼付用紙（③） | ☐ 入学検定料振込依頼書 |
| ☐ 研究計画書（④～⑤） | ☐ 出願用封筒 |
| ☐ 志望理由書（⑥） | |

1. 学生の種類

本学修士課程の学生には、「修士全科生」「修士選科生」「修士科目生」の3種類があり、本冊子は「修士全科生」を対象としています。



2. 出願対象者

p.12～13の出願資格を有する方で、放送授業を視聴でき、研究指導の関係上、日本国内に居住し、郵便で連絡可能な方が出願対象者となります。

3. 入学者選考スケジュール

出願受付期間 [インターネット] 2025年8月15日(金) 9時～8月25日(月) 17時
書類提出期限 [郵送] 2025年8月15日(金)～8月25日(月) (消印有効)

出願書類等受領後、本学より受験票等を送付します。2025年9月9日(火) 発送(簡易書留)
 ※9月16日(火) までに届かない場合は、巻末のお問い合わせ先へご連絡ください。

第1次選考 筆記試験を行います。

●実施日：2025年10月4日(土)

●場 所：各学習センター (東京渋谷学習センター、サテライトスペースを除く)

第1次選考合否通知 2025年10月31日(金) 発送(簡易書留)

※11月6日(木) までに届かない場合は、巻末のお問い合わせ先へご連絡ください。

第2次選考 第1次選考の合格者に対して、面接試問を行います。

●実施日：2025年11月15日(土) または 16日(日) ※プログラムごとに異なります。詳細はp.15でご確認ください。

●場 所：Web会議システム (Zoom) または 対面 (臨床心理学プログラム・社会経営科学プログラム) による実施

第2次選考合否通知 2025年12月19日(金) 発送(簡易書留)

※2026年1月6日(火) までに届かない場合は、巻末のお問い合わせ先へご連絡ください。

科目登録 2月中～下旬 (予定)

入学 2026年4月1日(水)

4. プログラム

修士全科生は、以下の7つのプログラムのいずれか1つに所属します。出願できるのは、**1プログラム**に限ります。

●生活健康科学 ●人間発達科学 ●臨床心理学 ●社会経営科学 ●人文学 ●情報学 ●自然環境科学

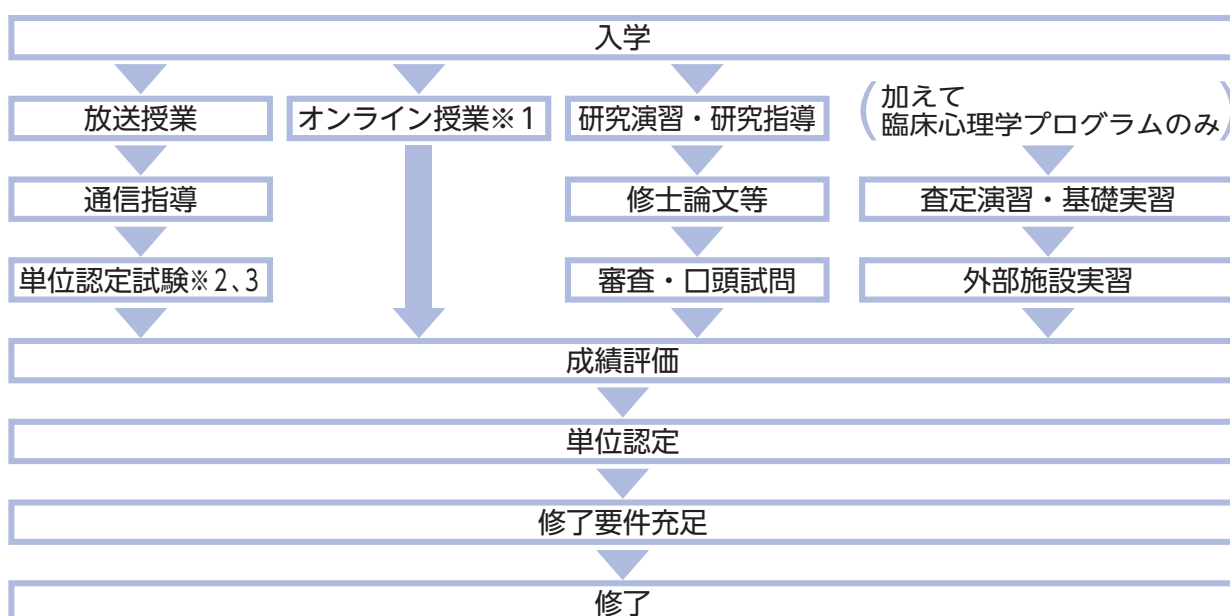
5. 学習センター・サテライトスペース

全ての都道府県に学習センター・サテライトスペースを設置しています。(p.31～40参照) 学生はいずれか1つに所属します。

学習センター・サテライトスペースの主な利用内容

●単位認定試験の受験 ●学習相談 ●書籍の閲覧
●学生団体（サークル）活動などの学生交流 ●学生証・証明書の発行（サテライトスペースを除く）

6. 入学から修了まで



※1 オンライン授業は、インターネット上で講義を視聴、小テストやディスカッション、レポート等の課題を科目ごとに決められた期間に提出して学びを進めます。通信指導や単位認定試験は行わず、インターネット上での学習により成績評価を行います。

※2 単位認定試験については、Web受験方式にて実施します。Web受験が困難な方は、入学後に申請を行うことで学習センター等で受験することができます。

※3 本学大学院では2025年度第1学期単位認定試験からWebカメラによる本人確認を実施しております。Webカメラをお持ちでない方や、Webカメラを使用した撮影およびその操作に不安のある方は、学習センター等で受験することができます。詳細は合格後にお送りする案内をご確認ください。

7. 修了要件

修士全科生として2年以上在学し、以下の単位数以上を修得して、かつ修士論文または特定課題研究（以下「修士論文等」という。）の審査および口頭試問に合格する必要があります。

特定課題研究とは、修士論文に代えて、特定の研究について評価を行うものです。本学で認められているものはp.21を参照してください。

プログラム名	修得すべき最低単位数 (合計)	内 訳		
		研究演習	所属プログラムから 修得すべき最低単位数	左記以外の 単位※
生活健康科学 人間発達科学 社会経営科学 人文学 情報学 自然環境科学	30単位	8単位	8単位	14単位
臨床心理学	34単位	8単位	必修科目16単位＋選択必修科目5区分 から2単位ずつ計10単位＝合計26単位	0単位

※他プログラムを含め大学院で開講している放送授業またはオンライン授業の単位

1. 放送授業の視聴方法およびオンライン授業の受講方法について

下の表のいずれかの方法で、放送・オンライン授業が視聴できることをご確認ください。

放送授業の視聴方法
BSテレビ放送 (BS231ch (BS232ch*)) テレビ科目 リモコンで「BS」を押し、BS放送に切り替えてください。a、b、cいずれかの方法により、視聴できます。 a リモコンのチャンネルボタンで選局 リモコンのハV+のついたチャンネル（選局）ボタンを順送りして、放送大学のチャンネルを選局してください。 b 電子番組表（EPG）から選択 リモコンの「番組表」ボタンを押して電子番組表を表示し、上下左右▲▼◀▶ボタン等で放送大学の番組を選択してください。 c 3桁のチャンネル番号を入力 リモコンの「チャンネル番号入力」「10キー入力」「3桁入力」等と表示されたボタンを押し、数字ボタンで「231」を入力してください。 *一部のテレビ科目については、BS232chでも放送しています。
BSラジオ放送 (BS531ch) ラジオ科目 テレビで聴く音声放送です。画面には番組名が静止画で表示されます。 リモコンで「BS」を押し、BS放送に切り替えてください。d、eいずれかの方法により、聴取できます。 d BSテレビの放送大学のデータ放送から切り替える 上記テレビ放送のa、b、cいずれかの方法でテレビ放送大学を選局し、直後に数秒間表示される画面左下の「BSラジオへ」の案内のとおり、「青」ボタンを押してください。 表示されない、または、表示が消えた場合は「d（データ）」ボタン→「青」ボタンの順に押してください。 e 3桁のチャンネル番号を入力 リモコンの「チャンネル番号入力」「10キー入力」「3桁入力」等と表示されたボタンを押し、数字ボタンで「531」を入力してください。
ケーブルテレビ テレビ科目 ラジオ科目 放送大学の番組を放送しているケーブルテレビで視聴することができます。配信状況、視聴方法については、お住まいの地域のケーブルテレビ事業者に確認してください。
ひかりTV テレビ科目 テレビ科目は、映像配信サービスの「ひかりTV」でも視聴できます。（ラジオ科目の聴取はできません。）詳しくはhttps://www.hikaritv.net/entry?cid=oujをご覧ください。
インターネット配信 テレビ科目 ラジオ科目 開講期間中はパソコンやスマートフォン等で原則全ての放送授業を視聴できます（一部インターネット配信限定で視聴する科目があります）。 科目名や視聴に必要な環境については、放送大学ウェブサイトの「トピックス」を参照してください。 ※映像・音声をパソコン等に保存することはできません。 ※ストリーミング配信のため視聴中にインターネット通信費がかかる場合があります。通信費がかからないWi-Fi環境等での視聴を推奨します。
放送教材 (DVD・CD) の郵送貸出 放送教材 (DVD・CD) を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます（一部インターネット配信限定で視聴する科目を除く）。送料は往復分とも貸出申込者（学生）負担となります。貸出方法等の詳細は合格後、授業料の納入後に送付される『学生生活の葉』で確認してください。

オンライン授業の受講方法	
インターネット	受講にはインターネットに接続されたパソコンとブラウザ、PDFファイルが閲覧できるソフトウェアが必要です。モバイル端末では、レポート提出等、一部機能の操作がパソコンと比べ煩雑であるため、モバイル端末だけでの受講は困難です。パソコンと併用することを推奨します。オンライン授業体験版 (https://online-open.ouj.ac.jp) で推奨環境、操作方法を必ずご確認ください。 学習できる環境をご自身で整えたうえ、科目登録をお願いします。学習センター等のパソコンは、原則利用できません。

2. 障がいのある方で特別な支援を希望される方

障がいのある方を対象に、障がいの特性に応じて入学選考における「受験上」および入学後における修学支援（本学では「受験上または修学上の合理的配慮」と言います）を行っています。

合理的配慮を希望される場合は、**2025年6月10日(火)～7月10日(木)〔必着〕**までに下記の申請書類を、**簡易書留等追跡可能な方法**により「合理的配慮申込届在中」と朱記の上、下記宛先へ提出してください。なお、提出された申請書類は返却いたしません。

ご提出いただいた書類をもとに、本学で対応を検討し、検討の結果、対応可能と判断した配慮内容について、8月8日（金）発送予定の通知書にてご連絡いたします。なお、審査内容に関する問い合わせには応じておりません。

提出先 〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11

放送大学学務部教務課大学院企画・入試係

※合理的配慮申込届は、巻末の出願用封筒の宛先に記す私書箱あてには絶対に送付しないでください。

○合理的配慮申請書類

申請書類	部数
合理的配慮申込届（以下ダウンロード先から入手する本学所定様式）	1
障害者手帳の写し または 医師の診断書（原本）	1
返信用封筒（ 長形3号 （120mm×235mm）に申請者の住所・氏名を明記し、返信用切手を貼ったもの）	1

○合理的配慮申込届ダウンロード先

<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/accessibility/support/>

※障がいのある方への修学支援



障がいのある方への修学支援（本学では、修学上の合理的配慮と言います）は、それぞれの障がいの特性や大学側の状況などを勘案し、希望される方ご自身と本学とが相談・協議のうえ、決定されるものです。上記ウェブサイトには修学上の合理的配慮の例を挙げておりますが、常時提供可能であることを保証するものではなく、過重な負担等となる場合には提供できませんので、ご注意ください。なお、**期限内に申請書類の提出がなされなかった場合には、受験上の合理的配慮を受けることができませんので、十分ご注意ください。**

既に教養学部または大学院修士課程で、修学上の合理的配慮に係る相談がお済みの方でも、修士全科生として合理的配慮を希望される場合には、別途申請が必要となりますので、必ず上記提出期間内に書類をご提出ください。

3. 合格後の在籍について

2026年4月から修士全科生として入学する場合、2026年度第1学期から修士選科生・修士科目生として本学に在籍することはできません。特に2025年度第2学期に修士選科生へ入学された場合や、それ以前に入学し、休学中の場合など**2026年度第1学期に在学期間が残っている場合には、退学の手続きが必要となります。**

1. 募集学生・募集人員

文化科学研究科 文化科学専攻 修士全科生（募集人員500名）

修士全科生とは、修士課程を修了して、「修士（学術）」の学位取得を目指す学生種です。本学修士課程は、1専攻ですが、その中に7つの「プログラム」を設けています。

修士全科生は、いずれか一つのプログラムに所属することとなりますが、研究目的に応じて他のプログラムの授業科目を履修することもできます。

各プログラム別の募集人員は、次のとおりです。

- 生活健康科学：90名程度 ●人間発達科学：60名程度 ●臨床心理学：30名程度
- 社会経営科学：100名程度 ●人文学：90名程度 ●情報学：70名程度 ●自然環境科学：60名程度

2. 入学受入方針

●アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

教育理念、教育研究上の目的等を踏まえて、生涯学習の実践をとおして高度な総合的教養に裏付けられた専門的学識及び知的技能を修得し、文化の進展並びに地域社会に貢献できる人材を養成するため、以下のよう学生を求める。

1. 地域社会・職場等における豊かな経験や専門領域における知識（※）をもつ。
2. 実的な問題解決に必要な、専門領域の周辺分野に関する知識をもつ。
3. 自ら課題を発見し問題を解決する能力をもつ。
4. 自分の意見を論理的に表現できる能力をもつ。
5. 学問及びその実践への応用に対する意欲と鋭い問題意識をもつ。
6. 生涯にわたってあらゆる機会、場所において学び、その成果を生かしていく意欲をもつ。
7. 自分自身で問題を発見し、調査・検証をし、研究論文を執筆する能力をもつ。

（※専門領域における知識等については、以下のとおり。）

生活健康科学 プログラム	生活科学、健康科学、社会福祉学等の領域において研究を行うために必要な専門的知識と、英語文献の読解力。生活の現実や健康の問題、それらに関わる専門職のあり方に常に興味を向けながら、学問・研究との接点を探ろうとする姿勢。
人間発達科学 プログラム	心理と教育に関する研究を行うために必要な専門的知識。
臨床心理学 プログラム	臨床心理学に関して、心理臨床の実際の中から「臨床の知」を紡ぎだすための専門的知識。心理臨床現場で専門的な心理職として仕事をしたいと望む確たる内的必然性と動機付け。既に心理臨床現場で経験を積んでいる場合は、心理職としてのレベルアップを目指し、心理臨床経験を学問として深めたいと希望する意欲。
社会経営科学 プログラム	社会と産業のしくみについての専門的及び学際的な知識や、持続可能で豊かな社会を生きるための幅広い技術と、英語文献の読解力。
人文学 プログラム	思想・芸術・歴史・文学をはじめ、人間の生み出した文化のありかたについての様々な学問領域における専門的知識と、英語文献の読解力。
情報学 プログラム	情報学に関する知識と技術。論理的思考・計算論的思考力。実的な問題解決に必要な人文・社会科学、工学、自然科学に関する知識。
自然環境科学 プログラム	人間活動と自然との関わり合いや持続可能な未来に向けた実践と判断に関する専門的知識。

●教育目標

プログラム名	教育目標
生活健康科学	生活、健康、福祉の領域における専門的かつ総合的な知識を持ち、生活環境をよりよい方向に導くための方法を習得し、人々の生活の質の向上に資するための施策に積極的に関わる能力を有する指導的人材の養成
人間発達科学	人間の心理的及び社会的な発達のメカニズムを理解し、現代の学校や家族あるいは地域社会が直面する教育課題を科学的・実証的に把握した上で、そうした課題に積極的に取り組み、多様な学習ニーズに対応していくことができる指導的人材の養成
臨床心理学	さまざまな分野で深刻さを増す心理的な問題に対応できる臨床心理士（高度専門職業人）の養成および再研修
社会経営科学	社会の構造と変容について多様な見地から解明し、さまざまな社会領域のガバナンスに必要とされる高度な知識と技術を備えた人材の養成
人文学	人文学研究の諸分野において、蓄積されてきた知的資産を基礎にして、多様で洗練された方法論を身につけて資料の調査・解読・分析を行い、総合的な知見と創造性をもって「知」の発展に貢献できる人材の養成
情報学	情報及びコンピュータに関する基礎概念や応用知識をもとに、社会における様々な現象の本質を見極める能力を持ち、問題解決にむけて、その知識を実践的に活用していくことのできる人材の養成
自然環境科学	科学技術が自然環境や人間社会に大きな影響を与える現代にあって、科学的認識に基づいて問題を把握し、その解決を指向する実践能力と、客観的な評価能力を身につけた人材の養成

1 概要

2 出願にあたって

3 募集内容

4 出願資格

5 入学者選考方法

6 出願方法

7 出願書類

8 入学

9 本部・学習センター等の案内

10 本部・お問い合わせ一覧

3. 研究指導、実験・演習・実習

- ①研究指導（修士論文等を作成するための指導）は、学生が所属するプログラムに在籍する教員から受けることになります。研究指導担当教員は、出願時の研究計画書および入学選考の結果等を総合的に勘案して、本学が最適と判断した教員に決定しますので、必ずしも希望どおりになるとは限りません。なお、研究テーマによっては、本学が決定した客員教員が研究指導を行うこともあります。
- ②研究指導は、直接対面での指導や、Web会議システム・電子メール等インターネット技術を活用した方法で個別またはゼミナール形式にて行います。地方での直接指導は、教員が特に認めた場合に例外的に行われるため、遠方の学生はインターネットを利用できる環境があってパソコンスキル（ワード・エクセル・電子メール等）を身につけていなければ、指導上の不利益を被る可能性があります。なお、具体的にどのような方法で指導を行うかは、入学後、研究指導担当教員が学生と相談した上で決定します。
- ③実験・実習を伴う研究については、指導困難な場合があります。実験・実習を伴う研究を検討されている場合、その内容を具体・詳細に記した上で下記「4.プログラムの選択」に記載の方法で本学のプログラムで指導可能かについて必ず事前にご確認ください。
- ④臨床心理学プログラムは、研究指導とは別に「演習・実習」があります。

4. プログラムの選択

合格者はプログラム毎に決定します。プログラムの選択は、入学受入方針や各プログラムの専任教員の指導可能なテーマ・研究業績、本要項、同封の「大学院案内」、「授業科目概要」のほか、本学ウェブサイトの教員紹介ページ (<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/act/>) やウェブサイト掲載のプログラム紹介資料 (<http://www.ouj.ac.jp/admission/gakuin/guidance/>) 等を参照し、ご自身の「研究計画書」の内容との整合性を念頭に置いて、慎重に行ってください。

お考えの研究テーマが本学のプログラムで指導可能かについて確認されたい場合は、次の事項を記し、件名を「2026年度修士全科目入学選考のプログラム選択について（氏名）」として**2025年7月末日まで**に教務課大学院企画・入試係（in-nyushi@ouj.ac.jp）にメールでお問い合わせください。

ただし、本問い合わせに対するプログラムからの回答は内容の如何に関わらず「入試の合格や指導教員を保証するものではないこと」に注意してください。（回答には2週間程度のお時間を頂戴する可能性がございます。）

- ① 現時点で希望するプログラムがある場合は、その名称
- ② 現時点で希望する専任教員がいる場合は、その氏名
- ③ 現時点で考えている研究題目とその研究概要、その研究をしたいと考える理由

※本学では最終合格前に、入学希望者が教員と直接の相談等連絡を行うことはできません。

5. 修士課程を修了後、再度入学を希望する方へ

本学修士課程で修士の学位を取得された方は、修了されたプログラムと異なるプログラムに出願することはできますが、修了されたプログラムと同一のプログラムには再度出願することができませんのでご注意ください。

なお、「臨床心理プログラム」の修了生が「臨床心理学プログラム」に、「文化情報学プログラム」の修了生が「人文学プログラム」に出願することはできません。

また、出願時の研究計画書の内容が、修了されたプログラムにおける修士論文等の内容と実質同様であると認められる場合も、出願を受理しませんのでご注意ください。

6. 修士課程を退学後、再入学を希望する方へ

大学院修士全科生として入学後、退学された方で、修士全科生として再入学を希望される場合、次の条件をいずれも満たす場合に再入学選考を行うことがありますので、2025年8月4日(月)までに、教務課大学院企画・入試係 (in-nyushi@ouj.ac.jp) へご相談ください。

①再入学時に希望する研究題目・内容と、退学時の研究題目・内容が実質同様と認められるとき。

②再入学する年次の研究指導体制に余裕があるとき。

※在籍期間満了等で除籍となった方は再入学選考の対象外です。修士全科生へ入学する場合は通常の入学者選考を受験する必要があります。

7. 教育訓練給付制度をご利用の方へ（ご利用の方のみお読みください）

本学大学院修士課程は教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座の実施大学院です。また、本講座は、受給資格のある方が大学院修了時に申請することで利用が可能になる制度です。

制度の利用方法、給付額、給付資格等については、厚生労働省開設のホームページ等にて確認してください。

※本制度利用には雇用保険支払い期間等の条件がありますので、各自で事前に受講者本人の住所を管轄するハローワークへ受給資格の有無を必ず確認し、申請してください。

詳しくは厚生労働省のHP(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzai_kaihatsu/kyouiku.html)を参照してください。



本制度を利用して放送大学の講座を受講するにあたり、プログラムを選定するために必要な情報(<https://www.ouj.ac.jp/admission/gakuin/training-education-benefits/>)を必ず確認してください。



なお、大学院修士全科生の以下3プログラムは、3年毎に指定講座として厚生労働省に再指定を受けます。

これに従い、再指定を受けることができなかった場合、講座の受講を申請いただいても、制度を利用いただけないことがありますのでご注意ください。（この講座は2024年4月に講座創設しています。）

（受講期間）

修士全科生 2026年度第1学期～2027年度第2学期(2026年4月1日～2028年3月31日)

開講講座の概要

対象学生種	講座名（指定講座番号）	訓練期間	教育訓練の内容
修士全科生	大学院修士課程 生活健康科学プログラム 1220099-2410012-6	2年間	「生活健康科学プログラム」の開設科目
修士全科生	大学院修士課程 社会経営科学プログラム 1220099-2410022-9	2年間	「社会経営科学プログラム」の開設科目
修士全科生	大学院修士課程 情報学プログラム 1220099-2410032-1	2年間	「情報学プログラム」の開設科目

1. 出願資格

出願資格を有する方は、放送大学の放送授業を視聴でき、以下の(1)～(4)のいずれかに該当する方です。

＜出願資格を有する方＞

(1)	大学（学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学をいう。以下同じ。）を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者
(2)	学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者 [注1]
(3)	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者 [注2]
(4)	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者 [注2]
(5)	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者 [注2]
(6)	外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者 [注2] [注3]
(7)	専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者 [注2]
(8)	文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号） [注4]

※複数の出願資格に該当する場合はp.20の③をご確認ください。

[注1] (2)に該当する方は、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方および授与される見込みの方です。なお、2025年10月以降に同機構へ申請する予定の方は、出願時点（8月）では学位授与申請受理証明書が発行されないため、出願できません。

[注2] (3)から(7)に該当する方は、出願資格の確認を行いますので、出願期間前に必ず卒業または学位授与証明書の電子データをメールで教務課大学院企画・入試係（in-nyushi@ouj.ac.jp）へお送りください。（※(3)・(4)または(6)に該当する方はご自身で作成された和訳もあわせてお送りください。）出願資格の確認には2週間以上の時間を要する場合があります。できる限り早めにお送りください。

[注3] 「外国の大学その他の外国の学校」とは、その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。また、「修業年限が3年以上である課程を修了すること」とは、当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものにおいて課程を修了することを含みます。

[注4] (8)は次に掲げる方などが該当します。ご不明な点がございましたら、卒業または学位授与証明書や免許状の電子データを添付の上、教務課大学院企画・入試係（in-nyushi@ouj.ac.jp）にメールでお問合せください。

- ①旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令、独立行政法人個別法による大学校を卒業した方（卒業見込みの方を含む）
- ②教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する方で22歳に達した方

(9)～(14)に該当する方は、出願資格事前審査に申請し、審査の結果、本学大学院が「出願資格有り」と認めた場合に限り出願することができます。詳しくは「2. 出願資格事前審査」をご覧ください。

＜出願資格事前審査を要する方＞

(9)	大学に3年以上在学した者で、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めるもの [注5]
(10)	外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めるもの
(11)	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者で、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めるもの
(12)	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めるもの
(13)	学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
(14)	本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの及び2026年4月1日までに22歳に達するもの

[注5] (9)に該当する方で、現在大学に在学中の方は、本学の大学院へ合格し入学後も引き続き大学に在学できるかについては、在学大学へお問い合わせください。

なお、「所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院が認めた方」とは、「大学において2年次までに修得した単位が62単位以上であり、かつ最上位の評価を受けた科目が全取得科目の相当数以上であると本学大学院が認めた方」です。

2. 出願資格事前審査

出願資格事前審査は、上記の(9)～(14)に該当する方に対して行う審査です。

出願資格事前審査は、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院が認定した場合に出願資格を認める制度ですが、出願資格を有すると認定されるためには非常に高い実績を持つことが要求されます。

そのため、短期大学、高等専門学校（5年制）、専修学校専門課程（2年専門課程）、各種学校を卒業された方は、一般的に、本学教養学部全科履修生の2・3年次に編入学する制度を利用して、「1. 出願資格」の(1)の出願資格を取得することが期待されています。

審査を希望される場合は、**2025年6月10日(火)～7月10日(木)〔必着〕**までに次ページ記載の申請書類を、**簡易書留郵便または一般書留郵便**により「**出願資格事前審査申請書在中**」と朱記の上、下記宛先へ提出してください。なお、提出された申請書類は返却いたしません。

審査結果は、2025年8月8日(金)に通知文書を発送する予定です。出願資格が認められた方は、出願資格認定番号を確認の上、p.18記載の出願書類を出願期限までに提出してください。なお、8月13日(水)を過ぎても審査結果通知文が到着しない場合は、教務課大学院企画・入試係 (in-nyushi@ouj.ac.jp) へお問い合わせください。

なお、**審査内容に関する問い合わせには応じておりません**。また、これまでに出願資格(9)～(14)に該当すると本学大学院が認定した方については、あらためて本審査を受ける必要はありませんので、出願資格認定番号を出願票に記入の上、出願書類を出願期限までに提出してください。

提出先 〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11

放送大学学務部教務課大学院企画・入試係

※出願資格事前審査申請書は、巻末の出願用封筒の宛先に記す私書箱あてには送付しないでください。

〇13ページ(9)～(13)の方の申請書類

申 請 書 類	原本 (コピー不可)
①出願資格事前審査申請書（本募集要項添付の所定様式による）	1
②学業成績証明書（原本） ※(13)の出願資格で申請される方は、大学および大学院両方の学業成績証明書（原本）が必要です。	1
③「在学」または「在籍期間（退学）」証明書（原本） ※(10)～(12)で申請される方は、15年の課程修了（見込み）証明書（原本）が必要です。 ※(13)で出願資格で申請される方は、大学および大学院両方の在学または在籍期間（退学）証明書（原本）が必要です。	1
④返信用封筒(長形3号(120mm×235mm)) (申請者の住所・氏名を明記し、返信用切手を貼ったもの)	1

〇13ページ(14)の方の申請書類

申 請 書 類	原本 (コピー不可)
①出願資格事前審査申請書（本募集要項添付の所定様式による）	1
②研究・実務概要（下記参照）	1
③最終学校の卒業（または退学）証明書（原本）	1
④最終学校の学業成績証明書（原本）	1
⑤返信用封筒(長形3号(120mm×235mm)) (申請者の住所・氏名を明記し、返信用切手を貼ったもの)	1

「研究・実務概要」について

大学を卒業した方と同等以上の学力があるかどうかを判定するための資料となります。最終学校卒業後に研究機関や企業等において携わった研究・実務の内容を**10枚程度（A4版、片面印刷、文字サイズ9ポイント以上）**にまとめて記述してください。

日本国内もしくは国外の大学または大学共同利用機関等、これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間研究に従事し、研究業績のある方は、その研究および成果物（著書、学術論文、学術講演、学術報告書および特許等）が大学卒業相当の能力を証明すると考えるものについて、当該内容を記述してください。

企業・社会活動・学会等における実務経験等を、大学卒業相当の資質・能力を有していることの根拠とされたい方は、その経験によって大学卒業相当の資質・能力を養成したものであることを具体的に示してください。また、その成果や有する資質・能力に基づき大学等において講師等の職に就いた経験のある方は、その講義の内容（コマ数・単位および講義概要等）を記述してください。

<その他>

- ・本学の発行する証明書の場合も提出は必須です。
- ・現在の氏名と証明書に記載された氏名に変更があった場合
姓のみ変更：変更前後の姓、変更年月日（A4判、様式任意）を記入して申請書類と一緒に提出してください。
姓名の変更、名のみの変更：戸籍・免許証等の変更前と変更後の氏名が確認できる書類の写しを申請書類に同封してください。
- ・必要に応じて他の証明書等を求める場合がありますのでご注意ください。
- ・虚偽の申請（虚偽の証明書提出等を含む）を行ったことが判明した際には、認定された出願資格は無効となります。

1. 第1次選考（筆記試験）

プログラム毎に筆記試験を行い、「与えられた課題に対する理解力および論述能力」を判定し、第1次選考の合格者を決定します。第1次選考の合格者はプログラム毎に募集人員の2～3倍までとします。

○試験日時 2025年10月4日(土) 9時30分～11時30分

*個人の事情による日時の変更等には応じておりませんので、あらかじめご了承ください。

○試験会場 原則として所属を希望する学習センター

※ただし、東京渋谷学習センターを希望される方は、試験会場等の都合上、東京文京学習センターでの受験となります。
また、サテライトスペースを所属希望とされる方は当該道県内学習センターでの受験となります。

○出題内容

プログラム名	出題内容	配点比率(専門分野：英語)	特に持込を許可するもの
生活健康科学	専門分野・英語	50：50	英和辞典のみ持込可(電子辞書は不可)
人間発達科学	専門分野		
臨床心理学	専門分野		
社会経営科学	専門分野・英語	50：50	英和辞典のみ持込可(電子辞書は不可)
人文学	専門分野・英語	70：30	英和辞典のみ持込可(電子辞書は不可)
情報学	専門分野		
自然環境科学	専門分野		

専門分野の点数が、各プログラムにおいてあらかじめ定めた点数に満たなかった場合は不合格となります。

※過去3年分の筆記試験問題を本学ウェブサイトで公開しています。

○合否通知 2025年10月31日(金)発送

簡易書留郵便にて送付し、合格者には第2次選考（面接試問）の日時等が記載された書類も同封します。

なお、2025年11月6日(木)までに届かない場合は、教務課大学院企画・入試係へお問い合わせください。

2. 第2次選考（面接試問）

第1次選考の合格者に対して、プログラム毎に、研究計画書、志望理由書、社会経営科学プログラム堀部安嗣教授を希望する場合は過去に作成した設計図書含むポートフォリオ等提出物をもとに面接試問を行い、「研究遂行能力や意欲など」を判定します。面接試問の点数が、各プログラムにおいてあらかじめ定めた点数に満たなかった場合は不合格となります。

最終合格者は、プログラム毎に筆記試験および面接試問の結果に基づき決定します（配点比率は50：50です）。

○試験日時 2025年11月15日(土)または16日(日)

プログラム	11月15日(土)	11月16日(日)	プログラム	11月15日(土)	11月16日(日)
生活健康科学	○		人文学		○
人間発達科学	○		情報学		○
臨床心理学※	○	○	自然環境科学	○	
社会経営科学		○			

※臨床心理学プログラムは本学が指定するいずれか1日です（第1次選考合格時に通知）。

○試験会場ならびに実施方法（プログラムにより会場・方法が異なります。）

(1)臨床心理学プログラム・社会経営科学プログラム

放送大学本部で、対面による面接試問を行います。

(2)臨床心理学プログラム・社会経営科学プログラム以外のプログラム

自宅またはオフィス等の個室からWEB会議システム（Zoom）を使用して、遠隔で面接試問を受験していただきます。

受験には以下の準備・確保が必要となります（受験生が準備・確保してください）。

1. 明るく静寂な個室環境（受験中本人以外は入室しないようにできる場所）
2. 動画を送受信できるネットワーク環境
3. カメラ・マイクを接続したZoomが使用できる状態のパソコン・タブレット端末
4. スマートフォン・電話等（ネットワークトラブルが発生した場合の緊急連絡用）

集合時間 上記試験日の9時から18時の間で本学が指定します。

*個人の事情による日時の変更等には応じておりませんので、あらかじめご了承ください。

○最終合否通知 2025年12月19日(金)発送

簡易書留郵便にて送付します。2026年1月6日(火)までに届かない場合は、教務課大学院企画・入試係へお問い合わせください。

3. 注意事項等

①第1次選考（筆記試験）および第2次選考（面接試問）を受験しなかった場合は欠席扱いとなり、入学者選考の対象外となります。また、欠席者に対して入学者選考の結果通知は行いません。

②受験のための宿泊施設等の斡旋は行っておりません。

③選考内容を含む合否の問い合わせには応じておりません。

④天災、交通機関の事故、台風・大雨等による交通機関のまひ、その他受験者の責任に帰さないやむを得ない事情が生じた場合、予備日に入学者選考を実施します。

・第1次選考予備日 2025年10月12日(日)

・第2次選考予備日 2025年11月23日(日)

*個人の事情による日時の変更等には応じておりませんので、あらかじめご了承ください。

出願は、「インターネット」または巻末に綴られている出願票等による「郵送」のいずれかの方法により行ってください。複数回出願した場合、先に提出された内容を優先し、手続きを進めます。

1. インターネットによる出願		受付期間 2025年8月15日(金) 9時～8月25日(月) 17時
1 / 8	出願前の準備	
(1) 入学検定料納付後の領収証書及び証明書類は別途郵送していただく必要があります。 p.18～19「1. 出願書類」を確認してください。 <注意>これらの証明書類等が本学へ届くまで出願が完了したことになりません。8月25日(月)までの消印がない場合、出願書類に不備があるものとして出願を受理しませんのでご注意ください。 (2) インターネット出願前に、必ず学生募集要項巻末に添付する所定の「振込依頼書」を用いて「入学検定料」を納付してください。出願画面で入学検定料の「払込取扱票番号」の入力が必要になります。 (3) 出願情報の登録後に確認メールを受信するためメールアドレスが必要です。お持ちでない場合は、フリーメール等を新たに取得してください。また、本学ドメイン「ouj.ac.jp (後方一致)」からのメールを受信できるよう、あらかじめ設定をお願いします。 (4) 顔写真の電子データが必要です。準備が難しい場合、次ページの写真票に以下の写真を貼付して、領収証書等を送付する際に同封してください。 ・3ヵ月以内の撮影で、前向き、上半身、無帽、縦30mm×横24mmの大きさのもの ・裏面に電話番号・氏名・整理番号を記入（整理番号は出願登録完了画面に表示されます） (5) 研究計画書（1,000字程度）および志望理由書（700字程度）は、60分を経過すると画面がタイムアウトし、入力途中のデータが消去されますので、あらかじめ下書きデータをご準備ください。 ※研究計画書および志望理由書は、インターネット出願によらず、最下段に記す「領収証書貼付用紙③」や証明書類等とともに郵送により提出することもできます。		
2 / 8	本学ウェブサイトへアクセス	
「放送大学」で検索してください。(www.ouj.ac.jp)		
3 / 8	「インターネット出願」のボタンをクリック	
4 / 8	修士全科生の「出願する」ボタンをクリック	
5 / 8	基本情報や出願情報を入力	
研究計画および志望理由等は、あらかじめ下書きデータをご準備の上、入力してください。 「登録」ボタンを押した後は、入力・選択内容の変更はできません。登録完了前に必ず入力・選択内容をよく確認してください。		
6 / 8	整理番号の確認・控え	
情報登録後に表示される整理番号（9桁の数字）を確認し、必ずメモしておいてください。 整理番号が表示されない場合は登録が行われていませんので、はじめからやり直してください。		
7 / 8	インターネットによる出願情報の登録完了	
後日の照会や確認のため、登録した情報は、ご自身で必ず保存しておいてください。 ※出願情報として登録されたメールアドレス宛に確認メールが自動配信されます。		
8 / 8	「領収証書貼付用紙③」や出願資格を証明する各種証明書類等の送付	
書類提出期間 2025年8月15日(金)～8月25日(月) [消印有効] 「入学検定料」を払い込んだことを証明する「領収証書（ご依頼人控）」を本要項添付書類「領収証書貼付用紙③」に貼付して、巻末に綴じ込まれている出願用封筒で、簡易書留郵便または一般書留郵便にて送付してください（スマホ決済をご利用の方はp.41をご確認ください）。また、必ずp.18～19にて提出書類を確認し、必要に応じて、出願資格を証明する各種証明書・学業成績証明書および研究計画書・志望理由書等の書類も同封してください。 ※領収証書、各種証明書類等は、原則としてインターネット出願後に送付してください。やむを得ずインターネット出願前に送付される場合は、整理番号欄を空欄にし、「後日インターネット出願をする」旨のメモ（A4判、様式任意）を同封してください。		

※受付期間中、システムをメンテナンスのため一時的に停止することがありますので、余裕をもって出願してください。

2. 郵送による出願

出願期間 2025年8月15日(金)～8月25日(月)消印有効

出願前にp.18～19にて提出書類を必ず確認してください。そのうえで、p.22～27「3. 出願書類の記入方法等」に従って出願票、研究計画書および志望理由書を記入してください。すべての必要書類は、巻末に綴じ込めである所定の出願用封筒を用いて、郵便局窓口を持ち込み、必ず**簡易書留郵便**または**一般書留郵便**にて送付してください。

＜注意＞出願提出書類の不足や不備があり、出願期間中に不足書類が本学へ届かなかった場合や、不備が解消されなかった場合は、出願を受理しません。

※普通郵便、特定記録郵便等で送付された場合の未着等の責任は負いかねますので、必ず上記方法にてお送りください。なお、**出願書類の到着確認対応は行っておりません**ので、日本郵便が行っている「郵便追跡サービス」にて、ご自身でご確認ください。

メモ（ご自由にお使いください）

※インターネット出願で使用する顔写真の準備が難しい場合、以下の写真票を領収書等送付の際に同封してください。

インターネット出願者用

写真票

写真貼付箇所

(縦30ミリ×横24ミリ)

(3ヵ月以内の撮影、前向き、

上半身、無帽)

(写真裏面に氏名・

電話番号・整理番号

を記入し、剥がれな

いようし、しっかりのり

付けてください。)

フリガナ	
氏名	

電話番号	() -
------	-------

整理番号	
------	--

インターネット出願を受け付けた際に表示された整理番号を記入してください。

1. 出願書類

出願にあたっては、「Ⅰ」全出願者共通提出書類および「Ⅱ」出願資格別提出書類の両方が必要です。また、「Ⅲ」に該当する場合、指定の追加書類の郵送提出も併せて必要となりますので、よくご確認の上、必ず提出してください。

「Ⅰ」 全出願者共通提出書類

出願書類の種類	内 容 等
出 願 票 (本要項添付 (青) ①～②)	本要項に添付されている「修士全科学出願票」を用いてください。記入にあたっては、p.22～25の記入方法を参照してください。 ※インターネット出願により提出することもできます。
領収証書貼付用紙③ 入学検定料納付後の 「領収証書 (原本)」 (30,000円) ※インターネット出願を行った場合でも必ず郵送での提出が必要です。	本要項に添付されている「振込依頼書」により入学検定料を払い込み、その「領収証書 (原本)」を領収証書貼付用紙③に貼付して、巻末に綴じ込まれている出願用封筒で、簡易書留郵便または一般書留郵便にて送付してください。 なお、払い込みは8月14日(木)から可能となりますので、銀行等の金融機関の窓口またはコンビニエンスストアのレジカウンターで行ってください (スマホ決済もご利用いただけます。詳細はp.41をご確認ください)。 ※金融機関またはコンビニエンスストアから領収印をもらってください。 コンビニエンスストアのレジカウンターで納付する方は、納付時に領収証書とともに渡されるコンビニエンスストア発行のレシートを必ず保管しておいてください。 ※ATMでは振込人が特定できず、入学検定料の振込確認ができませんので、使用しないでください。
研 究 計 画 書 (本要項添付 (黄) ④～⑤)	本要項に添付されている「研究計画書」を用いてください。記入にあたっては、p.26の記入方法を参照してください。 ※インターネット出願により提出することもできます。
志 望 理 由 書 (本要項添付 (緑) ⑥)	本要項に添付されている「志望理由書」を用いて送付してください。記入にあたっては、p.27の記入方法を参照してください。 ※インターネット出願により提出することもできます。

●外国籍の方は、在留資格証明書類を提出してください。(p.20「出願に際しての注意事項」⑩参照)

「Ⅱ」 出願資格別提出書類（出願資格についてはp.12～13参照）

●証明書類の発行には時間を要する場合がありますので、お早めにご準備ください。

出願資格	提出書類														
出願資格(1)および(3)～(7)	ア. 卒業証明書または卒業見込証明書（原本） イ. 学業成績証明書（原本） ※上記ア.イ.両方の提出が必要になります。 - 卒業（見込みを含む）した大学（出願資格(7)の場合は専修学校）が発行したものを同封してください。 最終学歴が大学院修了（見込みを含む）であっても大学の卒業・学業成績証明書が必要となりますので注意してください。 - 本学教養学部 of 全履修生の卒業生（見込みを含む）は提出不要です。（出願票またはインターネット出願画面の記入欄に必ず学部の学生番号を記入してください。） - 出願資格(3)または(4)に該当の方は、出願資格を確認するため、次の作成例を参考にし、初等教育（小学校）からの学歴（入学年月、卒業年月）を記載したもの（A4判、様式任意）を同封してください。 （作成例） <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">学 歴</th> </tr> <tr> <th>年月（入学・卒業・退学等）</th><th>事 項</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇年〇月入学～〇年〇月転出</td><td>〇〇町立〇〇〇〇小学校（日本）</td></tr> <tr> <td>〇年〇月転入～〇年〇月卒業</td><td>〇〇市立〇〇〇〇小学校（日本）</td></tr> <tr> <td>〇年〇月入学～〇年〇月卒業</td><td>〇〇市立〇〇〇〇中学校（日本）</td></tr> <tr> <td>〇年〇月入学～〇年〇月卒業</td><td>〇〇県立〇〇〇〇高等学校（日本）</td></tr> <tr> <td>〇年〇月入学～〇年〇月卒業</td><td>〇〇〇〇大学（アメリカ合衆国）</td></tr> </tbody> </table>	学 歴		年月（入学・卒業・退学等）	事 項	〇年〇月入学～〇年〇月転出	〇〇町立〇〇〇〇小学校（日本）	〇年〇月転入～〇年〇月卒業	〇〇市立〇〇〇〇小学校（日本）	〇年〇月入学～〇年〇月卒業	〇〇市立〇〇〇〇中学校（日本）	〇年〇月入学～〇年〇月卒業	〇〇県立〇〇〇〇高等学校（日本）	〇年〇月入学～〇年〇月卒業	〇〇〇〇大学（アメリカ合衆国）
学 歴															
年月（入学・卒業・退学等）	事 項														
〇年〇月入学～〇年〇月転出	〇〇町立〇〇〇〇小学校（日本）														
〇年〇月転入～〇年〇月卒業	〇〇市立〇〇〇〇小学校（日本）														
〇年〇月入学～〇年〇月卒業	〇〇市立〇〇〇〇中学校（日本）														
〇年〇月入学～〇年〇月卒業	〇〇県立〇〇〇〇高等学校（日本）														
〇年〇月入学～〇年〇月卒業	〇〇〇〇大学（アメリカ合衆国）														
出願資格(2)	ア. 大学改革支援・学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書または学位授与申請受理証明書（原本） イ. 大学改革支援・学位授与機構に提出した（卒業（修了）した教育機関が発行した）学業成績証明書（原本） ※上記ア.イ.両方の提出が必要になります。														
出願資格(8)	※出願資格(8) [注4] の①に該当の方 ア. 最終学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書（原本） イ. 学業成績証明書（原本）（卒業（修了）した教育機関が発行したもの） ※上記ア.イ.両方の提出が必要になります。 ※出願資格(8) [注4] の②に該当の方 ア. 専修免許状または一種免許状のコピーあるいは教育職員免許状授与証明書（原本） イ. 学業成績証明書（原本）（卒業（修了）した教育機関が発行したもの） ※上記ア.イ.両方の提出が必要になります。														
出願資格(9)～(14)	※出願資格(9)～(14)に該当の方は「Ⅱ」出願資格別提出書類はありません。 「Ⅰ」全出願者共通提出書類の提出は必須です。														

「Ⅲ」 社会経営科学プログラム 住宅建築設計分野 堀部安嗣教授を希望される場合の追加必要書類（詳細についてはp.21参照）

提出書類	部数
過去に作成した設計図書を含むポートフォリオ 必ずp.21の説明をご確認ください。	2部

2. 出願に際しての注意事項

- ①出願書類に不備があり、不備が解消されない場合は、出願を受理しかねますので、十分注意してください。
- ②提出された出願書類は返還いたしません。**提出する書類はコピー等を取り、必ずご自身で控えをお持ちください。**
また、入学検定料は次の場合を除き返還いたしません。
 - ・出願資格がない、または出願が受理されなかった場合
 - ・出願期間終了前に出願辞退の申し出があった場合
 ※出願を辞退される場合、メールにて教務課大学院企画・入試係 (in-nyushi@ouj.ac.jp) まで、タイトルを「出願辞退 (修士全生)」と、本文に「氏名、住所、電話番号、出願辞退理由」を記載し、2025年8月25日(月)までにお知らせください。**お電話での出願辞退は承っておりません。**
- ③出願資格が(1)～(8)の中で複数該当する場合には、上位の番号(例：(1)と(2)に該当する場合は(1))の出願資格を選択し、当該出願資格に関する証明書類を提出してください。なお、選択しようとする出願資格が取得見込みであり、下位の番号で既に取得済みの出願資格がある場合は、取得済みの出願資格を優先してください。
- ④インターネット出願をされた方は、巻末に綴じ込まれている「出願用封筒」表の「出願票提出方法」欄の該当するものにチェックマークをし、インターネット出願完了時に表示される整理番号を記入してください。(やむを得ずインターネット出願前に必要書類を送る場合は、整理番号欄を空欄にし、「後日インターネット出願をする」旨のメモ(A4判、様式任意)を同封してください。)
- ⑤見込証明書・受理証明書を提出した場合は、入学前に卒業(修了)証明書・学位授与証明書の原本を必ず提出する必要があります。
- ⑥現在の氏名と証明書に記載された氏名に変更があった場合
姓のみ変更：変更前後の姓、変更年月日(A4判、様式自由)を記入して出願書類と一緒に提出してください。
姓名の変更、名のみの変更：戸籍・免許証等の変更前と変更後の氏名が確認できる書類の写しを出願書類に同封してください。
- ⑦保管期間経過等により学業成績証明書が発行されなかった場合は、その旨を記した証明書を卒業(修了)した教育機関から発行してもらってください。
- ⑧外国の学校等で証明書の発行等が行われていない場合は、教務課大学院企画・入試係 (in-nyushi@ouj.ac.jp) へお早めにご相談ください。
- ⑨卒業証明書と学業成績証明書が一体となっている証明書も提出可とします。
- ⑩外国籍の方が出願する際には、次のいずれかの在留資格証明書類を出願書類と一緒に提出してください。

☐ 在留カードの写し(両面)	☐ 特別永住者証明書の写し(両面)
☐ 外国人登録証の写し(両面)	☐ 日本への在留ビザの写し

 ※外国籍の方が本学に入学する場合の在留資格については、あらかじめ最寄りの入国管理局へお問い合わせください。
放送大学への入学は通信制の大学であることから、留学ビザの資格発生要件となりませんので注意してください。
- ⑪学業成績証明書が前期・後期等に分かれている場合、両方の提出が必要です。
- ⑫出願書類提出後における記載事項の変更(プログラムの変更等)はできません。
大学からの文書送付先の変更が必要な場合は、郵便局の「転居・転送サービス」をご利用いただき、入学後の住所の変更は、最終合格後にお手続きください。
- ⑬出願に必要な書類は、巻末に綴じ込んである所定の出願用封筒に入れ、必ず、**郵便局に持ち込み、簡易書留郵便または一般書留郵便**で送付してください。普通郵便、特定記録郵便等で送付された場合の未着等の責任は負いかねますので、必ず上記方法にてお送りください。また、**出願書類の到着確認対応は行っておりません**ので、日本郵便が行っている「郵便追跡サービス」により、ご自身でご確認ください。
- ⑭本出願に関し、虚偽の出願(虚偽の証明書提出等を含む)を行った場合は出願の受理を取り消します。
- ⑮出願書類を受理した後、2025年9月9日(火)に「受験票」および「第1次選考の場所、受験に際しての注意事項」等を発送します。なお、9月16日(火)までに到着しない場合は、教務課大学院企画・入試係 (in-nyushi@ouj.ac.jp) へお問い合わせください。

特定のプログラム及び分野を希望される場合について（提出書類はp.19参照）

上記プログラム・分野・教員を希望する場合は**必ず、研究計画書⑤「希望する研究指導担当教員名」に当該教員氏名を記入してください。**

■ **メモ**（ご自由にお使いください）

[illegible]

3. 出願書類の記入方法等

「インターネット出願」での必要事項の入力にあたっては、入力画面の注記をご確認の上、行ってください。

I 出願票の記入方法について

「出願票」は、本要項巻末に綴じ込んである専用用紙を用い、以下の点に注意して記入してください。

記入にあたっては、黒色または青色のボールペン、万年筆（鉛筆は不可）を使用し、誤記入等をした場合には、二重線で消し、余白に正しい内容を記入してください。

修士全科生出願票 2026年度用		出願票書き方見本		※大学事務局記入欄		出願票 ①	
カタカナ記入（姓と名の間は1マスあけ、濁点等は1マス使用）				※郵便物宛名 別の氏名で郵便物の受け取りが可能で、希望する方のみ記入		顔写真 （縦30ミリ×横24ミリ） （3ヵ月以内の撮影、前向き、上半身、無帽） （写真裏面に氏名・電話番号を記入し、剥がれないようしっかりと貼付けしてください）	
① 氏名 姓 名 修 士 太 郎				フリガナ 漢 字 （姓） （名）			
② 性別 男 女 ① 2		③ 生年月日 年（西暦） 月 日 1 9 6 0 0 3 0 1		④ プログラム（所属を希望するプログラムを1つだけ○で囲むこと）			
⑥ 外国籍の方は下記の1を○で囲み、国名を記入 外国籍の方のみ 下記1を○で囲む 1				生活健康科学 F 人間発達科学 G 臨床心理学 H 社会経営科学 I 人文学 L 情報学 M 自然環境科学 K			
⑦ 障がいのある方で事前申請により合理的配慮を認められた方は右欄の1を○で囲む 1				⑤ 所属学習センター等（所属を希望する学習センター等のコード番号を1つだけ○で囲む）			
				北海道 旭川 青森 八戸 岩手 宮城 秋田 山形 福島 いわき 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 01A 01S 02A 02S 03A 04A 05A 06A 07A 07S 08A 09A 10A 11A 12A 東京渋谷東京文京東京足立東京多摩神奈川 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 静岡 浜松 愛知 13E 13B 13C 13D 14A 15A 16A 17A 18A 19A 20A 21A 22A 22S 23A 三重 滋賀 京都 大阪 兵庫 姫路 奈良 和歌山 鳥取 島根 岡山 広島 福山 山口 徳島 24A 25A 26A 27A 28A 28S 29A 30A 31A 32A 33A 34A 34S 35A 36A			
⑧ 郵便番号 2 6 1 — 8 5 8 6		都道府県 千 葉 県		⑨ 電話番号は試験当日確実に連絡が取れる携帯またはご自宅の電話番号を記入してください。			
現 住 都 市 区 町 村 千 葉 市 美 浜 区		町・丁目・番地 若 葉 2 — 1 1		(2) 緊急連絡先はご家族・実家などご本人以外の電話番号を記入してください。			
団 地 ・ 棟 ・ 号 若 葉 マ ン シ ョ ン		方 等					
連 絡 先 本人電話番号 (0 4 3) - (2 7 6) - (5 1 1)		氏名 (修 士 花 子) 電話番号 (0 4 3 - 2 9 8 - 4 1 1 1) 続 柄 コード 3		◆続柄コード一覧			
本人メールアドレス ○○○@ouj.ac.jp				コード 続柄 コード 続柄 1 親 4 子 2 兄弟姉妹 5 その他親族 3 配偶者 6 親族以外			
修士全科生出願資格確認欄 出願資格をA～Iから1つ選び○で囲み、次に「1」または「2」を○で囲むこと。 ※出願資格（1）でAを選んだ方は必ず、学生番号を記入してください。							
○出願資格（1）に該当する方		⑩		⑬ 放送大学教養学部全科学修生に出願したことがある方は、「1」を○で囲み、教養学部の学生番号がわかるときは番号を記入		合格・出願したことがある方のみ○で囲む	
A 放送大学 教養学部 全科学修生		卒業 卒業見込 ① 2		教養学部の学生番号		8 5 1 — 1 2 3 4 5 6 — 7	
B 他 大 学		卒業 卒業見込 1 2					
○出願資格（2）（3）（4）に該当する方		⑩		⑭ 放送大学修士課程修士全科学修生に合格したことがある方または修士選科生・修士科目生に出願したことがある方は、「1」を○で囲み、修士課程の学生番号がわかるときは番号を記入		合格・出願したことがある方のみ○で囲む	
C 大学改革支援・学位授与機構による学位授与		学位授与 授与見込 1 2		修士課程の学生番号		0 2 2 — 8 1 2 3 4 5 — 6	
D 外国における学校教育16年修了		修了 修了見込 1 2				学生番号を忘れた方で在籍当時から氏名が変わった方は当時の氏名をご記入ください。	
○出願資格（5）に該当する方		⑩		G 外国の大学の日本校		修了 修了見込 1 2	
○出願資格（6）に該当する方		⑩		I 外国の大学等の修業年限3年以上の課程修了による学位授与		学位授与 授与見込 1 2	
○出願資格（7）に該当する方		⑩		H 専修学校専門課程		修了 修了見込 1 2	
○出願資格（8）に該当する方		⑩		E 文部科学大臣の指定		卒業・修了・免許取得済 卒業・修了・免許取得見込 1 2	
○出願資格（9）（10）（11）（12）（13）（14）に該当する方		⑫		F 出願資格事前審査認定者		出願資格認定番号を記入	

〔記入上の注意事項〕

顔写真

3 ヶ月以内の撮影で、前向き、上半身、無帽、縦30mm×横24mmの大きさのもの（インターネット出願の場合、JPEG、PNG、またはBMP形式のもの）を用意し、裏面に電話番号・氏名を記入のうえ貼付してください。

こちらの顔写真は、入学者選考中の本人確認に使用するほか、入学後、本学の教務情報システム（システムWAKABA）「学生カルテ」や、学生証の写真に使用します。

氏名【①欄】

(1) カタカナ記入欄に、氏名をカタカナで記入してください。その際、姓と名の間は1マスあけ、濁点等の記入にあたっては1マスを使用してください。

氏名を漢字以外で表記している外国人の方は、ミドルネームを省略し、ファーストネームを先に、ラストネームを後にして、カタカナで記入してください。

(2) 漢字等記入欄に、氏名を漢字等で記入してください。その際、姓と名の間は1マスあけてください。

- ・漢字は楷書で丁寧に記入してください。使用できる文字はJIS水準（JIS2004）1～2程度の文字までとなります。特殊な文字はJIS水準（JIS2004）1～2程度の文字に置きかえるか、カタカナ等で記載してください。
- ・外国籍を有する方は在留カード、旅券等に記載されている氏名を記入してください。

生年月日【③欄】

西暦で記入してください。

所属学習センター等【⑤欄】

所属を希望する学習センター等のコード番号を1つだけ○で囲んでください。所属学習センター等欄に記入がない場合、現住所に記載された都道府県内の学習センター所属とさせていただきます（現住所が東京都で未記入の方は東京文京学習センター所属とさせていただきます）。

※ 原則として所属を希望する学習センターが第1次選考（筆記試験）の試験会場となります。ただし、東京渋谷学習センターの所属を希望する方は、試験会場等の都合上、東京文京学習センターでの受験となりますのでご注意ください。

また、サテライトスペースの所属を希望する方は、当該道県内の学習センターでの受験となります。

(注1) 学習センターのランチ的な機能を有する施設としてサテライトスペースを設置しています。サテライトスペースを所属希望とされた方は、学費振り込み確認後に送付する入学許可書の所属センター欄に、「北海道学習センター（旭川）」、「青森学習センター（八戸）」、「福島学習センター（いわき）」、「静岡学習センター（浜松）」、「兵庫学習センター（姫路）」、「広島学習センター（福山）」、「福岡学習センター（北九州）」と表示されます。

(注2) 所属を希望する学習センターと筆記試験の受験を希望する学習センターが異なる場合、出願時には受験を希望する学習センターを選択し、合格後に所属学習センター変更の手続きを行ってください。

外国籍【⑥欄】

外国籍の方のみ「1」を○で囲み、「国名」欄に国名を記入してください。

日本国籍の方は、記入は不要です。

⑥ 外国籍の方は下記の1を○で囲み、国名を記入	
外国籍の方のみ 下記1を○で囲む	国 名
①	カ ナ ダ

障がいのあることによる受験上の合理的配慮【⑦欄】

障がいのある方で、第1次選考（筆記試験）または第2次選考（面接試験）において合理的配慮を希望される方は、「合理的配慮申込届」をあらかじめ提出していただきます。詳細はp.7「2. 障がいのある方で特別な支援を希望される方」を参照ください。同申込届の提出により合理的配慮が認められた方は「1」を○で囲んでください。

障がいのある方であっても合理的配慮を希望されない方については、記入は不要です。

※ p.7記載の提出期間内に合理的配慮申請書類の提出がなされなかった方が○を囲まれた場合、無効となりますのでご注意ください。

現住所等【⑧欄】

書き方見本を参考にして、「郡市区町村」と「町・丁目・番地、団地・棟・号、方等」は、欄を分けて記入してください。また、町、丁目、番地等ごとにハイフン（-）でつなげて記入してください。アパート・マンション等にお住まいの方は、建物名も記入してください。

連絡先について、本人電話番号は確実に連絡が取れる携帯またはご自宅の電話番号を記入してください。また、緊急連絡先はご家族・実家など、ご本人以外の電話番号を記入してください。

なお、記入する本人メールアドレスについては、本学ドメイン「ouj.ac.jp（後方一致）」からのメールを受信できるように、あらかじめ設定をお願いします。

修士全科生の出願資格確認【⑨～⑫欄】

出願資格（p.12～13「1. 出願資格」参照）を確認の上、出願資格確認欄の該当番号を○で囲んでください。

出願資格(9)～(14)に該当する方は⑫欄に出願資格認定通知書に記載の出願資格認定番号を必ず記入してください。

放送大学教養学部全履修生に出願したことがある方【⑬欄】

本学教養学部に出願したことがある方は、「1」を○で囲み、教養学部の学生番号がわかる場合は番号を記入してください。出願したが入学しなかった等の理由により、学生番号が不明であっても、該当者は必ず○で囲んでください。

(注) 出願資格(1)でAを選んだ方は、必ず学生番号を記入してください。学生番号が未記入の場合、個人の特定ができず、卒業や成績等の確認ができなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

放送大学修士課程の出願経歴【⑭欄】

本学修士課程修士全科生に合格したことがある方または修士選科生・修士科目生に在学されたことのある方は、「1」を○で囲み、学生番号がわかる場合は番号を記入してください。修士全科生に合格または修士選科生・修士科目生に出願したが入学しなかった等の理由により、学生番号が不明であっても、該当者は必ず○で囲んでください。学生番号を忘れた方で在籍当時から改姓された方は、「当時の氏名」欄に旧姓をご記入ください。

(注) 本学修士課程に在籍されたことがある方が学生番号を記入しなかった場合、過去に修得した単位が入学後に修士全科生の既修得単位として自動的に認定されなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

出願票書き方見本

修士全科生出願票
2026年度用

※大学事務局記入欄

出願票 ②

受験番号

氏 名

修士 太郎

15 職 業（該当するものを1つだけ○で囲む）

教 員	公務員・団体職員等	会社員等	自営業・自由業	農林水産業等従事者	看護師等	専業主婦（夫）	パートタイマー	アルバイト等	他大学・専門学校等に在籍する学生	定年等退職者	無職（G、K以外の方）	そ の 他
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M

勤め先・職種記入欄（差し支えが無ければご記入願います。）

○×商事

16 最終出身学校（該当するものを1つだけ○で囲む）

新 制 の 中 学 校 等	旧 制 の 青 年 学 校 等	旧 制 の 中 学 校 等	専 修 学 校 高 等 課 程 等	高 等 学 校 等	短 期 大 学 等	専 修 学 校 専 門 課 程 等	大 学	大 学 校	大 学 院
1	2	3	4	5	6	7	8	9	A

最終出身校・学部等記入欄（差し支えが無ければご記入願います。）

放送大学教養学部

職業【⑮欄】

下記の表を参照の上、該当するコードを選択し○で囲んでください。

(注) 統計資料等の作成のために使用するもので合否には影響しません。

コード	職 業	内 容
A	教 員	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学等において教職に従事する方
B	公 務 員・団 体 職 員 等	国家公務員および地方公務員（国立大学法人等の職員を含む）。ただし、教員の方は、Aの「教員」、看護師の方は、Fの「看護師等」としてください。
C	会 社 員 等	上記A、B以外の企業または団体等に勤務する方（派遣社員、契約社員を含む）
D	自 営 業・自 由 業	商店等を個人で営む方、文筆業、開業医師等
E	農 林 水 産 業 等 従 事 者	農業、林業、漁業等に従事する方
F	看 護 師 等	看護師、准看護師、保健師、助産師、他医療関係者
G	専 業 主 婦（ 夫 ）	専業主婦（夫）の方
H	パ ー ト タ イ マ ー	パートタイムで仕事をされている方
I	ア ル バ イ ト 等	アルバイト・フリーター等で仕事をされている方。ただし、他大学等の学生でアルバイトをしている方は、Jの「他大学・専門学校等に在籍する学生」としてください。
J	他大学・専門学校等に在籍する学生	他の大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等の学生である方
K	定 年 等 退 職 者	定年等により退職し、現在、職業をもたない方
L	無 職（G、K以外の方）	GおよびKの分類に該当しない職業をもたない方
M	そ の 他	上記のAからLまでの分類に該当しない方

最終出身学校【⑯欄】

下記の表を参照の上、該当する最終出身学校（卒業・修了見込みの方は在学中の学校、中途退学した学校を除く）のコードを○で囲んでください。

(注) 統計資料等の作成のために使用するもので合否には影響しません。

コード	最終出身学校の種類	主 な 学 校 の 種 類
1	新 制 の 中 学 校 等	小学校、中学校、特別支援学校（盲学校・ろう学校・養護学校）の小学部・中学部、国民学校の初等科・高等科、尋常小学校、通信講習所普通科
2	旧 制 青 年 学 校 等	青年学校本科、陸海軍工員養成所、実業補習学校
3	旧 制 の 中 学 校 等	旧制の中学校、高等女学校、実業学校、鉄道教習所（中等部・普通部）、通信講習所高等科、陸軍幼年学校、海軍甲種予科練
4	専 修 学 校 高 等 課 程 等	専修学校高等課程、准看護師養成所
5	高 等 学 校 等	高等学校、中等教育学校、特別支援学校（盲学校・ろう学校・養護学校）の高等部、師範学校本科第1学年修了、師範学校予科4年課程、大学入学資格検定合格、高等学校卒業程度認定試験合格
6	短 期 大 学 等	短期大学、工業・商船高等専門学校、旧制の高等学校高等科、大学予科、旧制の専門学校、高等師範学校、青年学校教員養成所、高等通信講習所本科（3年以上の科）、陸軍士官学校、海軍兵学校、旧国立工業教員養成所
7	専 修 学 校 専 門 課 程 等	看護専門学校等各種の専修学校専門課程、都道府県立農業講習所、看護師養成所、図書館職員養成所
8	大 学	大学（旧制大学を含む）、大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された方
9	大 学 校	気象大学校・海上保安大学校等各種の大学校
A	大 学 院	大学院

Ⅱ 「研究計画書」の記入方法について

「研究計画書」は、本要項巻末に綴じ込んである専用紙を用い、以下の点に注意して記入してください。
記入にあたっては、黒色または青色のボールペン、万年筆を使用してください（鉛筆は不可）。ワープロ、パソコン等で作成する場合には、文字サイズを9ポイント以上としてください。

1 研究題目

入学後、どのような主題を研究したいと考えているのか**具体的に**記入してください。（40字以内）

例えば、「通信制大学院について」といった大まかな表現ではなく、「通信制大学院における指導方法の提案—メディア利用の有効性と課題—」など、具体的に何を研究しようとしているのかが分かるように記入してください。

2 研究計画

研究の目的や進め方等を**具体的に**記入してください。（1,000字程度）

研究計画の立て方・内容に関する相談は受け付けておりませんので、ご了承ください。

なお、研究計画書にできるだけ盛り込んでいただきたい内容を本学ウェブサイトで公開しています。詳しくは下記をご確認ください。

<https://www.ouj.ac.jp/gakuin/about/creat-plan/>

▼研究計画の作成



別紙に書いたもの、ワープロ、パソコン等で出力したものを貼ることは可としますが、**必ず枠内に収め、はがれないようしっかりとのり付けしてください。**

「折り曲げて貼る」、「2枚以上重ねて貼る」、「裏面に貼る」、「別紙を添付する」、「作成物を送付する」等の場合は出願書類として受理しません。

3 希望する研究指導担当教員

同封の「大学院案内」を参照し、所属を希望するプログラムの修士課程担当本学専任教員から、希望する研究指導担当教員1名を記入してください。ただし、希望する研究指導担当教員が決められない場合は「なし」と記入することも可とします。研究指導担当教員は、出願時の研究計画書および入学者選考の結果等を総合的に勘案して、本学が最適と判断した教員に決定しますので、必ずしも希望どおりになるとは限りません。指導教員は、入学後の「入学時オリエンテーション」で各プログラムから発表されます。なお、研究テーマによっては、本学が決定した客員教員が研究指導を行うこともあります。

専任教員の研究分野や指導可能なテーマ等の詳細は、下記ウェブサイトで確認いただけます。プログラムの選択や研究計画を検討する際に参考にしてください。

○専門領域や指導方法、入学者へ求めること等（本学ウェブサイト）

<https://www.ouj.ac.jp/gakuin/about/creat-plan/guidelines/>

※希望するプログラム名をクリックしてください。

○研究分野や所属学会等の詳細（researchmap研究者情報）

<https://researchmap.jp/researchers>

▼専門領域や指導方法、
入学者へ求めること等



▼研究分野や所属
学会等の詳細



4 授業科目（※臨床心理学プログラム出願者は記入不要）

「2 研究計画」に記入した研究を進める上で関連が深いと思われる授業科目を、出願するプログラムの授業科目から、関連の深い順に3科目記入してください。既に修士選科生、修士科目生として履修、単位修得している科目を記入することも可能です。記入にあたっては同封の「授業科目概要」や、本学ウェブサイトの修士課程授業科目案内ページ（<https://www.ouj.ac.jp/kamoku/daigakuin/B/>）を参照してください。

5 卒業研究等

卒業した大学等において卒業研究（論文・作品等）を作成した方、または修了した大学院において修士論文等を作成した方は、その題目と概要を記入してください。（500字程度）

複数作成している場合は、いずれか1つ（任意）を記入してください。

なお、卒業・修了見込みの方で現在作成中の場合は、題目の末尾に（作成中）と記入し、その概要を記入してください。作成していない場合には、題目欄に「なし」と記入してください。未記入の場合は「なし」として取扱います。

別紙に書いたものやワープロ、パソコン等で出力したものを貼ることは可としますが、**必ず枠内に収め、はがれないようしっかりとのり付けしてください。**

「折り曲げて貼る」、「2枚以上重ねて貼る」、「裏面に貼る」、「別紙を添付する」、「作成物を送付する」等の場合は出願書類として受理しません。

Ⅲ 「志望理由書」の記入方法について

「志望理由書」は、本要項巻末に綴じ込んである専用用紙を用い、以下の点に注意して記入してください。

記入にあたっては、黒色または青色のボールペン、万年筆を使用してください（鉛筆は不可）。ワープロ、パソコン等で作成する場合には、文字サイズを9ポイント以上としてください。

1 所属を希望するプログラム

所属を希望するプログラムの記号1つに○を付けてください。

2 研究題目を決めた理由と、1で選んだプログラムを希望する理由

研究題目（研究計画書に記載したもの）を決めた理由と、「1」で選んだプログラムを希望する理由を**具体的に**記入してください。（700字程度）

例えば、「現在の職務との関連、あるいは社会生活の中で、研究題目に関わる問題を深く考えるに至った経緯、選択したプログラムが研究題目を研究するためにふさわしいと考えた理由」などを具体的に記入してください。

別紙に書いたもの、ワープロ、パソコン等で出力したものを貼ることは可としますが、**必ず枠内に収め、はがれないようしっかりとのり付けしてください。**

「折り曲げて貼る」、「2枚以上重ねて貼る」、「裏面に貼る」、「別紙を添付する」、「作成物を送付する」等の場合は出願書類として受理しません。

1. 入学手続・科目登録申請

最終合格された方に「合格通知書」と入学手続・科目登録申請手続に関する書類を送付します。(科目登録申請期間は、2026年2月中旬～下旬の予定です。)

＝注意事項＝

- (1) 出願資格のうち、「卒業（修了）見込み」で出願された方は、卒業（修了）または学位授与が確定した時点で、卒業（修了）証明書または学位授与証明書の原本を提出してください。本学教養学部卒業見込みの方は本学で確認しますので、提出は不要です。

なお、2026年3月31日(火) (必着) までに原本の提出がない場合には、入学を許可できません。(卒業（修了）見込みで出願された方が、同年3月31日までに卒業（修了）できなかった場合も入学は許可できません。)

- (2) 2026年4月から修士全科生として入学する場合、2026年度第1学期から修士選科生・修士科目生として本学に在籍することはできません。特に2025年度第2学期に修士選科生へ入学された場合や、それ以前に入学し、休学した場合など**2026年度第1学期に在学期間が残っている場合は、退学の手続きが必要となります。**
- (3) 入学手続・科目登録申請期間内に当該手続が行われなかった場合は、入学辞退として取り扱います。
- (4) 入学を辞退される場合は、必ず「入学辞退届」(氏名、受験番号、辞退事由を明記し本人署名、捺印したもの、A4判、様式任意)を2026年3月31日(火) (必着) までに、簡易書留郵便または一般書留郵便により教務課大学院企画・入試係へ提出してください。お電話での入学辞退の連絡は承っておりません。
- (5) 外国籍の方は、入学手続までに大学院入学に支障のない在留資格を取得してください。
- (6) **「研究演習」は修士全科生の必修科目であり、1年次の第1学期から行いますので、必ず科目登録を行ってください。**

提出先 〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11
放送大学学務部教務課大学院企画・入試係

2. 学費（入学料・授業料・研究指導料）の納入

科目登録終了後、3月上旬に科目登録決定通知書と併せて学費の振込依頼書（払込取扱票）を送付しますので、2026年3月31日(火)までに一括して払い込んでください。**なお、研究指導に係る費用※は入学時2年間分をまとめて納入いただく必要がございます。**学費の入金確認後20日程度で入学許可書、印刷教材等を送付しますので、払込期間内に早めに払い込んでください。納入方法の詳細は、振込依頼書および本学のウェブサイトに記載されていますので、学費の払込前に必ずご確認ください。

※学費払込指定口座（銀行）は「みずほ銀行」のみとなります。なお、学費の納入金額に応じて、別途、払込手数料が必要となりますので、ご了承ください。

また、ATM・インターネットバンキング（PayB・モバイルレジを除く）からの払い込みは、払込人が特定されないおそれがあるため、受け付けておりません。

コンビニエンスストアでの払い込み額は、30万円までに制限されています。

金額が30万円を超える場合は、振込依頼書（払込取扱票）にバーコードが印刷されないため金融機関等の窓口をご利用ください。(学費の納入方法についてはp.42にも説明がありますので、併せて参照してください。)

学費の種類	入学料	授業料	研究指導料
金 額	48,000円	12,000円／単位	48,000円／年

※入学時に納入いただく研究指導に係る費用（192,000円）の内訳は、以下の通りです。

- ・「研究演習」の授業料（2年間分） 96,000円（12,000円／単位×8単位）
- ・「研究指導料」（2年間分） 96,000円（48,000円／年 ×2年間）

＝注意事項＝

- (1) 入金確認には7日程度かかります。
入金が確認されるまで入学許可書・印刷教材等は送付されませんので、振込期間内にお早めにお振り込みください。
- (2) いったん納入された学費は、学期開始前に入学辞退の申し出があった場合の授業料および研究指導料を除き、一切返還しません。
- (3) **学費の振込依頼書に記載された支払期限までに本学に入金がなかった場合または同依頼書に記載された学費の額に満たない金額が払い込まれた場合は、決定された科目登録は全て無効となり、入学についても許可できませんので、ご注意ください。**
- (4) 在学中に授業料・研究指導料が改定された場合には、改定時から新授業料・研究指導料が適用されます。
- (5) 2学年にわたる研究指導を受けても修士論文等が提出されなかったり、審査および口頭試問に不合格となった場合には、「研究演習」を再履修し、引き続き研究指導を受ける必要があります。この場合、修士論文等の審査および口頭試問に合格するまでの間、毎年1年間分の研究指導にかかる費用の支払いが必要となります。
- (6) 「臨床心理学プログラム」の方は、p.28の金額に加え、入学後に臨床心理実習費（20,000円）を徴収します。
- (7) 大学院修士課程入学時オリエンテーション、研究指導、実習・演習、修士論文等口頭試問等を受けるための交通費等の経費は本人の負担となります。（交通機関によっては、学割の利用も可能です。）

3. 既修得単位の認定

修士全本科生入学前に、他の大学院（外国の大学院を含む）において既に修得した単位がある場合は、本学で審査の上、教育上有益と認められるときは、10単位を上限として修了の要件となる単位（所属プログラム以外の授業科目単位）として認定します。（臨床心理学プログラムを除く）

申請手続き等詳細は、最終合格された方に対して合格通知時にお知らせします。

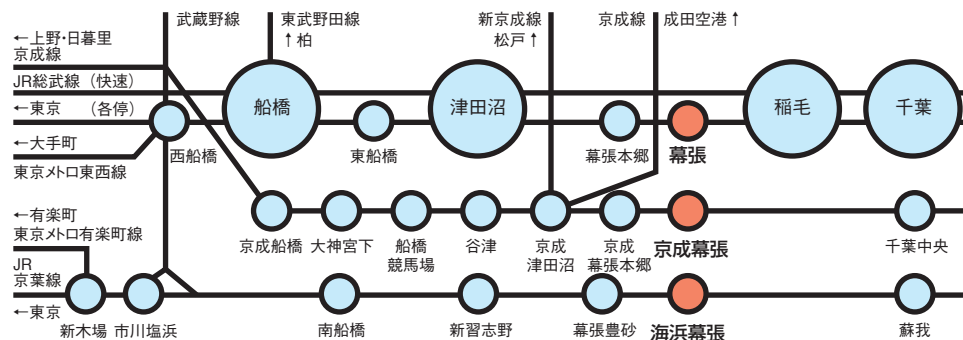
また、修士全本科生として入学された方が、本学修士課程において既に修得した単位があるときは、自動的に修了要件の範囲内で修了の要件となる単位（研究演習・研究指導および面接授業を除く）として原則認定されます。ただし、**当該在籍時の学生番号が引き継がれないと、この認定が行われません**ので、出願票またはインターネット出願画面において修士課程の学生番号を正確に記入するようにしてください。（p.23参照）

※既修得単位の認定申請は入学時のみの受付です。入学後は申請できませんのでご注意ください。

4. 入学時期

入学日は2026年4月1日(水)となります。

<路線図>



<周辺マップ>



JR総武線幕張駅／京成電鉄千葉線京成幕張駅南口 下車
海岸方面へ1km（徒歩15分）
JR京葉線海浜幕張駅北口 下車
北方向へ1km（徒歩15分）

首都高速→京葉道路→幕張 I.C→幕張 5 丁目信号右折 400m
高速道路→東関東自動車道→湾岸習志野 I.C→1 km (2 つめ信号左折)

※放送大学本部構内には限られた駐車スペースしかありませんので、公共交通機関のご利用にご協力ください。障がいのある方、試験場における専用駐車場の用意が必要な方は、「合理的配慮申込届」を申請期間内にご提出ください。(p.7参照)

〒261-8586
千葉県千葉市美浜区若葉 2 丁目11番地
電話 **043-276-5111** (総合受付)
放送大学ウェブサイト www.ouj.ac.jp

月曜及び学習センターが定める曜日、祝日、年末年始及び臨時閉所時は利用できません。

2. 学習センター・サテライトスペース

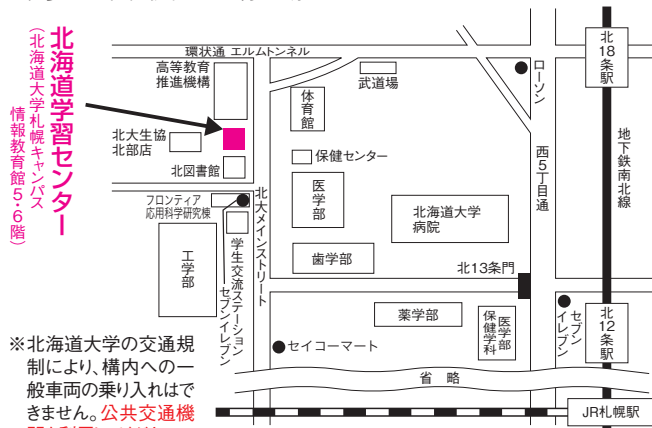
※最新のアクセス情報は必ずご自身でお調べください。

北海道学習センター

☎011-736-6318
FAX 011-736-6319

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目(北海道大学構内)

- 地下鉄利用：地下鉄南北線「北18条駅」から徒歩で約10分
- 徒歩：JR札幌駅北口から約20分



※北海道大学の交通規制により、構内への一般車両の乗り入れはできません。公共交通機関を利用してください。

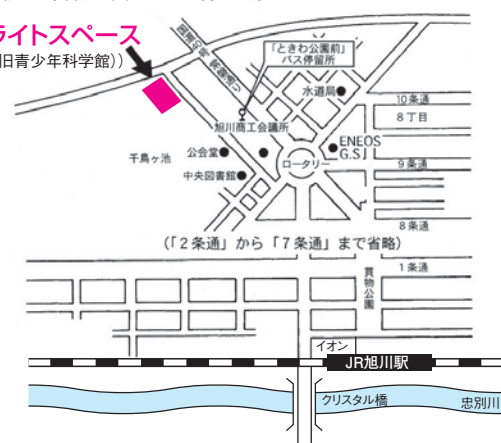
旭川サテライトスペース

☎0166-22-2627
FAX 0166-22-2676

〒070-0044 旭川市常盤公園(旭川市常盤館内)

- バス利用：JR旭川駅前から旭橋経由のバスで「ときわ公園前」下車徒歩3分
- 徒歩：JR旭川駅から買物公園を通過して約25分

旭川サテライトスペース (旭川市常盤館(旧青少年科学館))



青森学習センター

☎0172-38-0500
FAX 0172-38-1299

〒036-8003 弘前市駅前町9-20 ヒロ口4階

- 徒歩：JR弘前駅(中央口)から約5分

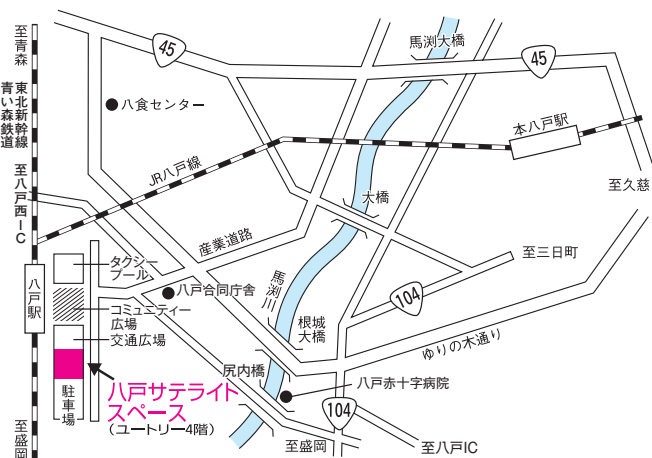


八戸サテライトスペース

☎0178-70-1663
FAX 0178-70-1667

〒039-1102 八戸市一番町1-9-22(ユートリー4階)

- JR八戸駅から徒歩1分
- 八戸自動車道八戸IC・八戸西スマートICから車で約7分

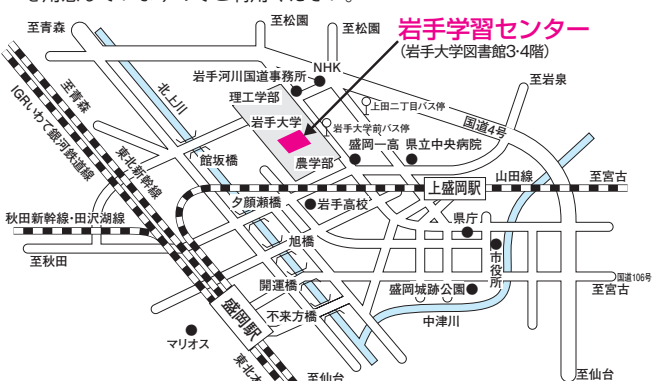


岩手学習センター

☎019-653-7414
FAX 019-653-7410

〒020-8550 盛岡市上田3-18-8(岩手大学構内)

- JR盛岡駅から徒歩25分
- JR上盛岡駅から徒歩15分
- JR盛岡駅東口バスターミナル①番乗り場から岩手県交通バス「駅上田線」「松園バスターミナル行」に乗りし、「岩手大学前」バス停で下車。岩手大学正門から徒歩2分
- JR盛岡駅への帰りのバス停は、別の通りにあります。学習センターで地図を用意していますのでご利用ください。

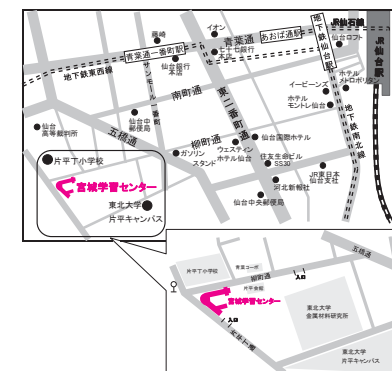


宮城学習センター

☎022-224-0651
FAX 022-224-0585

〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1(東北大学片平キャンパス内)

- JR仙台駅(西口)から
- 徒歩：JR仙台駅前(イービーズ前)を南へ約1分、「ホテルモントレ仙台」角を右折し、柳町通を西へ約15分
- 地下鉄：東西線「青葉通一番町」駅(南1番出口)から徒歩約10分
- バス：JR仙台駅西口バスプール11番のりばから仙台市営バス「緑ヶ丘三丁目」行、「八木山動物公園」行、12番のりばから宮城交通バス「長町駅東口」行(いずれも霊屋橋・動物公園経由)のいずれかに乗りし、「片平丁小学校前」で下車、徒歩2分
- タクシー：約5分



秋田学習センター

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 (秋田大学手形キャンパス内)

☎ 018-831-1997
FAX 018-837-4885

- JR秋田駅から徒歩25分
- JR秋田駅西口秋田中央交通バス乗り場⑫番 手形山経由大学病院線 (大学病院行)「鉱業博物館入口」下車徒歩3分
- 秋田大学北門から徒歩1分

秋田学習センター (秋田大学手形キャンパス研究・イノベーション拠点2号館4階)

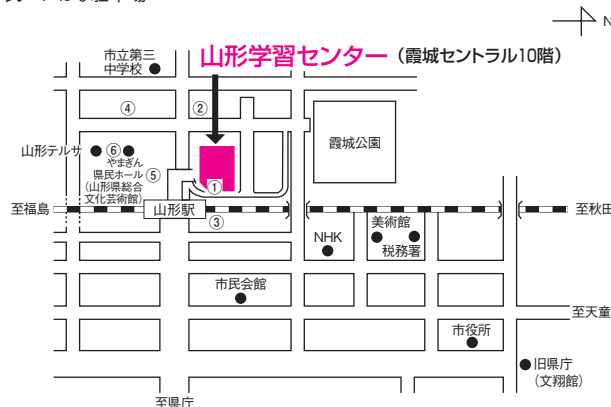


山形学習センター

〒990-8580 山形市城南町1-1-1 (霞城セントラル10階)

☎ 023-646-8836
FAX 023-646-8838

- JR山形駅から東西自由通路アピカで徒歩5分
- 主な駐車場(有料)①霞城セントラルパーキング ②山形駅西口駐車場 ③山形駅東口交通センター駐車場 ④24h山形駅西口駐車場 ⑤山形駅ビル駐車場 ⑥県民べにばな駐車場



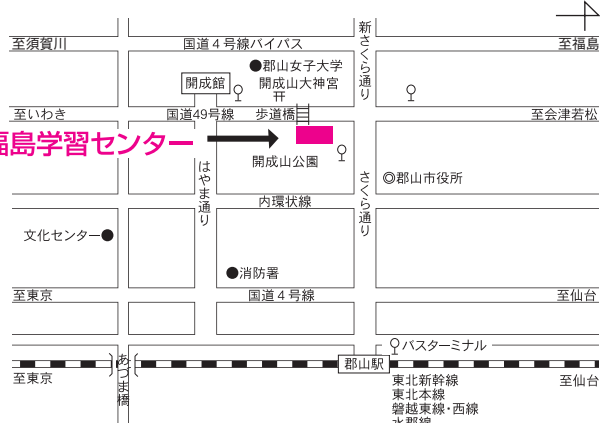
福島学習センター

〒963-8025 郡山市桑野1-22-21

☎ 024-921-7471
FAX 024-921-7814

- バス:郡山駅から福島交通バスで20分
- ①市役所経由で郡山女子大学下車 徒歩3分 (9番ボール新池下田地行、大槻行、希望ヶ丘行等)
- ②麓山経由で開成館前下車 徒歩5分 (11番ボール大槻行、休石行等)

福島学習センター



いわきサテライトスペース

〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3(いわき市社会福祉センター4階)

☎ 0246-22-7318
FAX 0246-22-7320

- JRいわき駅から徒歩13分(約1 km)



茨城学習センター

〒310-0056 水戸市文京2-1-1 (茨城大学構内)

☎ 029-228-0683
FAX 029-228-0685

- 水戸駅北口からバス約30分
- バスターミナル⑦番乗り場から茨大前行「茨大前」下車徒歩5分
- 水戸ICから車約20分 ■那珂ICから車約20分
- 水戸北スマートIC(※ETC専用)から車約10分

茨城学習センター
(茨城大学水戸キャンパス
環境リサーチラボ2・3階)



栃木学習センター

〒321-0943 宇都宮市峰町350 (宇都宮大学峰キャンパス内)

☎ 028-632-0572
FAX 028-632-0570

- JR宇都宮駅
- 徒歩(東口)約30分(約2.2km)
- バス : 西口⑭番乗り場から約15分「宇都宮大学前」下車徒歩2分
- : 東口③番乗り場から宇大循環線(左回り) 約10分「宇都宮大学前」下車徒歩2分(※1時間に1本以下の運行)
- LRT(路面電車)宇都宮駅東口乗場から約5分「峰停留場」下車徒歩10分

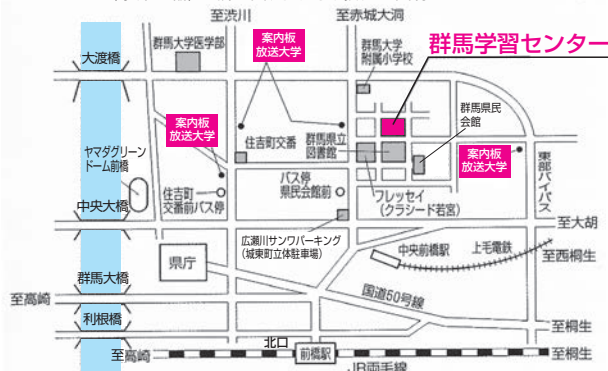


群馬学習センター

☎ 027-230-1085
FAX 027-230-1094

〒371-0032 前橋市若宮町1-13-2

- JR前橋駅北口から徒歩30分
- 上毛電鉄中央前橋駅から徒歩15分
- JR前橋駅北口からバスを利用
- 県民会館前下車徒歩5分(バス乗車時間8分)
- ③番乗り場(日本中央バス)―群馬総社駅行
- ⑥番乗り場(関越交通バス)―富士見温泉行
(日本中央バス)―富士見温泉、富士見公民館行
(永井運輸)―嶺公園、小坂子、荻窪公園行



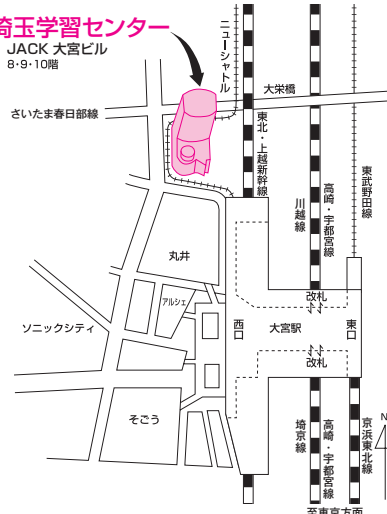
埼玉学習センター

☎ 048-650-2611
FAX 048-650-2615

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2(JACK大宮ビル)

- 大宮駅西口から徒歩5分

埼玉学習センター
JACK大宮ビル
8・9・10階

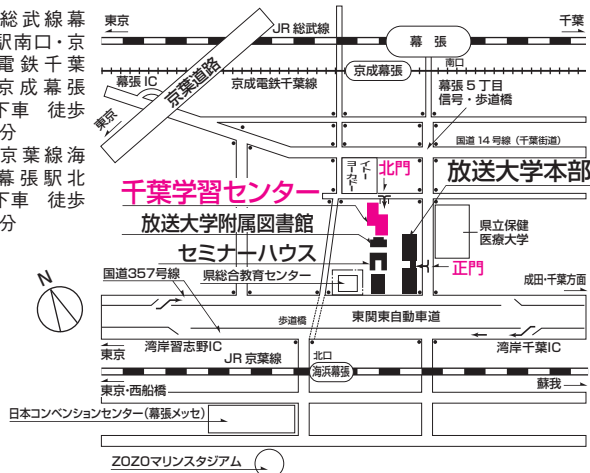


千葉学習センター

☎ 043-298-4367
FAX 043-298-4386

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11(放送大学本部敷地内)

- JR総武線幕張駅南口・京成電鉄千葉線京成幕張駅下車 徒歩15分
- JR千葉線海浜幕張駅北口下車 徒歩15分



東京渋谷学習センター

☎ 03-5428-3011
FAX 03-5428-3015

〒150-0043 渋谷区道玄坂1-10-7(五島育英会ビル1階)

- JR渋谷駅西口または新南口から徒歩5分(国道246号線沿い)
- 利用可能路線: JR(山手線/埼京線/湘南新宿ライン)/東京メトロ(半蔵門線/副都心線/銀座線)/東急(東横線/田園都市線)・京王井の頭線



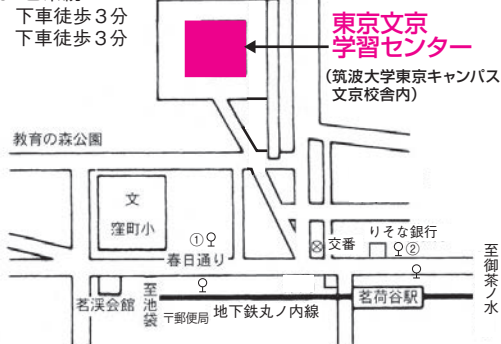
東京文京学習センター

☎ 03-5395-8688
FAX 03-5395-8681

〒112-0012 文京区大塚3-29-1

- 地下鉄東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅下車(出口1)徒歩3分
- 都営バス 都02系統

- ①窪町小学校 下車徒歩3分
- ②茗荷谷駅前 下車徒歩3分



東京足立学習センター

☎ 03-5244-2760
FAX 03-5244-2762

〒120-0034 足立区千住5-13-5(学びピア21(6階))

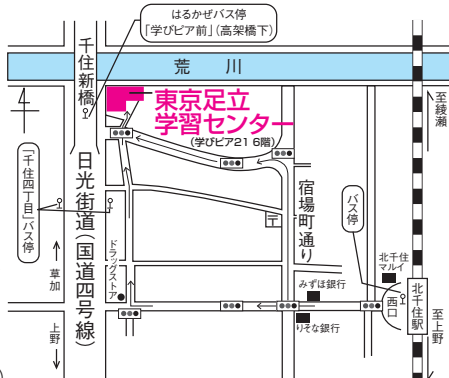
- 《電車》北千住駅西口から徒歩15分
- 利用可能路線: JR常磐線・東京メトロ(日比谷線、千代田線)、東武スカイツリーライン、つくばエクスプレス

- 《バス》

- 都バス『千住四丁目』下車5分(北47系統)(北千住駅⇄足立清掃工場前)

- 東武バス『千住四丁目』下車5分(北11系統)(北千住駅⇄花畑車庫)

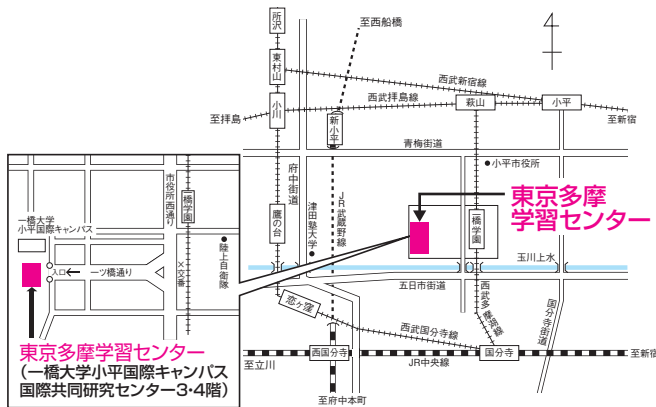
- 足立コミュニティバスはるかぜ『学びピア前』下車1分(5号:北千住駅西側地域循環)(8号:小台・宮城循環)(11号:堀之内・椿循環)



東京多摩学習センター

〒187-0045 小平市学園西町1-29-1(一橋大学小平国際キャンパス内)

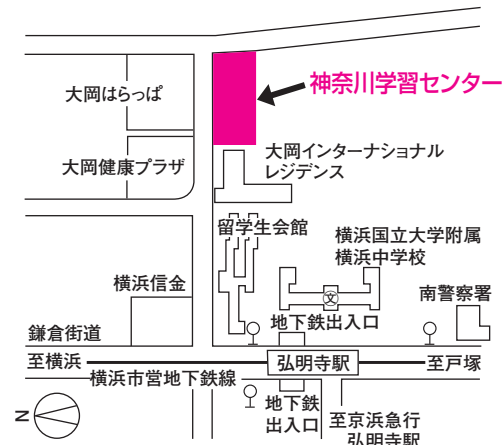
■西武多摩湖線「一橋学園駅」下車 南口から徒歩約7分



神奈川学習センター

〒232-8510 横浜市内南区大岡2-31-1

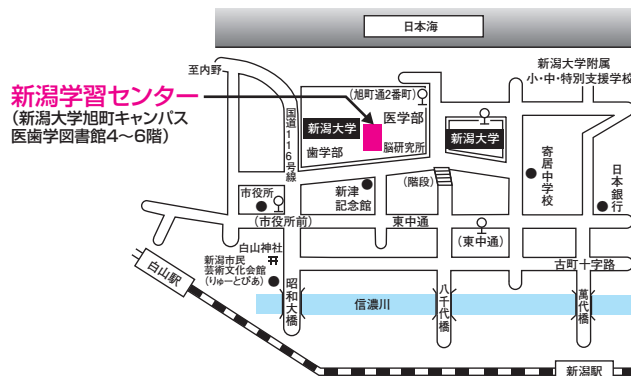
■市営地下鉄弘明寺駅下車徒歩5分
■京浜急行弘明寺駅下車徒歩12分



新潟学習センター

〒951-8122 新潟市中央区旭町通1番町754(新潟大学旭町地区内)

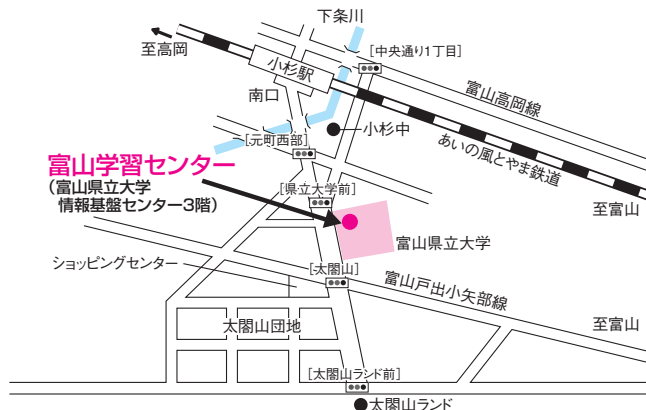
■新潟駅万代口バスターミナル9番乗り場から「浜浦町線」に乗車(約15分)「旭町通2番町」で下車徒歩約5分、往路のみ
■新潟駅万代口バスターミナル7番乗り場「西小針線」または8番乗り場「信濃町線」に乗車(約15分)「市役所前」下車 徒歩約10分



富山学習センター

〒939-0311 射水市黒河5180(富山県立大学 情報基盤センター3階)

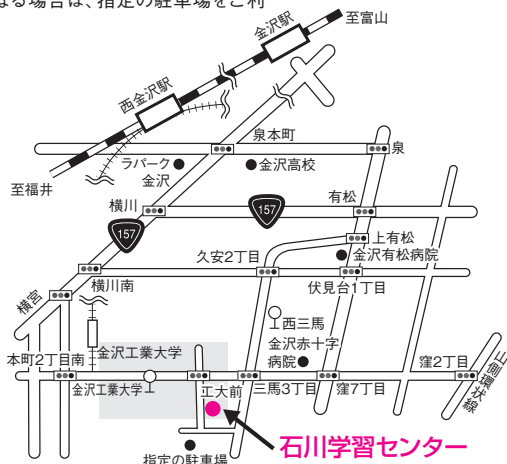
■あいの風とやま鉄道小杉駅下車
徒歩：南口から約20分(約1.5km)
タクシー：あいの風とやま鉄道小杉駅北口から約10分



石川学習センター

〒921-8812 野々市市扇が丘7-1

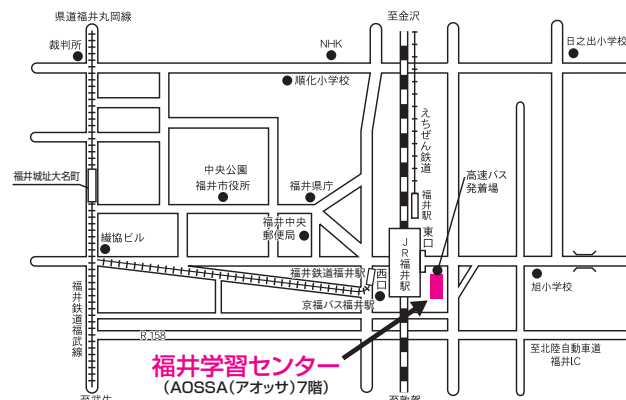
■金沢駅東口バスターミナルより、金沢工業大学行乗車(約35分)、金沢工業大学下車
■車でお越しになる場合は、指定の駐車場をご利用ください。



福井学習センター

〒910-0858 福井市手寄1丁目4-1(AOSSA7階)

■JR福井駅東口から徒歩約1分 ■えちぜん鉄道福井駅から徒歩約1分
■福井鉄道福井駅から徒歩約3分 ■京福バス福井駅から徒歩約3分
●主な駐車場(有料)・AOSSA地下駐車場・福井駅東口パーキング

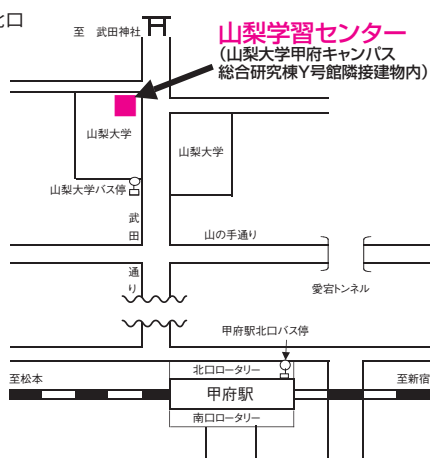


山梨学習センター

〒400-0016 甲府市武田4-4-37(山梨大学甲府キャンパス内)

☎ 055-251-2238
FAX 055-251-2193

- JR中央本線「甲府駅」北口から徒歩20分
- 甲府駅北口2番バス停から武田神社または積翠寺行バスで「山梨大学」下車(所要時間5分)

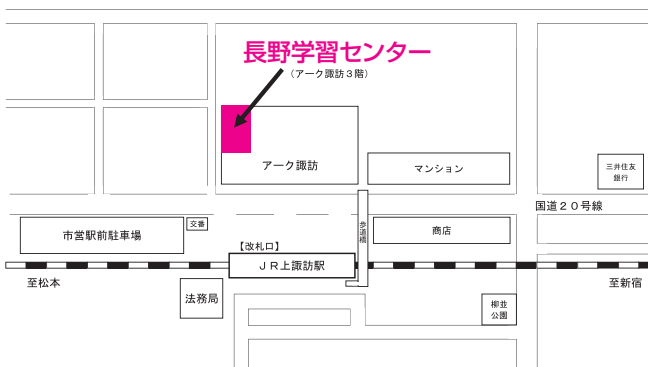


長野学習センター

〒392-0004 諏訪市諏訪1-6-1(アーク諏訪3階)

☎ 0266-58-2332
FAX 0266-57-1135

- JR中央本(東)線上諏訪駅下車徒歩3分

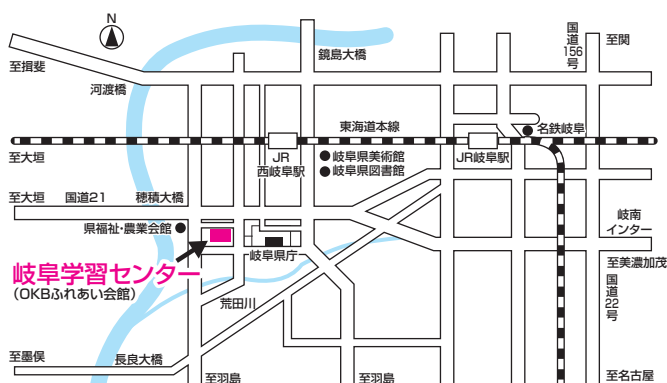


岐阜学習センター

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53(OKBふれあい会館第2棟2階)

☎ 058-273-9614
FAX 058-273-9526

- JR岐阜駅北口バスターミナルから岐阜バス・加納島線「OKBふれあい会館行」に乗り、終点下車
- JR西岐阜駅南口から岐阜バス・笠松県庁線「笠松駅行」に乗り、「OKBふれあい会館」下車

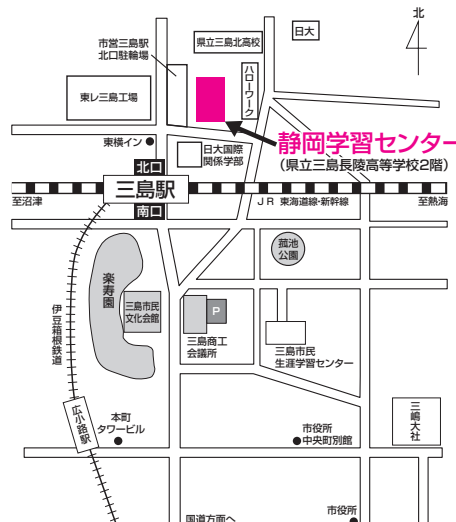


静岡学習センター

〒411-0033 三島市文教町1-3-93(静岡県立三島長陵高等学校2階)

☎ 055-989-1253
FAX 055-989-1255

- JR三島駅北口から約200m 徒歩3分

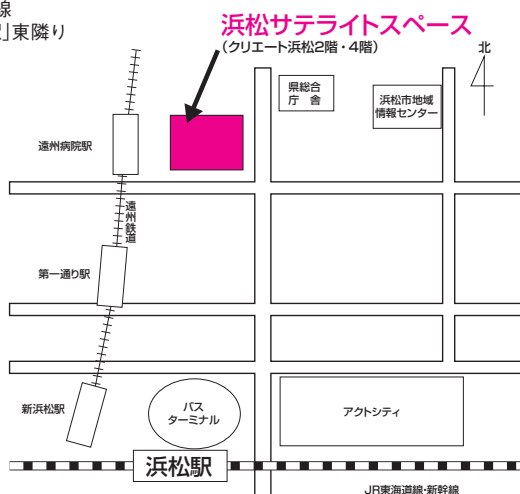


浜松サテライトスペース

〒430-0916 浜松市中央区早馬町2-1(クリエート浜松2階・4階)

☎ 053-453-3303
FAX 053-453-3327

- JR浜松駅北口から徒歩10分
- 遠鉄西鹿島線「遠州病院駅」東隣り



愛知学習センター

〒451-0051 名古屋市中区則武新町3-1-17(BIZrium名古屋5階)

☎ 052-589-8333
FAX 052-583-8611

- 地下鉄東山線「亀島駅」下車、②番出口徒歩6分
- 名古屋駅L4出入口徒歩6分



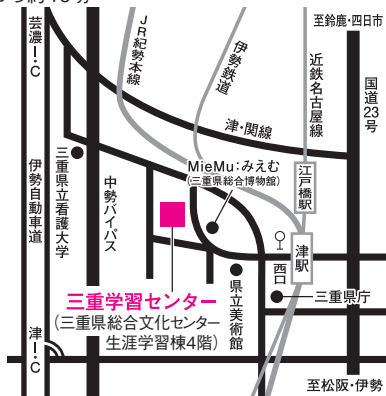
三重学習センター

〒514-0061 津市一身田上津部田1234(三重県総合文化センター内)

☎ 059-233-1170

FAX 059-233-1179

- 鉄道：近鉄名古屋線津駅下車 JR紀勢本線津駅下車 伊勢鉄道津駅下車
- バス：三重交通バス「津駅西口」で「総合文化センター」または「夢が丘団地」行きに乗車、「総合文化センター前」下車(所要時間約5分)
- 徒歩：津駅西口から約25分
- 自家用車：伊勢自動車道芸濃インターから約15分 伊勢自動車道津インターから約10分



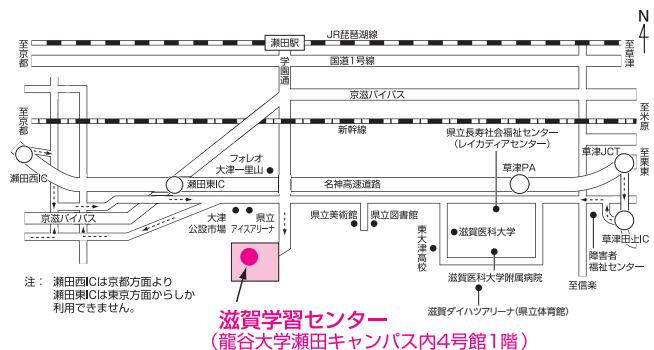
滋賀学習センター

〒520-2123 大津市瀬田大江町横谷1-5(龍谷大学瀬田キャンパス内)

☎ 077-545-0362

FAX 077-545-2096

- 鉄道：JR琵琶湖線「瀬田駅」下車(JR京都駅から約20分)
- バス：龍谷大学行、龍谷大学経由 公設市場行、龍谷大学経由 大学病院行 約8分
- 自家用車：国道1号線「瀬田駅」から学園通を南行約3km(自家用車通学可)
：高速道路利用 京都方面(名神高速道路)より「瀬田西IC」から約5分
東京方面(名神・新名神高速道路)より「草津上IC」から約5分



滋賀学習センター
(龍谷大学瀬田キャンパス内4号館1階)

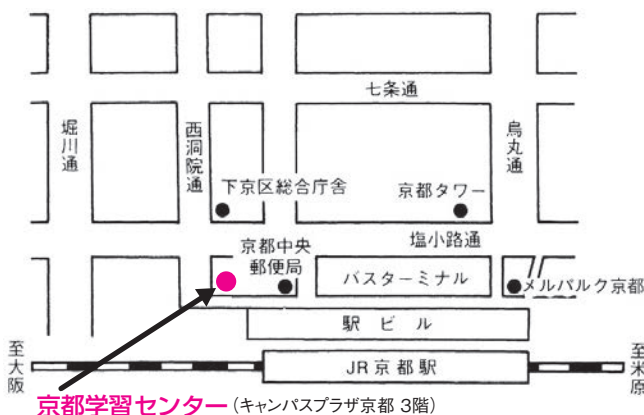
京都学習センター

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939(キャンパスプラザ京都3階)

☎ 075-371-3001

FAX 075-371-3033

- 近鉄・地下鉄・JR京都駅下車 徒歩5分



京都学習センター (キャンパスプラザ京都 3階)

大阪学習センター

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88(大阪教育大学天王寺キャンパス内)

☎ 06-6773-6328

FAX 06-6773-6322

- JR環状線 寺田町駅下車 南口から西へ 徒歩約5分
- JR 天王寺駅下車 北口から東へ 徒歩約10分
- 地下鉄 天王寺駅下車 徒歩約10分
- 近鉄 大阪阿部野橋駅下車 徒歩約10分



大阪学習センター
(大阪教育大学
天王寺キャンパス
中央館6階・7階)

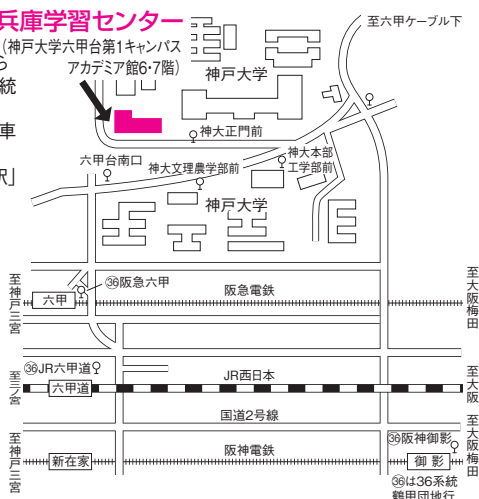
兵庫学習センター

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1(神戸大学六甲台キャンパス内)

☎ 078-805-0052

FAX 078-805-0067

- 阪神「御影駅」、兵庫学習センター
JR「六甲道駅」、(神戸大学六甲台第1キャンパス
阪急「六甲駅」から
神戸市バス36系統
鶴甲団地行乗車
「神大正門前」下車
すぐ
- 徒歩：阪急「六甲駅」
から約20分
(上り坂)



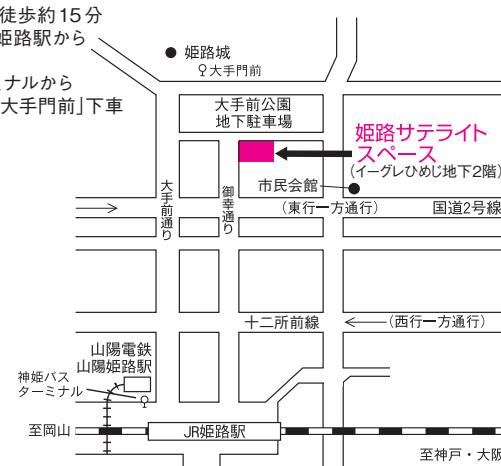
姫路サテライトスペース

〒670-0012 姫路市本町68-290(イーグレひめじ地下2階)

☎ 079-284-5788

FAX 079-284-5812

- JR姫路駅から徒歩約15分
- 山陽電鉄山陽姫路駅から
徒歩約15分
- 神姫バスターミナルから
バスで「姫路城大手門前」下車
徒歩南へ2分



姫路サテライト
スペース
(イーグレひめじ地下2階)

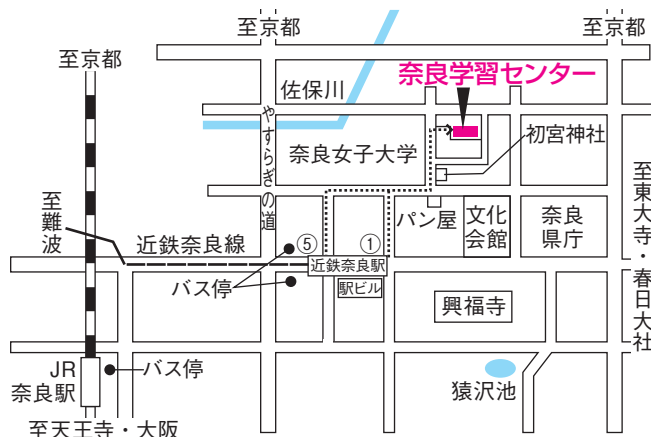
奈良学習センター

☎ 0742-20-7870

FAX 0742-20-7871

〒630-8589 奈良市北魚屋東町(奈良女子大学コラボレーションセンター3階)

- 近鉄奈良駅①・⑤番出口より北へ徒歩約10分
- JR奈良駅から市内循環バス 近鉄奈良駅下車北へ徒歩約10分



和歌山学習センター

☎ 073-431-0360

FAX 073-431-0311

〒641-0051 和歌山市西高松1-7-20(和歌山大学松下会館内)

- JR和歌山駅からバスで約20分「高松」バス停下車 徒歩約3分
- 南海和歌山駅からバスで約20分「高松」バス停下車 徒歩約3分



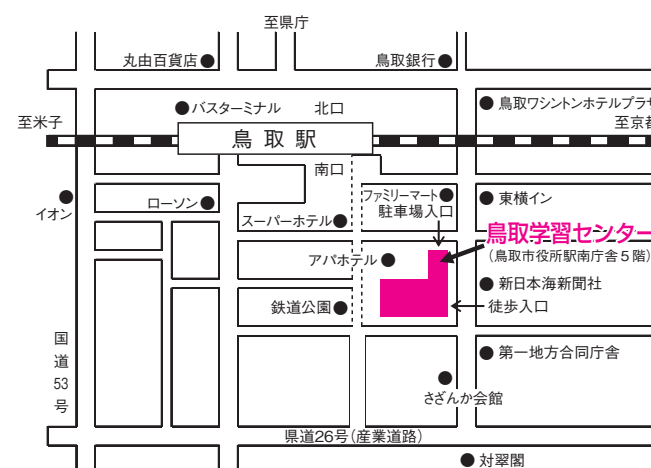
鳥取学習センター

☎ 0857-37-2351

FAX 0857-37-2352

〒680-0845 鳥取市富安2-138-4(鳥取市役所駅南庁舎5階)

- 鳥取駅南口から徒歩5分 ※1階フロアからは、新日本海新聞社側入り口のエレベーターをご利用ください。
- バスターミナルから徒歩10分



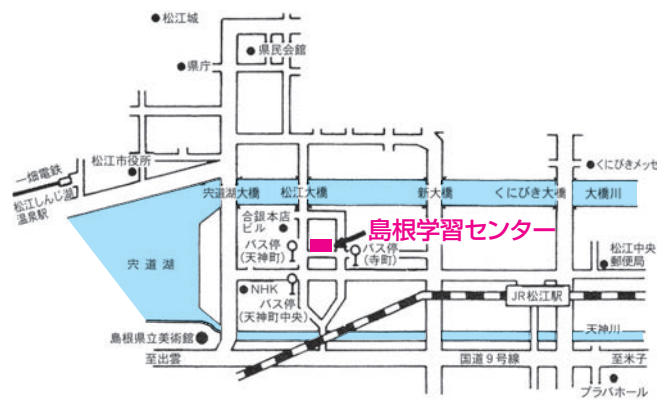
島根学習センター

☎ 0852-28-5500

FAX 0852-28-1800

〒690-0061 松江市白湯本町43(スティックビル4階)

- JR松江駅から ◇徒歩10分 ◇市営バスまたは一畑バス利用「天神町」下車徒歩1分「天神町中央」下車徒歩3分
- 一畑電鉄松江しんじ湖温泉駅から ◇市営バスまたは一畑バス利用「寺町」下車徒歩3分
- ※JR松江駅へは「寺町」からご乗車ください。



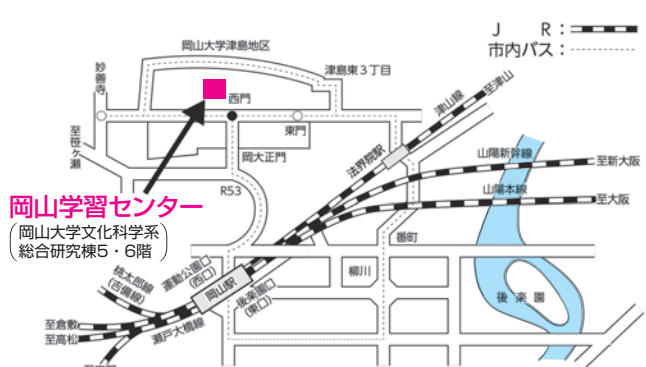
岡山学習センター

☎ 086-254-9240

FAX 086-254-9286

〒700-0082 岡山市北区津島中3-1-1(岡山大学津島キャンパス内)

- 岡電バス 岡山駅運動公園口(西口)発 22番乗り場 47番バス 理大線「岡大西門」下車 所要時間約15分
- 岡電バス 岡山駅後楽園口(東口)発 13番乗り場 17(67)番バス妙善寺線「岡大西門」下車 所要時間約30分
- JR津山線法界院駅下車 北西へ徒歩約15分



広島学習センター

☎ 082-247-4030

FAX 082-247-4461

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89(広島大学東千田キャンパス内)

- JR広島駅南(南口)から
- 路面電車: 広島電鉄「1広島港(宇品)」行(紙屋町東経由)で「日赤病院前」下車、宇品方面に徒歩3分(所要時間約30分)
- バス: 広島バス「50アルパーク」行で「日赤前」下車、または、「21-2広島港(ベイシティ経由)」行きで「日赤病院西」下車、宇品方面に徒歩3~5分(所要時間約20~30分)
- JR西広島駅前から
- 路面電車: 広島電鉄「3日赤病院前・広電本社前」行で「日赤病院前」下車、宇品方面に徒歩3分(所要時間約30分)
- JR横川駅前から
- 路面電車: 広島電鉄「7広島港(宇品)」行で「日赤病院前」下車、宇品方面に徒歩3分(所要時間約25分)

広島学習センター

(広島大学東千田キャンパス東千田総合校舎3・4階)

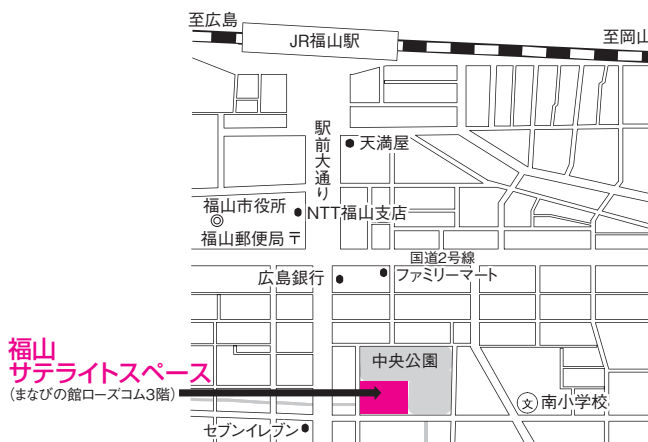


福山サテライトスペース

☎ 084-991-2011
FAX 084-991-2012

〒720-0812 福山市霞町1-10-1(まなびの館ロースコム3階)

■JR福山駅から南へ約700m(徒歩10分)



山口学習センター

☎ 083-928-2501
FAX 083-928-2503

〒753-0841 山口市吉田1677-1(山口大学吉田キャンパス 大学会館内)

- JR: 湯田温泉駅下車 徒歩25分
- バス: 湯田温泉駅入口バス停から防長バス(平川経由)で山口大学前バス停下車 徒歩3分
- 自家用車: 中国道小郡IC下車 約15分
中国道山口IC下車 約12分
中国道湯田温泉スマートIC(ETC専用)下車 約5分



徳島学習センター

☎ 088-602-0151
FAX 088-602-0152

〒770-0855 徳島市新蔵町2-24(徳島大学新蔵キャンパス日亜会館3階)

- JR 徳島駅下車、徒歩約15分
- JR 徳島駅から徳島バス・徳島市営バス乗車、「新蔵町」下車、徒歩約2分
- JR 徳島駅からタクシーで約5分

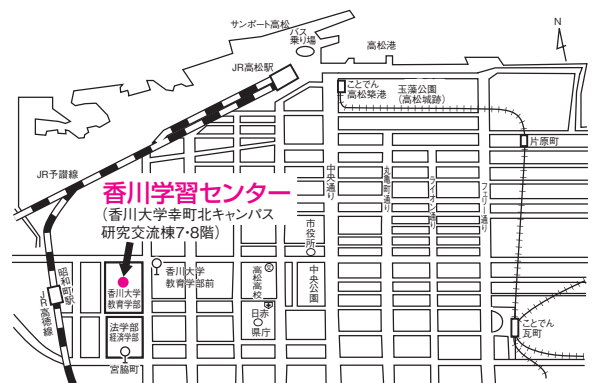


香川学習センター

☎ 087-837-9877
FAX 087-837-9890

〒760-0016 高松市幸町1-1(香川大学幸町北キャンパス内)

- JR: 高松駅下車 約1.7km、昭和町駅下車 約500m
- 電車: ことでん瓦町駅下車 約1.3km
- バス: JR高松駅・ことでん瓦町駅からまちなかループバス(東廻り・西廻り)で「香川大学教育学部前」下車約150m
- タクシー: JR高松駅から約5分

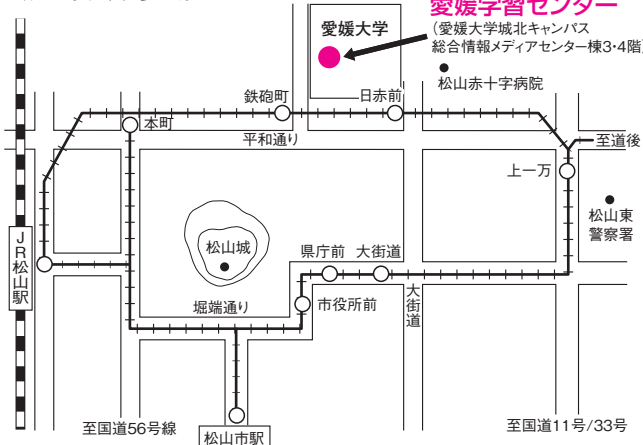


愛媛学習センター

☎ 089-923-8544
FAX 089-923-8479

〒790-0826 松山市文京町3(愛媛大学城北キャンパス内)

- JR 松山駅から: 市内電車(環状線①番)乗車16分
- 伊予鉄松山市駅から: 市内電車(環状線②番)乗車18分
鉄砲町下車徒歩3分

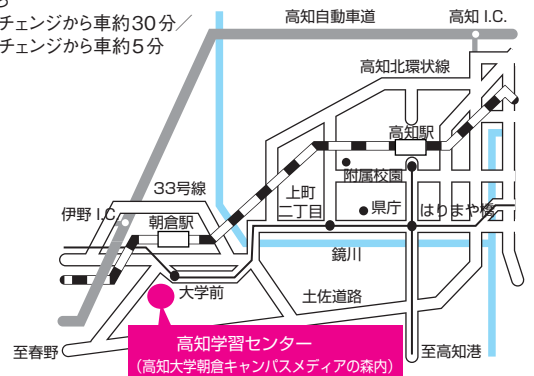


高知学習センター

☎ 088-843-4864
FAX 088-843-4813

〒780-8072 高知市曙町2-5-1(高知大学朝倉キャンパス内)

- JR 高知駅から
バス: 高知駅バスターミナルから乗車(約25分)、朝倉(高知大学前)下車、徒歩約5分
路面電車: 高知駅前から乗車、はりまや橋で乗り換え(約40分)、朝倉(高知大学前)下車、徒歩約3分
J R: 高知駅から下り線乗車(約15分)、朝倉駅下車、徒歩約5分
- 高速道路から
高知インターチェンジから車約30分
伊野インターチェンジから車約5分



福岡学習センター

☎ 092-585-3033
FAX 092-585-3039

〒816-0811 春日市春日公園6-1 (九州大学筑紫キャンパス内E棟4・5階)

- JR大野城駅西口から徒歩7分 (JR博多駅から快速9分・普通20分)
- 西鉄白木原駅から徒歩20分
- 大野城門からは徒歩のみ通行可

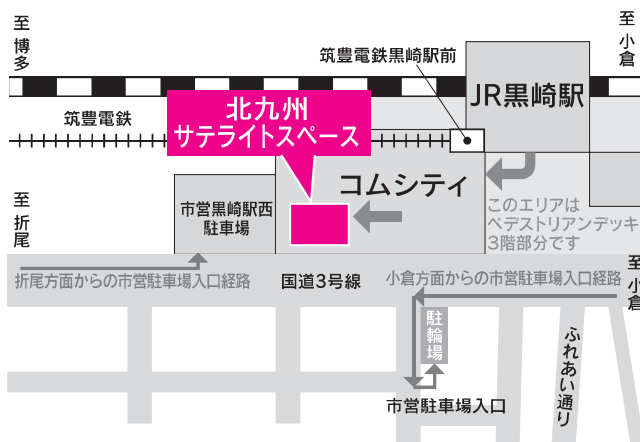


北九州サテライトスペース

☎ 093-645-3201
FAX 093-645-3208

〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 (コムシティ3階)

- JR黒崎駅から徒歩5分
- 西鉄バス：黒崎バスセンターから徒歩3分



佐賀学習センター

☎ 0952-22-3308
FAX 0952-22-3398

〒840-0815 佐賀市天神3-2-11 (アバンセ4階)

- JR佐賀駅・佐賀駅バスセンターから徒歩10分
- 佐賀市営バス：「どんどんの森前」バス停下車 徒歩2分
「どんどんの森東」バス停下車 徒歩2分

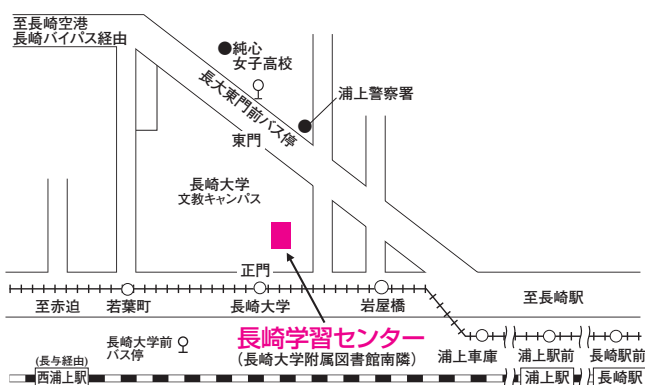


長崎学習センター

☎ 095-813-1317
FAX 095-813-1325

〒852-8521 長崎市文教町1-14 (長崎大学文教キャンパス内)

- JR長崎駅から約20分・浦上駅から約10分 (路面電車またはバス)
- 路面電車：①③番系統「赤迫」行、「長崎大学」下車、徒歩約3分
- 長崎バス：「滑石」「時津」「長与」方面行き「長崎大学前」下車、徒歩約3分

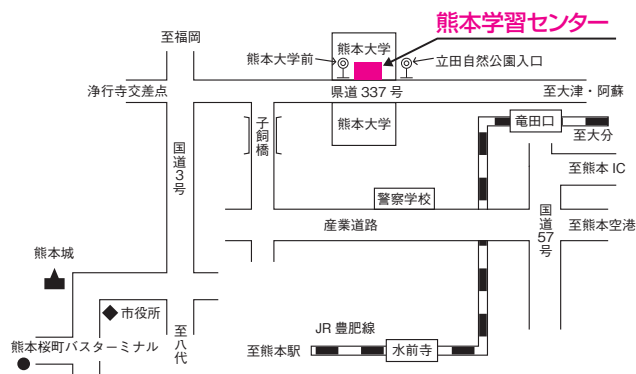


熊本学習センター

☎ 096-341-0860
FAX 096-341-0870

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1 (熊本大学附属図書館南棟2・3階)

- JR熊本駅：産交バス、熊本電鉄バス「熊本大学前」下車
- 熊本桜町バスターミナル：産交バス、熊本電鉄バス「熊本大学前」下車



大分学習センター

☎ 0977-67-1191
FAX 0977-67-1193

〒874-8501 別府市北石垣82 (別府大学39号館2階)

- JR利用の場合 (最寄駅は別府大学駅)
JR日豊線別府大学駅より徒歩10分
- バス利用の場合 (JR日豊線別府駅から：所要時間約20分)



宮崎学習センター

☎ 0982-53-1893
FAX 0982-53-1898

〒883-8510 日向市本町11-11

- JR日向市駅下車 徒歩7分
- 宮崎交通バス延岡線、宇納間線で商工会館通り下車徒歩3分



鹿児島学習センター

☎ 099-239-3811
FAX 099-239-3841

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 (カクイックス交流センター内)

- JR鹿児島駅から徒歩10分
- 鹿児島中央駅から電車・バス約15分
- 電車・バス
市役所前下車徒歩5分、水族館口下車徒歩4分



沖縄学習センター

☎ 098-895-5952
FAX 098-895-5953

〒903-0129 中頭郡西原町字千原1 (琉球大学内)

- 路線バス
97 番琉大線 (那覇バス)
那覇バスターミナル→「牧志」→「儀保」→「旧琉大附属病院前」→「琉大東口」
(下車徒歩約10分)
98 番琉大線 (琉球バス)
那覇バスターミナル→「牧志」→「沖縄国際大学前」→「琉大北口駐車場」(下車徒歩約15分)



スマホ決済もご利用いただけます

本学の入学検定料の「払込取扱票」は、下記のスマホ決済アプリに対応しており、アプリご利用条件に該当される場合、「払込取扱票」のバーコードをスマートフォン等で読み取ることにより、スマートフォン等からの決済が可能です。

スマホ決済で入学検定料をお支払いいただいた場合は、領収印のない「領収証書（ご依頼人控）」の「依頼日」欄に決済日を記入し、領収証書貼付用紙③に貼付の上、領収証書貼付用紙③の記入欄に使用したスマホ決済の名称（PayB等）を記載して郵送してください。

「PayB（ペイビー）」アプリ

ご利用条件概要

- 対応する金融機関の銀行口座あり
- 対応するOSのスマートフォン等の所持あり

詳細は下記Webページをご確認ください。
<https://payb.jp>

問合せ先：
ビリングシステム株式会社
☎ 03-6457-9459

【利用方法概要】

- ①アプリをダウンロード  
- ②氏名、生年月日、お支払い方法等を事前登録
- ③バーコードを撮影 
- ④任意の暗証番号を入力
- ⑤払込完了
 - ・アプリ上の「取引履歴」から確認いただけます。
 - ・「支払い完了メール」が送信されます。

「モバイルレジ」アプリ

ご利用条件概要

- 対応する金融機関のネットバンキング契約あり
- 対応するOSのスマートフォン等の所持あり

詳細は下記Webページをご確認ください。
<https://solution.cafis.jp/bc-pay/pc/index.html>

問合せ先：
株式会社NTTデータ
問合せ窓口
<https://solution.cafis.jp/bc-pay/pc/question.php>

【利用方法概要】

- ①アプリをダウンロード 
- ②バーコードを撮影 
- ③ご利用の金融機関を選択し、お使いのネットバンキングにログイン
- ④払込手続
- ⑤払込完了
 - ・各ネットバンキングの「取引履歴」から確認いただけます。

領収印のない「領収証書（ご依頼人控）」を領収証書貼付用紙③に貼付して郵送

学費（入学料・授業料・研究指導料）の納入方法

※本ページは最終合格後の、「入学料・授業料・研究指導料」の納入方法に関するご案内です。入学検定料の納付方法については、本要項添付書類の「入学検定料振込依頼書」にてご確認ください。入学検定料の納付にクレジットカードは使用できません。

科目登録決定通知書と併せて学費納入専用の振込依頼書（払込取扱票）を送付します。ゆうちょ銀行・郵便局の窓口・ATM、銀行・信用金庫等の窓口、コンビニエンスストアの窓口およびPayB（ゆうちょPay等含む）・モバイルレジ、クレジットカードから学費を払い込んでください。

区 分	窓 口			ATM		インターネット		クレジットカード
	ゆうちょ銀行・郵便局※1	銀行、信用金庫等※2	コンビニエンスストア	ゆうちょ銀行・郵便局	銀行、信用金庫等	PayB(ゆうちょPay等含む)・モバイルレジ※5	左記以外	※7
払込方法	○	○	○	△※4	×※6	○	×※6	○
払込制限	なし	なし	30万円まで※3	10万円まで		30万円まで※3		なし

※1 ゆうちょ銀行・郵便局の窓口：払込取扱票に記載されている「ゆうちょ銀行口座」は、学費納入専用の「払込取扱票」による払込みにしか使えません。

※2 銀行、信用金庫等の窓口：払込取扱票に記載されている「みずほ銀行口座」に払込みしてください。
なお、期限日当日に振り込みを行う際は、みずほ銀行以外の銀行、信用金庫等によっては、当日振込ができない時間帯があることから、期限日前までにお振込み、もしくは、お手続きされる銀行、信用金庫等に事前に着金日をご確認の上、お振込みをお願いします。

また、金融機関所定の振込依頼書が必要になる場合があります。その場合、払込取扱票記載の整理番号を記入する必要はありません。

※3 払込金額が30万円を超える場合は、「ゆうちょ銀行・郵便局の窓口」・「銀行、信用金庫等の窓口」・「クレジットカード」をご利用ください。

※4 ゆうちょ銀行・郵便局のATMは、「払込用紙による通常払込み」対応ATMでのみ払込みが可能です。駅・ショッピングセンター等に設置しているATMでは払込みができません。

※5 PayB・モバイルレジは、専用のアプリをダウンロードしてスマートフォンで「払込取扱票のバーコード」を読み取ることにより、登録した対応する金融機関の口座（PayB）またはインターネットバンキング（モバイルレジ）を利用した払込みになります。

なお、クレジットカードの利用はできません。

詳細は下記のウェブサイトを確認してください。

PayB <https://payb.jp>

モバイルレジ <https://solution.cafis.jp/bc-pay/pc/index.html>

※6 銀行、信用金庫等のATMおよびPayB・モバイルレジ以外のインターネットバンキングから本学の口座へ直接払い込むと、振込手続きが最後まで終了しておらず未入金であること、振込金額の誤り等が想定されることから、受け付けておりません。

納入期限までに払込者等の確認、正しい金額の払込みがなされない場合は、入学は許可できません。

※7 クレジットカード（VISA・MasterCard・JCB・AMERICAN EXPRESS・Diners Club）を利用して払込みができます。なお、払込みが可能となるのは「払込取扱票」到着後となります。下記のウェブサイトより、画面の案内をご確認の上、所定の事項を入力し払込みしてください。

<https://gakuhi.ouj.ac.jp/>

出願全般に関するお問い合わせ

放送大学学生サポートセンター室
担当：学務部教務課
(月～金) 大学院企画・入試係

月～金：9時15分から17時30分
土：9時15分から13時、14時から17時30分
(日曜・祝日を除く)

電話：043-276-5111 (総合受付) *音声ガイダンスにしたがって番号を選択してください。
放送大学への「入学」および「再入学」をお考えの方は②を押してください。
必ず市外局番から、お間違いのないようおかけください。
メール：in-nyushi@ouj.ac.jp
※メールのご返信には数日を要する場合がございます。
正確にご案内するために、お電話でお問合せいただいた場合でも、メールでのご連絡をお願いする場合もございます。

放送授業 配信科目詳細
インターネットによる出願

「放送大学」で検索してください。 本学ウェブサイト www.ouj.ac.jp

市販封筒使用時の出願証明書類の送付先

〒261-8686
千葉県千葉市美浜区美浜郵便局私書箱5号 放送大学 学務部教務課宛



放送大学本部

〒261-8586 千葉県美浜区若葉 2-11

☎ 043-276-5111 (総合受付)

www.ouj.ac.jp

放送大学大学院
文化科学研究科
文化科学専攻
修士課程

授業科目概要

2026年度
[修士全科生]

本冊子に記載している内容は、作成時現在（2025年4月）における予定であり、今後、変更になることがあります。又、各科目の放送時間、試験日程等は作成時現在において未定です。

履修登録の際は、最終合格者に配布される「科目登録申請要項」に同封の「授業科目案内」で詳細を必ずご確認ください。

目 次

○ 生活健康科学プログラム	1
○ 人間発達科学プログラム	6
○ 臨床心理学プログラム	9
○ 社会経営科学プログラム	13
○ 人文学プログラム	16
○ 情報学プログラム	18
○ 自然環境科学プログラム	21

生活健康科学プログラム

科 目 名 主 任 講 師 名	単 位	メディア	講 義 概 要
家族政策研究（'21） 下 夷 美 幸 （放送大学教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ	家族はプライベートな領域であるが、人々が営む家族のあり様や家族が抱える問題は、国や自治体等が策定・実施するさまざまな政策と深く関わっている。また、家族をめぐる人々の行為や意識の変化が、政策主体に影響を与え、政策を動かすこともある。本科目では、家族社会学の立場から、家族政策に関する基礎的理論と日本の背景を押さえたうえで、現代の家族問題に関わる制度・政策を取り上げ、諸外国との比較も交えながら、家族政策の日本的特徴と今後の課題について考察する。
食健康科学（'21） 佐藤 隆一郎 （放送大学客員教授） （東京大学大学院特任教授） 三浦 豊※ （放送大学客員教授） （東京農工大学大学院教授） 下条 直樹※ （放送大学客員教授） （千葉大学予防医学センター特任教授） ※は専門担当講師 2021年度開設科目	1	オンライン	〔「自然環境科学プログラム」と共通〕 学部科目「食と健康」と対をなす大学院講義。「食と健康」で学んだ、糖質、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル、微量非栄養素、食と各種疾患などについて、それらをさらに掘り下げて、詳細に解説する。
コミュニティケア（'24） 田城 孝雄 （放送大学特任教授） 大木 幸子※ （放送大学客員教授） （杏林大学教授） 服部 真治※ （放送大学客員教授） （株日本能率協会総合研究所主幹研究員） ※は専門担当講師 2024年度開設科目	2	オンライン	近年の社会の多様性により、個人の健康も重要ではあるが、地域全体として健康を保持増進する必要性が生じている。したがって、地域における健康保持増進を検討する講座として「コミュニティヘルスケア研究」を開設することとした。 ここでは、地域の健康維持増進を支援する各フィールド活動を対象として、科学の視点を導入し、具体的な調査研究方法を学習し、より科学的なエビデンスを明確にする能力を身につける。
生活リスク論（'25） 奈良 由美子 （放送大学教授） 「生活リスクマネジメント（'17）」 「生活リスクマネジメント（'11）」の 単位修得者は履修不可 2025年度開設科目	2	ラジオ	生活の質を高めるうえで生活上のリスクを理解し低減することは不可欠である。このことは生活者のみならず、地域、企業、行政といった主体を含めた社会全体の課題といえる。本科目では、リスクの様相、認識、対処の局面から、生活リスクのマネジメントおよびリスクコミュニケーションに関する理論と実践についての講義を行う。
精神医学特論（'22） 石丸 昌彦 （放送大学客員教授） 2022年度開設科目	2	ラジオ	〔「臨床心理学プログラム」と共通〕 精神医学は、精神疾患の診断や治療のあり方を検討する深く広い学問である。本科目では精神医学の基本的な考え方を紹介したうえで、今日見られる代表的な疾患を事例とともにとりあげ、診断と治療の基本的な流れを解説する。個人の病理と社会のあり方との関わりにも随時言及する。
看護・保健系調査方法論（'25） 戸ヶ里 泰典 （放送大学教授） 米倉 佑貴 （放送大学客員准教授） （聖路加国際大学大学院准教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ	修士論文の作成にあたり、調査研究を実施する者は少なくない。看護・保健系領域を含む生活健康科学系分野における調査研究方法は、社会科学系における社会調査方法論に加え、医学系の疫学調査方法論をベースとし、倫理的配慮を要するとともに臨床実践的・政策的エビデンスとして耐えうる堅牢さが求められている。社会的な注目とともに年々その要求水準が高まっている現状にもある。本授業では調査研究初心者に向け一定水準の調査の実施とその成功の手がかり・足がかりとなる知識を教授する。

生活健康科学プログラム

科 目 名 主任講師名	単 位	メディア	講 義 概 要
スポーツ社会学（'25） 渡 正 [放送大学客員准教授 順天堂大学先任准教授] 2025年度開設科目	2	ラジオ	現代社会においてスポーツは、単に個人が身体活動を行うことにとどまらず、大きな社会現象として、様々な意味や価値が付与されている。一方でスポーツは、私達の生活の中に位置付く個々人によって経験されるものでもある。こうした社会現象としてのスポーツ、および人々の経験としてのスポーツのあり方を、歴史や政治・社会との関連や、諸個人の経験に焦点をあて、理解することが重要である。本科目では、スポーツの社会科学的理解に向け、スポーツに関連するトピックについて解説する。
健康・スポーツ科学研究（'21） 関根 紀子 （放送大学教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ	我々が生活する現代社会は様々な情報が溢れ、運動・健康・スポーツに関する最新の研究結果や実践法が数多く紹介されている。これらの情報を正しく理解し生活に取り入れるとともに、自ら健康・スポーツ科学分野の研究に取り組む基礎を築くため、データの解説を通して健康・スポーツの科学的理解を深めることを目指す。はじめに、健康・スポーツに科学的にアプローチするための研究法や生理学的基礎について概説する。次に、生理学研究、疫学研究、身体活動・運動施策などについて、各分野におけるデータを示しながらオムニバス形式で解説する。
福祉政策と人権（'22） 金川 めぐみ [放送大学客員教授 和歌山大学教授] 2022年度開設科目	2	ラジオ	この講義では、20世紀に形成された福祉政策の歴史的な発展が、人権理念を背景に、その範囲と内容を豊かにしてきたことを理解する。そのうえで、21世紀の福祉政策の特徴を明らかにするとともに、今後の制度のあり方を立案するための、人権論的な基礎と歴史的背景から見えてくる政策課題を考察することとする。
社会福祉の探究（'24） 山田 知子 （放送大学特任教授） 川島 聡※ （放送大学教授） ※は専門担当講師 2024年度開設科目	2	オンライン	本講義では社会福祉分野における様々な研究をとりあげながら、どのような視座にたち、どのような方法によって何を明らかにしていくのかについて検討する。各回にゲストをお招きし、各分野の基本的文献を紹介する。社会福祉研究の過去と現在、そして未来を考える。社会福祉施設機関及び関連諸団体等で働く保健医療福祉関係者はもとより、社会福祉サービスの利用者、その家族、また、社会福祉の研究に関心を寄せる一般市民に向けた講義である。本講義をきっかけに多くの人が社会福祉の研究に興味を持ってほしい。
臨床推論（'26） 山内 豊明 （放送大学教授） 三笥 里香 [放送大学客員教授 熊本大学大学院教授] 「臨床推論（'16）」の単位修得者は履修不可 2026年度開設予定科目	1	オンライン	看護師が特定行為を行う場合に必要とされる実践能力の基礎となる知識・技能の向上を図るために、臨床診断学、臨床検査学、症候学、臨床疫学について学ぶ。看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 1. 臨床推論とは 2. 臨床推論（症候学を含む）の理論 3. 医療面接の理論 4. 各種臨床検査の理論～検査データのみかた 5. 各種臨床検査の理論～画像のみかた 6. 各種臨床検査の理論～心電図の原理 7. 各種臨床検査の理論～心電図所見のみかた 8. まとめ-EBM、生涯教育と行動の学習
フィジカルアセスメント特論（'26） 山内 豊明 （放送大学教授） 三笥 里香 [放送大学客員教授 熊本大学大学院教授] 「フィジカルアセスメント特論（'16）」の単位修得者は履修不可 2026年度開設予定科目	1	オンライン	看護師が適切に特定行為を遂行するために欠かすことのできない身体面に関する情報収集の方法論と所見の解釈についての理論と技能を習得することを目指す。看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 1. 身体診察基本手技の理論 2. 部位別身体診察手技と所見の理論 全身状態とバイタルサイン/頭頸部/胸部/腹部/四肢・脊柱/泌尿・生殖器/乳房・リンパ節/神経系 3. 身体診察の年齢による変化 小児/高齢者 4. 状況に応じた身体診察 救急医療/在宅医療

生活健康科学プログラム

科 目 名 主任講師名	単 位	メディア	講 義 概 要
臨床病態生理学特論（'17） 小川 真 元千葉県立保健医療大学教授 2019.1 逝去 東本 恭幸 （放送大学客員教授） 2017年度第2学期開設科目	1	オン ラ イン	臨床解剖学および臨床生理学、さらには臨床病理学の原則を理解し、年齢や状況に応じた病態の変化や治療の特性を包括的かつ迅速に判断できるよう必要な知識と技術を学修する。看護師の特定行為研修制度（省令改正前の旧基準）の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 1. 臨床解剖学および臨床生理学総論 2. 臨床解剖学および臨床生理学各論 3. 臨床病理学総論 4. 臨床病理学各論
疾病・臨床病態概論（'17） 小川 薫 〔放送大学客員教授〕 〔順天堂大学名誉教授〕 2017年度第2学期開設科目	2	オン ラ イン	看護師の特定行為研修制度（省令改正前の旧基準）の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 主要疾患（5疾病）の臨床診断・治療を学ぶ。 1. 5疾病の病態と臨床診断・治療の概論 悪性腫瘍／脳血管障害／急性心筋梗塞／糖尿病／精神疾患 2. その他の主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論 循環器系／呼吸器系／消化器系／腎泌尿器系／内分泌・代謝系／免疫・膠原病系／血液・リンパ系／神経系／小児科／産婦人科／精神系／運動器系／感覚器系／感染症／その他 年齢や状況に応じた臨床診断・治療（小児、高齢者、救急医学等）を学ぶ。 1. 小児の臨床診断・治療の特性と演習 2. 高齢者の臨床診断・治療の特性と演習 3. 救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 4. 在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習
臨床薬理学特論（'17） 柳田 俊彦 〔放送大学客員教授〕 〔宮崎大学教授〕 2017年度第2学期開設科目	1	オン ラ イン	薬理学・薬剤学の基礎知識を深め、主要な疾患別の治療薬ならびに予防薬の薬効、作用機構、副作用、リスクマネジメント等、臨床における薬物の理論と実際について学習する。また、小児、女性、高齢者等、年齢による特性、個体差のある薬理作用と主要薬物の安全管理を学ぶ。看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 1. 薬物動態の理論と演習 2. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3. 主要薬物の相互作用の理論と演習 4. 主要薬物の安全管理と処方箋の理論と演習 ※ 年齢による特性（小児／高齢者）を含む
特定行為実践特論（'17） 石井 邦子 〔放送大学客員教授〕 〔千葉県立保健医療大学教授〕 木澤 晃代 〔放送大学客員准教授〕 〔日本看護協会常任理事〕 2017年度第2学期開設科目	1	オン ラ イン	看護師が適切に特定行為を遂行するために、自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につけることを目指す。看護師の特定行為研修制度（省令改正前の旧基準）の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 ・特定行為実践のための関連法規を学ぶ。 ・特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ。 1. 特定行為の実践過程の構造 2. アセスメント、仮説検証、意思決定の理論と演習 ・根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し見直すプロセスを学ぶ。 ・インフォームドコンセントの理論と実際（事例検討等の演習を含む）を学ぶ。 ・多職種協働実践（Inter Professional Work (IPW)）（IPWを促進する方法の検討等の演習を含む）を学ぶ。 1. コンサルテーションの方法 2. チーム医療の理論と事例検討 3. 多職種協働実践の課題 ※ 特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割を含む

生活健康科学プログラム

科 目 名 主 任 講 師 名	単 位	メディア	講 義 概 要
特定行為共通科目統合演習（'17） 山内 豊明 （放送大学教授） 2017年度第2学期開設科目	1	オン ラ イ ン	看護師の特定行為研修制度の対応科目である「医療安全学特論」「臨床推論」「フィジカルアセスメント特論」の演習をとおして、実践能力の基礎となる知識・技能の向上を図る。演習には、指定の以下の内容を含むものとする。 1. 医療安全に関する理論・原則、医療安全の推進に関わる制度・システム、医療施設における組織的な取り組みや実践例、患者との関わりについて、事例検討をとおして実践につなげる能力を身につける。 2. 臨床診断学、臨床検査学、症候学、臨床疫学について、以下の演習をとおして実践につなげる能力を身につける。 ・臨床推論（症候学を含む）演習 ・医療面接演習 ・各種臨床検査演習 ・画像検査演習 ・臨床疫学演習 3. 看護師が適切に特定行為を遂行するために欠かすことのできない身体面に関する情報収集の方法論と所見の解釈についての理論に基づき、以下の演習をとおして技能の習得を目指す。 ・身体診察基本手技演習 ・部位別身体診察手技と所見演習
統合臨床病態生理学・疾病概論（'19） 東本 恭幸 （放送大学客員教授） 小川 薫 （放送大学客員教授） （順天堂大学名誉教授） 2019年度第2学期開設科目	2	オン ラ イ ン	臨床解剖学および臨床生理学、さらには臨床病理学の原則を理解し、年齢や状況に応じた病態の変化や治療の特性を包括的かつ迅速に判断できるよう必要な知識と技術を学修する。また、主要疾患の臨床診断・治療を学ぶ。 1. 主要疾病の病態と臨床診断・治療の概論 脳血管障害／急性心筋梗塞／糖尿病／精神疾患 2. その他の主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論 循環器系／呼吸器系／消化器系／腎泌尿器系／内分泌・代謝系／免疫・膠原病系／血液・リンパ系／神経系／小児科／産婦人科／精神系／感染症／運動器系／感覚器系／その他 3. 救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 4. 在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習 看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、精錬化による時間数の減少に対応して、『臨床病態生理学特論』と『疾病・臨床病態概論』を統合し、再構築した科目である。
統合医療安全・特定行為実践特論（'19） 石井 邦子 （放送大学客員教授） （千葉県立保健医療大学教授） 木澤 晃代 （放送大学客員准教授） （日本看護協会常任理事） 山本 武志 （放送大学客員准教授） （札幌医科大学准教授） 2019年度第2学期開設科目	1	オン ラ イ ン	看護師が適切に特定行為を遂行するために、自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につけることを目指す。看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、2019年4月の省令改正に対応し、「医療安全学特論」と「特定行為実践特論」を統合し、指定の以下の内容を含むものとする。 特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程（理論、演習）を学ぶ中で以下の内容を統合して学ぶ 1. 特定行為実践に関連する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ ①医療倫理 ②医療管理 ③医療安全 ④ケアの質保証 2. 特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（Inter Professional Work（IPW））を学ぶ ①チーム医療の理論 ②チーム医療の事例検討 ③コンサルテーションの方法 ④多職種協働の課題 3. 特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ ①特定行為関連法規 ②特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論と演習 4. 根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ ①手順書の位置づけ ②手順書の作成演習 ③手順書の評価と改良

生活健康科学プログラム

科目名 主任講師名	単位	メディア	講義概要
生活環境情報学基礎演習（'18） 川原 靖弘 （放送大学教授） ロペズ ギヨーム （放送大学客員教授） 青山学院大学教授 2018年度開設科目	2	オンライン	近年の生活空間における情報通信技術（ICT）の発展と、通信インフラの整備により、生活者は、場所や時間を選ばず、日常的に電子化された情報を享受・発信しながら生活を営んでいる。今日の生活環境で扱うこのような情報の中で、時系列情報と地理空間情報に焦点を当て、その扱い方、表現方法、解析方法の基本的手法を解説する。
生活空間情報の表現とGIS（'24） 川原 靖弘 （放送大学教授） 山城 興介※ （放送大学客員教授） 日本文理大学教授 岩見 昌邦※ （放送大学客員准教授） 和光大学准教授 ※は専門担当講師 2024年度開設科目	1	オンライン	情報通信技術の発展とその技術を利用した生活空間におけるインフラ整備により、生活者は、場所や時間を選ばず、日常的に情報の享受と発信が可能になった。このような今日の生活環境で扱う情報の中で、地理空間情報を含む生活情報に焦点を当て、その扱い方、表現方法、解析方法の基本的手法を解説する。
アカデミック・スキルズ（'25） 滝浦 真人 （放送大学教授） 各プログラム教員※ （生活健康科学、人間発達科学、 社会経営科学、人文学、 情報学、自然環境科学） 「アカデミック・スキルズ（'20）」の 単位修得者は履修不可 ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン	【「臨床心理学プログラム」以外と共通】 修士全科生を対象として、修士課程において必要となる学術的なリテラシーに加え、ライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。

人間発達科学プログラム

科目名 主任講師名	単位	メディア	講義概要
教育老年学（'22） 堀 薫夫 [放送大学客員教授 大阪教育大学名誉教授] 2022年度開設科目	2	ラジオ	エイジングと生涯学習の対話の学問領域である教育老年学の理念と動向、内容、課題などを概説し、社会の高齢化が進む今日における、高齢者学習支援のあり方を概観する。
教育行政と学校経営（'24） 村上 祐介 [放送大学客員教授 東京大学教授] 勝野 正章 [放送大学客員教授 東京大学教授] 2024年度開設科目	2	ラジオ	現代の教育改革と教育のあり方を考える上で、教育行財政制度のしくみと課題を理解しておくことは極めて重要である。本科目は教育行政と学校経営を主な対象とすることで、現代の教育を分析する視点を得ることを目的とする。国と地方の教育政策や教育行政の実情と課題、教育の中核的担い手である教職員の問題、コロナ禍以降の学校を巡る新たな環境と学校経営の課題など、教育行政と学校経営が直面する現代の問題と政策課題を学ぶ。
グローバル時代の教育文化（'25） 一世界の中で考える日本の教育― 恒吉 僚子 [放送大学客員教授 文京学院大学副学長] 2025年度開設科目	2	ラジオ	教育、特に国民教育は長らく「国民」を形作り、ある社会において「国民」に必要とされる知識、スキル、価値等の獲得を促し、人間形成を方向付け、世代から世代への「文化」の継承を担ってきたとされています。しかしながら、グローバル化が進む中でこうした「国民」の理解の仕方ではとらえきれない異文化的背景を持つ子ども達の増加、あるいは、国境を越えた形でグローバルな市民を育成するためのコンピテンス、スキルなどの獲得の必要性が国際的にも問題にされるようになりました。こうした変化の中の教育と文化を、本講義では教育社会学、異文化間教育学、教育開発、教育の国際比較の観点から学際的に掘り下げます。
成人の発達と学習（'25） 岩崎 久美子 （放送大学教授） 「成人の発達と学習（'19）」の単位修得者は履修不可 2025年度開設科目	2	ラジオ	成人期の学習は、主に学校を場として集団的に実施される青少年期の学習とは異なり、自らの課題意識に基づき、生活や経験に根ざした形で個人によって自発的に行われる。 このような成人期における学習の特徴、学習プロセスに影響を与える要因、成人学習理論について、生涯学習の観点から学際的に着目し、その研究動向を紹介する。
シティズンシップ教育（'26） 小玉 重夫 [放送大学客員教授 白梅学園大学学長・教授] 2026年度開設予定科目	2	ラジオ	「市民」の在り方を思考する「シティズンシップ」をキー概念として、ソクラテスから現代までの教育思想史を読み直し、シティズンシップ教育を教育思想・教育哲学の視点から問い直す。学校教員を中心に、シティズンシップ教育に関心のある一般の受講者に向けてシティズンシップの教育思想を解説する。
教師教育の国際比較（'26） 佐藤 仁 [放送大学客員教授 福岡大学教授] 高橋 望 [放送大学客員准教授 学習院女子大学准教授] 2026年度開設予定科目	2	ラジオ	世界各国・地域では、学力政策を中心とする学校教育の質的向上が目指される中、教師の資質能力に注目が集まり、教師教育の改革が積極的に進められてきた。具体的には、教員養成の修士レベル化、専門職基準の開発、現場実習の長期化などが挙げられる。他方で、教員不足というグローバルに共通する課題に対応すべく、教師教育のあり方を再定位する動きもみられる。本科目では、こうした世界各国・地域で展開する教師教育制度・政策の改革動向を学びながら、国際的な視点から日本の教師教育制度・政策のあるべき方向性を検討していく。
専門的職業と継続的職能開発（'26） 橋本 鉦市 （放送大学教授） 2026年度開設予定科目	2	ラジオ	現代の専門的職業は、社会情勢、技術革新、クライアントからのニーズなどに適切に応えるため、知識や技術などを常にブラッシュアップすることが要請されており、近年では「継続的専門職能開発（CPD :continuing professional development）」の概念に基づきながら、生涯にわたる学習機会が必要であるとの議論や取組が広がってきている。本講義では、広く12種の職種を取り上げ、それぞれのCPDの仕組みや論理について、研修制度、上位資格、教育プログラムなどを中心に考察を掘り下げていく。

人間発達科学プログラム

科目名 主任講師名	単位	メディア	講義概要
論文作成のための教育研究（'25） 橋本 鉦市 （放送大学教授） 日下田 岳史※ 〔放送大学客員准教授〕 〔大正大学准教授〕 中村 知世※ 〔放送大学客員准教授〕 〔社会調査支援機構〕 〔チキラボ特任研究員〕 ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン	教育学分野の大学院生を対象として、論文作成のために必要な量的・質的研究の基本的な視座と方法論を講義する。
学校臨床心理学特論（'21） 倉光 修 〔放送大学客員教授〕 〔東京大学名誉教授〕 2021年度開設科目	2	テレビ	〔「臨床心理学プログラム」と共通〕 今日、学校の中に臨床心理学の知識と技能を持ったカウンセラーがいて、心理的問題に苦しむ子どもたちに対するカウンセリングやプレイセラピー、保護者に対する相談や教職員に対するコンサルテーション、緊急支援や心理教育、関連分野の専門家や地域の人々との連携などに取り組んでいることがよく知られるようになってきた。このような取り組みは、1995年に、文部省（当時）によって公立中学校を中心としてスクールカウンセラーを派遣するようになって以来、飛躍的に発展してきた。本科目では、学校に関わるこうした臨床心理学的支援について幅広く論じる。
発達心理学特論（'21） 荻野 美佐子 〔放送大学客員教授〕 〔上智大学名誉教授〕 「発達心理学特論（'15）」の単位修得者は履修不可 2021年度開設科目	2	テレビ	〔「臨床心理学プログラム」と共通〕 社会が複雑化し、さまざまな心理的支援を必要とする人々がいる。このような社会的状況の中で、専門職としての臨床心理士が求められている。また、専門職にある人だけでなく、私たち自身が、自らの生をどのようにとらえ、意味づけていくのか、そこにどのような社会・文化の影響を受けているのかをとらえる、理解の枠組みを持つ必要がある。人は、誕生から死に至るその生涯発達の過程で、どのように変化するのか、時間軸と、自己と他者の関係性の軸を、縦糸と横糸として見ていく。発達の捉え方、重要領域での生涯発達、各時期の発達の特徴と支援について概説する。
心理・教育統計法特論（'21） 小野寺 孝義 〔放送大学客員教授〕 〔広島国際大学名誉教授〕 「心理・教育統計法特論（'15）」の単位修得者は履修不可 2021年度開設科目	2	ラジオ	〔「臨床心理学プログラム」と共通〕 心理学の代表的な研究方法として観察法、調査法、実験法が挙げられる。一方、臨床心理学では代表的な研究方法として事例研究方法がある。いずれにおいても研究結果を一般化したり、証拠として確信をもって報告できるためには統計手法の理解は欠かせない。また、自らがその統計手法を利用していなくても知識がなければ他の研究者の論文内容を正しく判断することもできない。本講では、教育や発達、臨床など心理学の幅広い分野で知っておくべき統計法について概説する。また、新たな統計学の考え方や手法についても紹介していく。
教育心理学特論（'24） 進藤 聡彦 （放送大学教授） 丸山 広人 （放送大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ	〔「臨床心理学プログラム」と共通〕 この科目では、学校教育に焦点を当てて、教科の学習に関わる学習指導と生活面に関わる生徒指導に大別し、学習指導では学習内容の理解を促す教授法や学習への動機づけなどの問題を取り上げる。また、生徒指導では集団としての学級の特徴や教育相談、さらには特別支援教育などの問題について教育心理学の研究で得られた主要な知見を教育実践との関わりの中かで紹介する。

人間発達科学プログラム

科目名 主任講師名	単位	メディア	講義概要
社会心理学特論（'25） 森 津 太 子 （放送大学教授） 「現代社会心理学特論（'11）」「現代社会心理学特論（'15）」の単位修得者は履修不可 2025年度開設科目	2	ラジオ	[[「臨床心理学プログラム」と共通] 本科目では、社会心理学の様々な知見について、次の3つの現代的な視点から解説を試みる。第一に、現代の社会心理学がどのようなものなのか、その特徴や動向を紹介する。社会的影響、態度といった社会心理学において古くから重要視されてきたトピックに加え、ステレオタイプ、感情など、近年、研究が活発化したトピックを取りあげる。第二に、現代的な研究アプローチを紹介する。本科目の中心となるのは、情報処理アプローチに基づく社会的認知研究である。さらに、第三の視点として、社会心理学の学際性に着目し、隣接分野である行動経済学、脳神経科学、進化心理学、文化心理学との相互作用について考える。以上を通じて浮かび上がるのは、人間の社会性である。「人間は社会的動物である」というフレーズは何を意味するのか。本科目全体を通じて、考えていきたい。
アカデミック・スキルズ（'25） 滝浦 真人 （放送大学教授） 各プログラム教員※ 「生活健康科学、人間発達科学、社会経営科学、人文学、情報学、自然環境科学」 「アカデミック・スキルズ（'20）」の単位修得者は履修不可 ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン	[[「臨床心理学プログラム」以外と共通] 修士全科生を対象として、修士課程において必要となる学術的なリテラシーに加え、ライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。

臨床心理学プログラム

科目名 主任講師名	単位	メディア	講義概要
臨床心理学特論（'23） 橋本 朋広 （放送大学教授） 大山 泰宏 （放送大学客員教授） （学習院大学教授） 2023年度開設科目	4	ラジオ	心理臨床の活動領域は、保健医療・教育福祉・司法犯罪・産業など幅広くかつ多様である。各活動領域では支援対象が異なるため、必要とされる知識や技法などには相違はあるが、心の専門家としての不可欠な根本的視座というものが存在する。「臨床心理学特論（'23）」では、様々な領域で活動する基盤となる基本的な理論と技法を概説するとともに、臨床心理学の根本的視座、さらには隣接諸科学との関連にまで立ち返り、心理臨床活動の意味について深く考察する。
臨床心理面接特論Ⅰ（'25） ー心理支援に関する理論と実践ー 丸山 広人 （放送大学教授） 橋本 朋広 （放送大学教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ	臨床心理学の知見に基づいて実際に臨床心理面接を実施する際の基本姿勢や技能を説明する。本講義は臨床心理学プログラムにおける必須科目のひとつである。臨床心理学プログラムの修士全コース、臨床心理士を目指して本プログラムの受験を考えている方、臨床心理学を専門的に学ぼうとしている臨床心理士以外の対人援助専門職の方などを対象として想定している。
臨床心理面接特論Ⅱ（'25） ー心理臨床の実際ー 村松 健司 （放送大学教授） 大山 泰宏 （放送大学客員教授） （学習院大学教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ	実際に臨床心理面接を実施する際の基本姿勢や技能を説明する。本講義は臨床心理学プログラムにおける必須科目のひとつである。臨床心理学プログラムの修士全コース、臨床心理士を目指して本プログラムの受験を考えている方、臨床心理学を専門的に学ぼうとしている臨床心理士以外の対人援助専門職の方などを対象として想定している。
臨床心理基礎実習 丸山 広人 （放送大学教授） 佐藤 仁美 （放送大学准教授） 橋本 朋広 （放送大学教授） 村松 健司 （放送大学教授） 波田野 茂幸 （放送大学教授） 高梨 利恵子 （放送大学教授）	2	面接授業	臨床心理学特論、臨床心理面接特論などテキストや放送授業によって学習した理論を、実践に活かす準備のために面接授業で具体的に実習する。ロールプレーを用いた心理面接実習、描画法実習、箱庭法実習、臨床機関の見学、事例検討等を行い、事例報告書の書き方についても学習する。個々の学生の実習の準備のために、3期に分けて面接授業を行う。 【「臨床心理学プログラム」所属の修士全コース以外履修できません。】 ※この科目は1学期に科目登録をする必要があります。
臨床心理査定演習 橋本 朋広 （放送大学教授） 村松 健司 （放送大学教授） 高梨 利恵子 （放送大学准教授）	4	面接授業	心理アセスメントについて、以下の①と②を学習する。 ①心理アセスメントの目的と方法について学ぶ。臨床心理学的援助における心理アセスメントの意義、心理アセスメントと心理検査を実際に進める際の手順や留意点について学習する。 ②心理検査、特にウェクスラー式知能検査、質問紙によるパーソナリティ検査、ロールシャッハ法その他の投影法に関する実習を行い、検査の実施法と解釈法について学ぶ。 【「臨床心理学プログラム」所属の修士全コース以外履修できません。】 ※この科目は1学期に科目登録をする必要があります。

臨床心理学プログラム

科 目 名 主 任 講 師 名	単 位	メディア	講 義 概 要
臨床心理実習 村松 健司 (放送大学教授) 波田野 茂幸 (放送大学教授) 高梨 利恵子 (放送大学准教授) 橋本 朋広 (放送大学教授) 丸山 広人 (放送大学教授) 佐藤 仁美 (放送大学准教授)	2	実習	学外機関における実習。臨床心理学プログラムが委託している全国（北海道から沖縄まで）の実習機関において、計90時間の実習が行われる。通常は週1日3ヶ月ほどにわたる。実習内容は、それぞれの機関によって、多少異なるが、心理検査実習・初回面接陪席・病棟実習・デイケアへの参加・グループ活動の陪席・スーパーヴィジョン・ケースカンファレンス参加・地域援助活動への参加その他、臨床心理業務の基礎一般を現場において学ぶ貴重な機会である。担当専任教員と各委託実習機関臨床心理士（非常勤講師）の指導のもとに行われる。 [[臨床心理学プログラム] 所属の修士全本科生以外は履修できません。] ※この科目は1学期に科目登録をする必要があります。
臨床心理学研究法特論（'23） 石原 宏 [放送大学客員准教授] [島根大学教授] 川部 哲也 [放送大学客員教授] [大阪公立大学教授] 2023年度開設科目	2	ラジオ	臨床心理士資格認定協会が定めるところの、臨床心理士養成カリキュラムのうち、A群科目（研究法に関する科目）に対応するものである。多様な研究法をもつ臨床心理学において、研究法を体系的に学ぶとともに、臨床心理学における研究倫理、論文執筆の方法など、実際の論文執筆に直結する事項を学ぶ。
心理・教育統計法特論（'21） 小野寺 孝義 [放送大学客員教授] [広島国際大学名誉教授] 「心理・教育統計法特論（'15）」の単位修得者は履修不可 2021年度開設科目	2	ラジオ	[[人間発達科学プログラム] と共通] 心理学の代表的な研究法として観察法、調査法、実験法が挙げられる。一方、臨床心理学では代表的な研究法として事例研究法がある。いずれにおいても研究結果を一般化したり、証拠として確信をもって報告できるためには統計手法の理解は欠かせない。また、自らがその統計手法を利用していなくても知識がなければ他の研究者の論文内容を正しく判断することもできない。本講では、教育や発達、臨床など心理学の幅広い分野で知っておくべき統計法について概説する。また、新たな統計学の考え方や手法についても紹介していく。
発達心理学特論（'21） 荻野 美佐子 [放送大学客員教授] [上智大学名誉教授] 「発達心理学特論（'15）」の単位修得者は履修不可 2021年度開設科目	2	テレビ	[[人間発達科学プログラム] と共通] 社会が複雑化し、さまざまな心理的支援を必要とする人々がいる。このような社会的状況の中で、専門職としての臨床心理士が求められている。また、専門職にある人だけでなく、私たち自身が、自らの生をどのようにとらえ、意味づけていくのか、そこにどのような社会・文化の影響を受けているのかをとらえる、理解の枠組みを持つ必要がある。人は、誕生から死に至るその生涯発達の過程で、どのように変化するのか、時間軸と、自己と他者の関係性の軸を、縦糸と横糸として見ていく。発達の捉え方、重要領域での生涯発達、各時期の発達の特徴と支援について概説する。
教育心理学特論（'24） 進藤 聡彦 (放送大学教授) 丸山 広人 (放送大学教授) 2024年度開設科目	2	ラジオ	[[人間発達科学プログラム] と共通] この科目では、学校教育に焦点を当てて、教科の学習に関わる学習指導と生活面に関わる生徒指導に大別し、学習指導では学習内容の理解を促す教授法や学習への動機づけなどの問題を取り上げる。また、生徒指導では集団としての学級の特徴や教育相談、さらには特別支援教育などの問題について教育心理学の研究で得られた主要な知見を教育実践との関わりの中で紹介する。

臨床心理学プログラム

科 目 名 主 任 講 師 名	単 位	メディア	講 義 概 要
社会心理学特論（'25） 森 津太子 （放送大学教授） 「現代社会心理学特論（'11）」「現代社会心理学特論（'15）」の単位修得者は履修不可 2025年度開設科目	2	ラジオ	【「人間発達科学プログラム」と共通】 本科目では、社会心理学の様々な知見について、次の3つの現代的な視点から解説を試みる。第一に、現代の社会心理学がどのようなものなのか、その特徴や動向を紹介する。社会的影響、態度といった社会心理学において古くから重要視されてきたトピックに加え、ステレオタイプ、感情など、近年、研究が活発化したトピックをとりあげる。第二に、現代的な研究アプローチを紹介する。本科目の中心となるのは、情報処理アプローチに基づく社会的認知研究である。さらに、第三の視点として、社会心理学の学際性に着目し、隣接分野である行動経済学、脳神経科学、進化心理学、文化心理学との相互作用について考える。以上を通じて浮かび上がるのは、人間の社会性である。「人間は社会的動物である」というフレーズは何を意味するのか。本科目全体を通じて、考えていきたい。
司法矯正・犯罪心理学特論（'26） 橋本 和明 （放送大学客員教授） （国際医療福祉大学大学院教授） 「司法矯正・犯罪心理学特論（'20）」の単位修得者は履修不可 2026年度開設予定科目	2	ラジオ	少年法などの法的な知識を習得し、司法や矯正の関係機関の機能と役割、犯罪や非行、犯罪被害についての基本的事項を理解する。また、離婚や子どもを巡る家庭紛争についての問題解決方法、支援のあり方などを概説できるようにする。さらに、司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援について説明でき、司法矯正・犯罪領域における臨床心理学的アプローチを概説できるようにする。臨床心理士・公認心理師受験希望者だけでなく、司法矯正・犯罪分野における臨床心理学的実践と研究に関心を持つ人々をターゲットとする。
精神医学特論（'22） 石丸 昌彦 （放送大学客員教授） 2022年度開設科目	2	ラジオ	【「生活健康科学プログラム」と共通】 精神医学は、精神疾患の診断や治療のあり方を検討する深くて広い学問である。本科目では精神医学の基本的な考え方を紹介したうえで、今日見られる代表的な疾患を事例とともにとりあげ、診断と治療の基本的な流れを解説する。個人の病理と社会のあり方との関わりにも随時言及する。
保健医療心理学特論（'22） －保健医療分野に関する理論と支援の展開－ 小林 真理子 （放送大学客員教授） （聖心女子大学教授） 2022年度開設科目	2	テレビ	医療の進歩に伴って、精神科医療のみならず身体科医療や地域保健などさまざまな領域での心理的支援のニーズが高まってきている。本科目では、保健医療分野での業務の特徴や職域の紹介、さまざまな実践現場での心理支援や課題について解説する。多職種と連携し、チーム医療を実践していく中で臨床心理士・公認心理師に求められる役割について考える。
障害児・障害者心理学特論（'19） －福祉分野に関する理論と支援の展開－ 大六 一志 （放送大学客員教授） （NPO法人LD・Dyslexiaセンター顧問） 山中 克夫 （放送大学客員准教授） （筑波大学准教授） 2019年度開設科目	2	ラジオ	障害のある人に臨床心理学的援助を提供するにあたって必要な基本的知識を講義する。まず概論として、臨床心理士の役割、障害や発達のとらえ方について述べる。次に、検査や観察、面接によるアセスメントの考え方について説明する。さらに、発達障害、高次脳機能障害、認知症などを中心として、その概念（状態像）や支援方法について解説する。障害のある本人だけでなく、周囲の人々や環境についてのアセスメントと理解、支援についても述べる。
学校臨床心理学特論（'21） 倉光 修 （放送大学客員教授） （東京大学名誉教授） 2021年度開設科目	2	テレビ	【「人間発達科学プログラム」と共通】 今日、学校の中に臨床心理学の知識と技能を持ったカウンセラーがいて、心理的問題に苦しむ子どもたちに対するカウンセリングやプレイセラピー、保護者に対する相談や教職員に対するコンサルテーション、緊急支援や心理教育、関連分野の専門家や地域の人々との連携などに取り組んでいることがよく知られるようになってきた。このような取り組みは、1995年に、文部省（当時）によって公立中学校を中心としてスクールカウンセラーを派遣するようになって以来、飛躍的に発展してきた。本科目では、学校に関わるこうした臨床心理学的支援について幅広く論じる。

臨床心理学プログラム

科 目 名 主 任 講 師 名	単 位	メディア	講 義 概 要
臨床心理地域援助特論（'21） 伊藤 亜矢子 （放送大学客員教授） （学習院大学教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ	臨床心理地域援助の考え方やその基礎にあるコミュニティ心理学の理論について学ぶ。また、それらに基づいて支援を行うために必要な技法としてコンサルテーションやコラボレーション等について学び、教育・福祉・医療等の現場における実際について学ぶ。

社会経営科学プログラム

科 目 名 主 任 講 師 名	単 位	メディア	講 義 概 要
経済政策（'22） 松原 隆一郎 （放送大学特任教授） 「経済政策（'17）」の単位修得者は履修不可 2022年度開設科目	2	ラジオ	経済学では、経済政策はもっぱら市場では行いえないことがらを補完するとされている。また政策を設計する際の目標は、合理的な個人が効率的に幸福を追求することとされている。つまり市場も政策も、ともに個人の幸福追求の道具とみなされている。しかし自然環境や人間関係、文化伝統といった市場が前提とせざるをえない事柄は、いずれも道具や設計の対象にはならない。また不確実性が強いと、効率性の追求は幸福を引き下げかねない。それらをも考察の視野におさめるならば、経済政策はどのようなものになるだろうか。全15回で考察してみたい。
知財制度論（'20） 児玉 晴男 （放送大学客員教授） 2020年度開設科目	2	ラジオ	[[情報学プログラム]と共通] 本講義は、知的財産の創造、保護、活用に関する法制度を取り上げます。知的創造活動が知財制度で保護される前後を含め、知財制度の三つの法体系の著作権制度と産業財産権制度および農水知財制度と適宜に不正競争防止法等を比較対照しながら、知的創造サイクルの中における権利（人格権と財産権）のライフサイクルの関係から解説します。本講は、知的財産権法の個別法を逐条解説する手法をとらずに、広義の知的創造サイクルの法システムを鳥瞰します。
公共政策（'26） 砂原 庸介 [放送大学客員教授] 神戸大学教授 手塚 洋輔 [放送大学客員教授] 大阪公立大学教授 2026年度開設予定科目	2	ラジオ	公共政策が社会の中でどのように形成され、社会に対してどのような影響を与えているかを描き出す。公共政策は、政府だけがその担い手になるのではなく、社会における様々なアクターとの協力関係を前提に構築されている。その全体像を次のように理解していく。すなわち、(1) 情報・金銭・人間・法的権限という資源の観点から公共政策と社会との接点について説明し、(2) 政府のみならず中間団体や市場を通じて公共政策がどのように実現しているかを検討し、(3) そのような公共政策がどのように形成され変化しうるのかを論じる。
都市社会構造論（'23） 北川 由紀彦 （放送大学教授） 「都市社会構造論（'18）」の単位修得者は履修不可 2023年度開設科目	2	オンライン	都市社会学の研究手法、学説史、研究の最近の動向等について論じる。併せて、都市・地域社会に関する具体的なトピックをいくつか採り上げて、そのトピックに関する最新の研究成果についても論じる。
環境工学（'19） 迫田 章義 [放送大学客員教授] 東京大学名誉教授 2019年度開設科目	2	オンライン	[[自然環境科学プログラム]と共通] 地球環境問題、再生可能資源・エネルギー、大気環境、環境材料、リサイクル、循環型社会など、持続可能な社会を実現するために必要な分野におけるこれまでの経緯と最近の最先端の研究を、それぞれの専門家が紹介・解説し、環境問題と環境工学を俯瞰的に考える。
環境と社会思想（'26） 桑田 学 （放送大学准教授） 2026年度開設予定科目	2	ラジオ	現代の人間の産業活動に伴う自然破壊、環境汚染、資源採取、気候変動は、2000年以降、「人新世」と呼ばれる新たな地質学的時代の到来とも言われるほどに、地球に後戻り不可能な変化をもたらしている。なぜ人間の経済・産業活動は地球にそれほどダメージを残すほどの規模をもつにいたったのか。また人間による自然の破壊は歴史的にどのような形で論じられてきたのか。本講義では、自然、環境、人間、産業、科学技術をめぐって展開された社会・経済思想の歩みをたどりながら、人新世の起源と歴史的展開を多角的に読み解いていきたい。
実践的都市景観形成論（'19） 宮城 俊作 [放送大学客員教授 設計組織PLACEMEDIAパートナー] 2019年度開設科目	2	オンライン	都市景観の形成によるまちづくりをリードするためのより実践的な視点から、①都市景観形成の契機となる事業や制度のしくみと留意点、②都市景観を形成する様々な空間の立地類型にもとづく空間構成のありかた、③都市景観を形成する様々な物理的な要素の意匠を評価する視点、④都市景観形成の担い手と社会的なしくみ、について国内外の多様な実例をあげながら講述する。

社会経営科学プログラム

科 目 名 主 任 講 師 名	単 位	メディア	講 義 概 要
地域産業の発展と主体形成（'26） 北川 太一 （放送大学客員教授） 摂南大学教授 2026年度開設予定科目	2	ラジオ	本講義では「地域産業」を、農業、食料産業、6次産業や農商工連携も含めた食農に関わる関連産業（アグリビジネス）を中心に想定し、地域のさまざまなステークホルダー（自治体行政、地元企業、協同組合やNPOなどの非営利協同組織、起業・活動グループ、地域住民や交流者など）による主体形成と地域経営（地域マネジメント）のあり方について、理論と実践（ケース）の両面からアプローチする。
統合イノベーション制度研究（'21） 児玉 晴男 （放送大学客員教授） 2021年度開設科目	1	オンライン	高度科学技術社会においてイノベーション概念とプロセスの劇的変化が起こっている。その中で、科学技術イノベーション政策の各領域の統合化がすすめられている。本科目は、各イノベーション戦略と基本法について解説し、科学研究をすすめるうえの関連法と倫理および管理に関して解説する。そして、科学研究の現状と課題を明らかにしながら、オープンイノベーション、科学研究の知財問題、科学研究の不正問題、科学研究のデュアルユース問題について説明を加える。
法律学文献講読（'21） 李 鳴 （放送大学教授） 2021年度開設科目	1	オンライン	本科目は、主として法学系科目を履修し学位論文を執筆する大学院生（修士）を念頭に、法律学文献の講読を通して、法学系の研究活動に共通して必要な文献の読み方、ポイントの捉え方、研究手法など法律学文献講読の方法論を身につけることを目的とします。加えて、自分の研究分野からより広く他の研究分野へ視野を広げることも図ります。 本科目の前半では法律学学術論文の文献、後半では判例研究の文献を用いて指導します。
保険法（'22） 李 鳴 （放送大学教授） 2022年度開設科目	2	オンライン	保険法は、保険契約に関する一般的なルールを定めた法律であり、さらには約款によって多くの事柄が規定されるという実務に密着した特殊な法領域である。したがって、この授業の目的は、保険契約を中心に保険法の基本的知識の修得およびそれを前提とした問題解決のための応用能力の育成である。 各回においては、講義のねらい、キーワード、まとめ（理解するポイント）が提示される。履修者は、オンラインでの講義映像を視聴しながら学修する。終わりに理解度を確認するために選択式練習問題を行った上で、選択式小テストを実施する。
現実と向き合う政治理論（'22） 山岡 龍一 （放送大学教授） 大澤 津 （放送大学客員教授） 北九州市立大学教授 2022年度開設科目	2	ラジオ	分析的政治理論を中心に、現代の政治理論の概要を提供する。理論の説明に関して、現実の諸問題を取り上げ、実際に理論が適用されている事例から、政治理論の営みを理解できるようにする。その上で、理論と現実が連結される方法を意識しながら、政治理論的方法的問題を検討する。こうして、理論と実践のあいだの往復関係を意識しながら、現代における政治理論の展開を概説する。
人的資源管理（'22） 原田 順子 （放送大学教授） 平野 光俊 （放送大学客員教授） 大手前大学学長 2022年度開設科目	2	ラジオ	人的資源管理とは、継続事業体（going concern、Betrieb（ドイツ語））において、人を対象とした管理の仕組みを総称した概念である。市場において営利を目的として事業を営む企業の経営においては、この人的資源管理がいち早く発達し、経営学の中でも多くの知識が蓄積されてきた。人的資源管理の変遷、役割等について、企業経営の基本的概念とともに説明していく。また、関連する現代的トピックも取り上げて多面的に学習する。

社会経営科学プログラム

科 目 名 主 任 講 師 名	単 位	メディア	講 義 概 要
アカデミック・スキルズ（'25） 滝浦 真人 （放送大学教授） 各プログラム教員※ 「生活健康科学、人間発達科学、 社会経営科学、人文学、 情報学、自然環境科学 「アカデミック・スキルズ（'20）」の 単位修得者は履修不可 ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンラ イン	[[臨床心理学プログラム] 以外と共通] 修士全科生を対象として、修士課程において必要となる学術的なリテラシーに加え、 ライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。

人文学プログラム

科 目 名 主 任 講 師 名	単 位	メディア	講 義 概 要
日本文化と思想の展開－内と外と（'22） 魚住 孝至 （放送大学特任教授） 2022年度開設科目	2	ラジオ	原始から現代までの日本文化と思想の展開の概要を捉えてみたい。日本思想は、仏教や儒教を、近代からは西洋思想を取り入れてきたが、それぞれの受容の仕方が独特であり、日本化していった様相が見られる。文学・芸術・武道などの具体的な文化が形成される際にも、それらの思想や概念が重要な働きをしている。日本の風土的・歴史的条件を考えた上で、それぞれの時代の新しい文化や思想を担った代表的人物や作品に焦点を当てて、日本の文化と思想の流れから捉えるとともに、今日的な意味を考え直してみたい。
西洋美術史研究（'26） 船岡 美穂子 （放送大学准教授） 2026年度開設予定科目	2	ラジオ	西洋美術史学の学問としての歴史をたどるとともに、調査研究のための方法論を実践的に学ぶ講義である。美術作品の鑑賞を楽しみ、作品の理解をめざして考察し評価し、それらを言葉で記述しようとすることは、早くも古代からさまざまに試みられ、美術史学が一学科として成立し体系化されたのは近代のことであった。 講義の前半では、各時代の人々がどのように作品を価値づけて語ってきたのか、近代的な美術史研究がいかにして生まれ、時代精神や社会的要請とどのように結びつきながら展開したのかを学ぶ。それを踏まえて、本講義の後半では、近代以降の美術史学の代表的な研究者とその業績、方法論を解説する。具体的な美術作品を題材とした調査研究の事例を紹介しながら、方法論を応用した分析や考察の実践を試みたい。具体的な対象に応じた考察が必要となるため、印刷教材をはじめとする書籍に掲載された図版を適宜参照することが望ましい。 西洋美術史にかんする基礎的な知識があり、さらに専門的に学ぶことを目的とした受講者を主な対象とする。
日本史史料を読む（'21） 近藤 成一 （放送大学特任教授） 杉森 哲也 （放送大学教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ	本科目は大学院では唯一の日本史科目であり、古代から近代に至る歴史を対象とする。日本史の学習・研究において、歴史研究の素材である史料を正確に読解し理解することは、最も基本的な作業である。本科目では、古代から近代に至る様々な史料を取り上げ、それらを読み解く基礎について学習する。
韓国朝鮮史研究の論点（'26） 三ツ井 崇 〔放送大学客員教授〕 〔東京大学教授〕 2026年度開設予定科目	2	ラジオ	本講義は、韓国・朝鮮史に関する学部程度の知識を備えたうえで、さらに韓国・朝鮮の歴史にたいする理解を深めることをめざす。具体的には、概説的・網羅的に扱うのではなく、現在の研究水準を分かりやすく紹介するとともに、論点となっているさまざまな事柄について、それがなぜ議論になっているのかを明らかにする。また、取り上げる主題についても、それを理解することが朝鮮についてだけでなく、日本を含めた東アジアの歴史と社会にたいする理解を深めることを意図する。
西洋中世史（'21） 河原 温 （放送大学特任教授） 堀越 宏一 〔放送大学客員教授〕 〔早稲田大学教授〕 2021年度開設科目	2	ラジオ	中世ヨーロッパ社会の発展を、近年の中世史研究の成果に基づきながら時代をおって考察し、近代に先立つヨーロッパ文明の特質を学ぶ。
日本文学の研究史（'21） 島内 裕子 （放送大学名誉教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ	本科目は、日本文学を研究しようとする学生を、主たる対象として、ある作品がどのように研究されてきたかを通史的に解説する。文学研究の始発は、国文学の場合、まず、平安時代の『古今和歌集』『伊勢物語』『源氏物語』を中心とする注釈研究であった。これらの作品よりも成立が早かった『古事記』や『万葉集』の研究は、ようやく江戸時代になって本格化した。したがって、研究史を学ぶことは、まず注釈研究史を学ぶことであり、本科目の構成も、その点に注意を喚起するように組み立ててある。作品により、研究の視点や力点がさまざまに異なるので、文学研究の多様性に触れてほしい。
モダニズムの文学と文化（'21） 宮本 陽一郎 （放送大学特任教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ	20世紀前半の文化の諸相を、文学・音楽・映画・建築・美術・写真などの諸領域を横断しながら、モダニズムを論じる。アメリカ合衆国の文学・芸術が分析の核となるが、しかしこれを文化のグローバル・ネットワークの一環として捉え直すことを主眼とする。

人文学プログラム

科 目 名 主任講師名	単位	メディア	講 義 概 要
異文化との出会い（'22） 滝浦 真人 （放送大学教授） 野崎 歓 （放送大学教授） 2022年度開設科目	2	ラジオ	言語と文化に関わる営みは、しばしば異文化の存在を意識したり異文化の介在するものとなる。学問研究においても、異文化を通じてもたらされる“他なるもの”が促進剤となることはしばしばであり、異文化との相互参照を手法としたり、時に対象そのものとする領域や方法論が発展し成果が蓄積されてきた。本講義では、そうした異文化との出会いを諸領域に見ながら、事象の捉え方の一断面を浮かび上がらせたい。
文化人類学の最前線（'21） 大村 敬一 （放送大学教授） 2021年度開設科目	2	オンライン	大学院科目として、文化人類学の探究の最前線について、博士後期課程での研究の導入にも耐える学問的深度と先進性をそなえたかたちで紹介する。その紹介に際しては、「人新世」という概念のもとで人類の活動と地球の活動が不可分にもつれ合っていることが認識され、「自然／人間（社会・文化）」の二元論に基づく近代の考え方や生き方に再考が迫られている今日の時代状況に即したテーマを取り上げる。具体的には、「自然／人間」の二元論に基づいて建設されるグローバル・ネットワークの隙間に遍在する人間と非人間の他者たちの潜在的な可能性に注目し、そうした近代の枠組みに収まりきらない他者たちの実践を検討することを通して、新たな思考や生き方の枠組みを探究する文化人類学の多様な挑戦を紹介する。
人文学の現在（'25） 大橋 理枝 （放送大学教授） 宮本 徹※ （放送大学教授） 大村 敬一※ （放送大学教授） 河原 温※ （放送大学特任教授） 小二田 章※ （放送大学准教授） 近藤 成一※ （放送大学特任教授） 杉森 哲也※ （放送大学教授） 滝浦 真人※ （放送大学教授） 鶴見 英成※ （放送大学准教授） 野崎 歓※ （放送大学教授） 船岡 美穂子※ （放送大学准教授） 宮本 陽一郎※ （放送大学特任教授） ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン	人文学プログラムは哲学、芸術、歴史学、文学、言語学、人類学及びそれらの学際領域など、様々な学問分野を包括しているが、修士課程でそれらの科目を横断的に学ぶ機会は余りない。この科目では人文学プログラムに所属している教員及びゲスト教員によるそれぞれの専門分野の紹介を通して、プログラム全体を俯瞰した形で人文学の学問のあり方を示す。
アカデミック・スキルズ（'25） 滝浦 真人 （放送大学教授） 各プログラム教員※ 〔生活健康科学、人間発達科学、 社会経営科学、人文学、 情報学、自然環境科学〕 「アカデミック・スキルズ（'20）」の 単位修得者は履修不可 ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン	【「臨床心理学プログラム」以外と共通】 修士全科生を対象として、修士課程において必要となる学術的なリテラシーに加え、ライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。

情報学プログラム

科目名 主任講師名	単位	メディア	講義概要
知能システム論（'26） 大西 仁 （放送大学教授） 2026年度開設予定科目	2	オンライン	知的情報処理のメカニズムについて、いわゆる人工知能を中心に論じる。計算機にヒトのように知的な情報処理を行わせる研究は、パラダイムシフトを繰り返し、現在ではビジネス、科学、産業、医療等の強力な方法として注目を集めている。技術の歴史の変遷、認知科学、生物学等隣接領域と関連づけて解説し、知的情報処理技術の体系的理解を図る。
音楽・情報・脳（'23） 仁科 エミ （放送大学教授） 河合 徳枝 放送大学客員教授 国立研究開発法人国立精神・ 神経医療研究センターリサーチフェロー 「音楽・情報・脳（'17）」の単位修得者は履修不可 2023年度開設科目	2	ラジオ	情報学の進展は、音楽をはじめとする文化的事象を、科学的な研究の対象とすることを可能にした。とくに脳科学と連携したその成果は大きく、「音楽とは何か」といった本質的な問題を考察する新しい材料が多出している。そこで、この講義では、最先端の情報学と脳科学を応用して、音楽に対する情報学ならではのアプローチの成果を学ぶ。主任講師らがこれまで蓄積してきた音響映像資料を多用し、体験性情報を重視した講義とする。
ソフトウェア工学（'25） 中谷 多哉子 （放送大学教授） 中島 震 放送大学客員教授 国立情報学研究所名誉教授 「ソフトウェア工学（'19）」の単位修得者は履修不可 2025年度開設科目	2	ラジオ	ソフトウェア開発を工学的に行うためのプロセス、手法、品質、生産性、管理と制御、進化に関する技術を学ぶ。本科目では、ソフトウェア開発に関わる様々な課題を技術によって解決することに着目して学習項目を構成する。授業の中では、社会変化に柔軟に対応するソフトウェアを開発するための新しい技術についても紹介する。
研究のためのICT活用（'21） 高橋 秀明 （放送大学教授） 「研究のためのICT活用（'13）」「研究のためのICT活用（'17）」の単位修得者は履修不可 2021年度開設科目	2	オンライン	大学（院）の研究において、インターネット等の情報通信技術を活用することは必須の時代になっている。本科目では、情報学分野を中心に、研究の方法論を講ずる中で、研究のプロセスのさまざまな場面で役立つ通信情報技術を紹介する。単なるツールの紹介ではなく、研究とは何か？ 研究方法論とは何か？ ということを絶えず意識しながら、各種の技術やツールの意味について考察を加えたい。
eラーニングの理論と実践（'24） 青木 久美子 （放送大学教授） 高橋 秀明※ （放送大学教授） 加藤 浩※ （放送大学教授） 辻 靖彦※ （放送大学教授） 山田 恒夫※ （放送大学教授） 平岡 斉士※ （放送大学准教授） 「eラーニングの理論と実践（'20）」の単位修得者は履修不可 ※は専門担当講師 2024年度開設科目	2	オンライン	コロナ禍で教育や研修のデジタルトランスフォーメーション（DX）が進み、今後eラーニングやオンライン教育はますます普及していくと考えられる。本科目では、eラーニングやオンライン教育を企画・設計・実施するにあたって重要であると考えられる様々な理論を説明するとともに、必要な技術的基礎知識や具体的実践例を、最新の動向を踏まえながら紹介し、今後のeラーニングやオンライン教育の方向性を展望する。

情報学プログラム

科目名 主任講師名	単位	メディア	講義概要
計算と自然（'25） 萩谷 昌己 〔放送大学客員教授〕 〔東京大学名誉教授〕 2025年度開設科目	2	ラジオ	〔「自然環境科学プログラム」と共通〕 自然現象に内在する計算過程について理解するとともに、自然現象を活用した計算の可能性について探求する。情報学の中核にある計算の概念に関して、現存のコンピュータではなく、その普遍的な可能性について、特に自然現象との関係において考察する。オートマトンやチューリング機械など、計算の基礎概念の理解を確認しながら、上述したテーマのもとで各種のトピックについて、時にはゲストの話も聞きながら、解説していく。
データサイエンスの技法（'26） ー統計的分析と機械学習ー 浅井 紀久夫 （放送大学教授） 辰己 丈夫※ （放送大学教授） 秋光 淳生※ （放送大学准教授） 「データの科学（'17）」の単位修得者は履修不可 ※は専門担当講師 2026年度開設予定科目	2	オンライン	情報通信技術の発展によって膨大なデータが生成され交換されるようになり、それを分析するための技術的な仕組みが整ってきた。これに伴い日常的にデータ分析が行われ、その結果の解釈に基づいて意思決定や課題解決が図られるようになった。データ分析処理に必要な基本的知識と基盤技術について主に、現象を、統計学に基づくモデルで表現し分析する方法、データに基づいてモデルを構築し予測や分類を行う方法を解説する。これらの方法に関連する演習によってこれを実践する。
サイバーボランティア論（'22） ーボランティア活動におけるICT活用ー 山田 恒夫 （放送大学教授） 「情報化社会とボランティア活動（'18）」の単位修得者は履修不可 2022年度開設科目	2	オンライン	情報通信技術（ICT）によってサイバー空間がもたらされ、人間の営みが仮想的に拡大している。現実空間において認知されたボランティア活動は、仮想空間においても一定の役割を果たすことが期待される。一方、パンデミックや新たな社会規範の浸透により、現実空間におけるボランティア活動は大きな影響を受けるが、ICTは新たな解決策をもたらした。本科目の前半（1－8回）では基礎理論やサイバーボランティア活動の事例を解説する。後半（9－15回）は、オンライングループ学習の形式をとり、課題解決型の遠隔実習を実施する。
情報とコミュニケーション（'23） 青木 久美子 （放送大学教授） 高橋 秀明※ （放送大学教授） 「情報とコミュニケーション（'19）」の単位修得者は履修不可 ※は専門担当講師 2023年度開設科目	2	オンライン	本科目では、日々進化する情報やコミュニケーションのデジタル化が我々の日常生活や社会の様々な側面に影響を及ぼしていることについて考察する。特にポストコロナ時代において、どのような情報コミュニケーション技術が日常生活や社会基盤を支えているのか、また、どのような背景で現在の状況に至っているのかを理解するとともに、情報コミュニケーション技術が、我々個人の行動、アイデンティティ、コミュニティ形成、政治経済、ビジネス、教育等にどのような影響を及ぼしているのかを考察する。
知財制度論（'20） 児玉 晴男 （放送大学客員教授） 2020年度開設科目	2	ラジオ	〔「社会経営科学プログラム」と共通〕 本講義は、知的財産の創造、保護、活用に関する法制度を取り上げます。知的創造活動が知財制度で保護される前後を含め、知財制度の三つの法体系の著作権制度と産業財産権制度および農水知財制度と適宜に不正競争防止法等を比較対照しながら、知的創造サイクルの中における権利（人格権と財産権）のライフサイクルの関係から解説します。本講は、知的財産権法の個別法を逐条解説する手法をとらずに、広義の知的創造サイクルの法システムを鳥瞰します。

情報学プログラム

科目名 主任講師名	単位	メディア	講義概要
情報デザイン特論（'22） 伏見 清香 （放送大学教授） 須永 剛司 （放送大学客員教授） （東京藝術大学名誉教授） 2022年度開設科目	2	テレビ ※	21世紀、コンピュータ、インターネット、スマートフォンなど多様な情報コミュニケーション環境が私たちの社会を動かす基盤となった。それら環境を構成するウェブ・サービスやソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）は、科学技術のみならず芸術や人文社会などの専門分野がその研究開発に参加することで、私たちが利用したくなる道具（ツール）として実現されている。この講義ではその実現に貢献する「情報デザイン」を学び、そこから芸術と科学、技術と人文社会を横断するデザインの学の可能性を展望する。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。
教育情報システム設計（'23） 一学習教育データとデジタルエコシステムー 山田 恒夫 （放送大学教授） 常盤 祐司 ※ （放送大学客員教授） 緒方 広明 ※ （放送大学客員教授） （京都大学教授） ※は専門担当講師 2023年度開設科目	1	オンライン	生涯学習を見据えた次世代学習情報基盤という観点から、学習システムやツールの構成と連携、デジタルエコシステムとしての要件とその相互運用性を保証する国際技術標準、システムのログデータの収集と利用方法（学習解析）について学ぶ。今後、大学等教育機関や企業の研修部門では、学習ログデータを活用する教育情報システムの導入が図られるが、その原理や機能を知ることによりよい活用につながる。教育分野にとどまらず、システムエンジニアやデジタルコンテンツ開発者を志望する方にも知っておいていただきたい知識をまとめる。
要求工学（'24） 中谷 多哉子 （放送大学教授） 大西 淳 （放送大学客員教授） （立命館大学教授） 2024年度開設科目	2	ラジオ	ソフトウェア開発における要求工学の技術は、この30年で大きな進展があった。この授業では、要求工学のプロセスを学んだ後、要求獲得、要求の品質保証、シナリオ分析、ゴール指向分析、形式的手法の適用、要求管理などと多岐に渡る領域を網羅して、要求工学の基礎を学ぶ。
プログラミング応用（'25） 鈴木 一史 （放送大学教授） 2025年度開設科目	1	オンライン	プログラミング言語Pythonの基礎（データ型、演算子、条件分岐、繰り返し処理等）について復習する。そして、主要なPythonのパッケージを使った事例について学習する。例として、データの分析や可視化を実現するため、NumPy、pandas、Matplotlib、scikit-learn、TensorFlow、NetworkX等の簡単なコード事例について学ぶ。
アカデミック・スキルズ（'25） 滝浦 真人 （放送大学教授） 各プログラム教員 ※ （生活健康科学、人間発達科学、 社会経営科学、人文学、 情報学、自然環境科学） 「アカデミック・スキルズ（'20）」の 単位修得者は履修不可 ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン	[[臨床心理学プログラム] 以外と共通] 修士全科生を対象として、修士課程において必要となる学術的なリテラシーに加え、ライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。

自然環境科学プログラム

科 目 名 主 任 講 師 名	単 位	メディア	講 義 概 要
現代生物科学（'18） 加藤 和弘 （放送大学教授） 二河 成男 （放送大学教授） 「現代生物科学（'14）」の単位修得者は履修不可 2018年度開設科目	2	オン ライ ン	現代における生物学の進展を踏まえ、生物とそれに関わる諸現象の理解のために重要な事項を講義する。生物に特徴的な現象として、遺伝情報の伝達、エネルギー代謝、物質収支の動的平衡、そして自然選択による進化などがある。分子、細胞、器官、個体、個体群、群集といった生物界の主要な階層に着目しつつ、これらについて論じる。また、現代の生物学と人間生活との関連について、特に生物多様性の観点から説明する。
生物の種組成データの分析法（'26） 加藤 和弘 （放送大学教授） 「生物の種組成データの分析法（'16）」の単位修得者は履修不可 2026年度開設予定科目	2	オン ライ ン	生物の種組成の調査は、地域の生物多様性の現状把握や開発行為に伴う環境影響の評価などを目的として、しばしば行われる。この授業では、こうした調査により得られた種組成のデータから、異なる調査地、あるいは異なる時期の間での種組成や種多様性の比較、種組成の類型化および序列化、さらに、得られた類型や序列を別に計測された環境条件と対応させることによる、種組成変化に関係する要因の推測を行う方法を学び、実習する。このような分析を行う上で基礎となる考え方についても学習する。
野外生物調査法（'19） 加藤 和弘 （放送大学教授） 2019年度開設科目	2	オン ライ ン	野外生物の調査法について、調査の立案から実施、データの整理までの方法を、植生と鳥類群集の調査を主な対象として具体的に紹介し、野外調査を手段とする研究を志す学生や、環境評価、環境コンサルタント等の業務に携わり知識と技術の向上を目指す学生に有益な情報を提供する。加えて、野外での調査研究を事故なく遂行する上で不可欠な安全管理についてのあり方についても説明する。
生態学における情報リテラシー（'23） 加藤 和弘 （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	オン ライ ン	生態学に関する論文や資料を正しく理解するためには、記述のもとになっているデータ、あるいは観察・実験の記録、といった情報を正しく読み解くことが必要である。自ら行った観察や実験の結果を解釈するためにも、情報の適切な処理が不可欠である。生態学における情報処理というと、統計（数値）解析をはじめとする様々な分析手法が思い浮かぶが、そうした手法を成り立たせている基本的な原理原則の理解や、結果の効果的な表現の方法も学んでおくべきである。この授業では、生態学における情報を扱う原理原則から出発し、基本的な分析方法、結果表現の方法を、学術論文の読解や修士論文執筆を意識しつつ学ぶ。
現代物理の展望（'19） 岸根 順一郎 （放送大学教授） 松井 哲男 （元放送大学特任教授） 2025年1月ご逝去 2019年度開設科目	2	ラジ オ	20世紀前半に確立した量子力学と相対性理論は、古典物理学に基づく自然観を根本から変革した。本科目では、素粒子世界から宇宙の広がりに至る様々な階層で起きる物理現象が基本的な物理法則によって普遍的に記述される様子を解説し、現代の自然観へ誘う。現代物理学はまた、量子力学と統計力学の結びつきを経て新しい物質観を生み出した。その成果は産業技術と直結し、今日の電子技術、エネルギー技術の基盤となった。こうした点を包括的に扱い、特に先端的な内容については各研究分野の第一人者を分担協力講師として科目を構成する。
先端技術のための現代物理学（'18） 岸根 順一郎 （放送大学教授） 2018年度開設科目	2	オン ライ ン	先端技術の最前線は常に変化し続けているが、それを支える物理学の基礎理論は不易である。この科目では、電子技術（エレクトロニクス）、光技術（フォトニクス）、磁気技術（マグネティクス）、スピントロニクスなど先端技術諸分野を学ぶ上での共通基盤となる電磁気学、量子力学、統計力学、固体量子論の基礎理論から一般性のあるテーマを選んで解説する。特に、大学院レベルの数理解析リテラシーを習得することを重視する。
計算で紐解く物質科学・環境科学（'18） 橋本 健朗 （放送大学教授） 安池 智一 （放送大学教授） 2018年度開設科目	2	オン ライ ン	近年、物質環境科学においてその存在感を大きく増しているのが計算機シミュレーションである。本講義では、もっとも微視的な観点から物質環境科学に資する分子の電子状態シミュレーションについて学び、大気化学などで重要となる分光学的知見との橋渡しを行う。実際の計算実習を交えることで実践的な知識・技法を習得し、現代的な正しい分子像に基づくものごとの見方を得る。

自然環境科学プログラム

科 目 名 主 任 講 師 名	単 位	メディア	講 義 概 要
宇宙、地球、そして人類（'18） 谷口 義明 （放送大学特任教授） 大森 聡一 （放送大学教授） 2018年度開設科目	2	オン ラ イ ン	地球、生命や人類は、膨張する宇宙の進化の中から誕生したものである。これらの創生をもたらした物質やエネルギーの源は何か、また、その転化・変遷・循環のしくみはどのようなものかを本科目で講義する。また、本科目では、宇宙の中の惑星の一つとしての地球、宇宙と地球環境および人類文明の関わりについて、トピックを紹介しながら、学際的な仮説について論理を積み上げて検証する方法を学ぶ。
地球を読み解く（'19） 大森 聡一 （放送大学教授） 谷口 義明 （放送大学特任教授） 2019年度開設科目	2	オン ラ イ ン	おもに地球の歴史に関わる宇宙地球科学のテーマをとりあげ、分野横断的な視点とそれを研究し解明する過程を含めて講義する。
数理科学（'21） －離散数理モデル－ 石崎 克也 （放送大学教授） 諸澤 俊介 〔放送大学客員教授〕 〔高知大学名誉教授〕 「数理科学（'15）」の単位修得者は履修不可 2021年度開設科目	2	テレ ビ ※	数理科学現象を理解するために、構造や生成過程を数学的手法を拠り所としてモデル化することは近年盛んに行われてきた。本講義では、離散方程式に注目し、数理モデルのなかで数学的発想がどのように生かされているかを考察する。数学的理論の理解のために、応用例を多く取り入れたり、定理の可視化に数式処理ソフトMathematicaなどを利用したグラフィックスを組み込みながら、それぞれの数理モデルや数学的理論を解説する。離散方程式の高度な知識を仮定せずとも取り組めるように、微分方程式との比較をしながら議論を進める。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。
言語と計算（'26） 隈部 正博 （放送大学教授） 「計算論（'10）」「計算論（'16）」の単位修得者は履修不可 2026年度開設予定科目	2	ラジ オ	最初に、言語、文法とは何かを考える。次に現代言語学の父といわれるチョムスキーの定義した様々な形の文法を学び、それによってどんな言語が生成されるかをみる。次に計算という概念について考える。言語を構成（計算）するための機械であるオートマトンを定義し、様々な種類のオートマトンの形を学ぶ。その後、計算機科学の父といわれるチューリングの定義したチューリング機械を理解し、多くの計算がチューリング機械をつかって表現できることをみる。最後にアルゴリズムとは何かを考える。
計算と自然（'25） 萩谷 昌己 〔放送大学客員教授〕 〔東京大学名誉教授〕 2025年度開設科目	2	ラジ オ	[[情報学プログラム]と共通] 自然現象に内在する計算過程について理解するとともに、自然現象を活用した計算の可能性について探求する。情報学の中核にある計算の概念に関して、現存のコンピュータではなく、その普遍的な可能性について、特に自然現象との関係において考察する。オートマトンやチューリング機械など、計算の基礎概念の理解を確認しながら、上述したテーマのもとで各種のトピックについて、時にはゲストの話も聞きながら、解説していく。
食健康科学（'21） 佐藤 隆一郎 〔放送大学客員教授〕 〔東京大学大学院特任教授〕 三浦 豊※ 〔放送大学客員教授〕 〔東京農工大学大学院教授〕 下条 直樹※ 〔放送大学客員教授〕 〔千葉大学予防医学センター特任教授〕 ※は専門担当講師 2021年度開設科目	1	オン ラ イ ン	[[生活健康科学プログラム]と共通] 学部科目「食と健康」と対をなす大学院講義。「食と健康」で学んだ、糖質、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル、微量非栄養素、食と各種疾患などについて、それらをさらに掘り下げて、詳細に解説する。

自然環境科学プログラム

科目名 主任講師名	単位	メディア	講義概要
環境工学（'19） 迫田 章義 （放送大学客員教授） （東京大学名誉教授） 2019年度開設科目	2	オンライン	〔「社会経営科学プログラム」と共通〕 地球環境問題、再生可能資源・エネルギー、大気環境、環境材料、リサイクル、循環型社会など、持続可能な社会を実現するために必要な分野におけるこれまでの経緯と最近の最先端の研究を、それぞれの専門家が紹介・解説し、環境問題と環境工学を俯瞰的に考える。
自然や環境の諸問題（'25） 二河 成男 （放送大学教授） 加藤 和弘※ （放送大学教授） 大森 聡一※ （放送大学教授） 橋本 健朗※ （放送大学教授） 安池 智一※ （放送大学教授） 岸根 順一郎※ （放送大学教授） 石崎 克也※ （放送大学教授） 隈部 正博※ （放送大学教授） ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン	自然や環境を理解し解決する上で、自然科学や数学の考え方や視点は欠かせない。本科目では自然科学や数学の諸問題を題材として、その理解や解決に必要な考え方や視点を学ぶ。自然や環境に関することに興味をもち、それらを数学や自然科学の考えや手法によって理解や解決を目指す方を対象とする。科学的な考え方や方法がどのようなものか、自然科学や数学における問題が現在の知識でどのように説明されているのか、未解決の課題にどのような方法で研究が行われているかを例示し、自然や環境への興味を深め、学習や研究への動機づけとする。
アカデミック・スキルズ（'25） 滝浦 真人 （放送大学教授） 各プログラム教員※ （生活健康科学、人間発達科学、 社会経営科学、人文学、 情報学、自然環境科学） 「アカデミック・スキルズ（'20）」の 単位修得者は履修不可 ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン	〔「臨床心理学プログラム」以外と共通〕 修士全科生を対象として、修士課程において必要となる学術的なリテラシーに加え、ライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。

科 目 名	単位	所属プログラム	概 要
研究演習	8	生 活 健 康 科 学	○「研究演習」は、2学年にわたって開設されます。 ○「研究演習」では、提出が必須である3編の研究レポートとその他の学修活動、それぞれのレポートについて実施される報告会等での発表とその準備、ならびに発表に対する質疑応答を通じて、修士論文作成に向けた基礎的知識・技能を修得します。
		人 間 発 達 科 学	
		臨 床 心 理 学	
		社 会 経 営 科 学	
		人 文 学	
		情 報 学	
		自 然 環 境 科 学	

※修士論文の作成及びそのために必要な研究の実施について、各々の研究課題に即した個別の指導として行われる「研究指導」については、単位は付与されませんが、2学年にわたり行われます。研究指導の方法は、対面による直接指導、電子メール、Web会議システム、電話、郵送（質問票）等です。



〒261-8586 千葉県美浜区若葉 2-1-1
TEL.043-276-5111 (総合受付)
www.ouj.ac.jp